
住宅用蓄電システム

EI 5.5kW+Lynx Home F

施工マニュアル

V1.3 2026-04-02

著作権表示：

Copyright © GoodWe Technologies Co., Ltd. 2026. All rights reserved.

文書によるGOODWEの事前承諾なしに、本書のいかなる部分も、いかなる形式またはいかなる手段によっても公共ネットワークなどの第三者プラットフォームへの複製または転載は許可されません。

商標および許諾

GOODWE およびその他のGOODWEの商標はGoodWe Technologies Co., Ltd.の商標です。本書に記載されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

注記

製品バージョンのアップグレードなどの原因により、文書の内容は随時更新されます。特別な合意がない限り、文書の内容が、製品ラベルの安全上の注意事項を置き換えることはありません。文書内のすべての説明は、使用説明のみを目的としています。

1 前書き	1
1.1 対象製品	1
1.2 記号の定義	2
2 安全事項	3
2.1 システムの安全	4
2.1.1 安全上の重要なポイント	6
2.1.2 使用上の注意事項	7
2.2 パワーコンディショナーの安全	7
2.2.1 安全上の重要なポイント	10
2.2.2 使用上の注意事項	11
2.2.3 保存環境	11
2.2.4 パワーコンディショナーラベル	12
2.3 蓄電池の安全	13
2.3.1 安全上の重要なポイント	14
2.3.2 使用上の注意事項	15
2.3.3 蓄電池の標識	15
2.3.4 設置の環境	17
2.3.5 保存環境	17
2.4 通信モジュールの安全	18
3 システム配置と同梱品の確認	19
3.1 システム構成の確認	19
3.2 特定負荷コンセント	20
3.3 パッケージの内容の確認	21

4 システム概要	22
4.1 システム全体図	22
4.1.1 システム A について（特定負荷配電盤付きシステム）	22
4.1.2 システムについて B（全負荷配電盤付きシステム）	26
5 製品について	29
5.1 パワーコンディショナー	29
5.1.1 パワーコンディショナーの寸法	29
5.1.2 蓄電池の外観及び機能の紹介	29
5.1.3 表示ランプの説明	30
5.1.4 取付ブラケットの説明	31
5.2 蓄電池の寸法及び外観	32
5.2.1 蓄電池の寸法	32
5.2.2 蓄電池の外観及び機能の紹介	33
5.2.3 表示ランプの説明	37
5.3 Ezlink3000	40
5.3.1 Ezlink3000 の外観	41
5.3.2 表示ランプの説明	42
5.4 CT	43
5.5 SolarGo アプリ	44
5.6 SEMS Portal アプリ	45
6 製品の準備と検査	45
6.1 パワーコンディショナー内容物の準備と検査	46
6.1.1 設置する時に使用される内容物	46

6.1.2 配線ポートの説明.....	47
6.1.3 配線する時に使用される内容物.....	47
6.2 蓄電池内容物の準備と検査.....	50
6.2.1 設置する時に使用される内容物.....	50
6.2.2 配線する時に使用される内容物.....	52
6.3 他の工具の準備と検査.....	52
7 設置場所の決定.....	55
7.1 パワーコンディショナー設置の確認.....	55
7.1.1 設置場所の要件.....	55
7.1.2 設置条件の確認.....	58
7.2 蓄電池設置の確認.....	60
7.2.1 安装环境确认.....	61
8 設置/配線.....	66
8.1 パワーコンディショナーの設置と配線.....	66
8.1.1 パワーコンディショナーの設置.....	66
8.1.1.1 パワーコンディショナーと同梱品の搬送.....	66
8.1.1.2 取り付けブラケットの設置.....	66
8.1.1.3 パワーコンディショナーを取り付けブラケットに設置する.....	69
8.1.1.4 遮蔽板の設置.....	69
8.1.2 パワーコンディショナーの絶縁抵抗.....	70
8.1.3 パワーコンディショナーの配線.....	70
8.1.3.1 パワーコンディショナー左カバーの取り外し.....	71
8.1.3.2 配線前の準備.....	71

8.1.3.3 防水プラグを外す	76
8.1.3.4 システム保護接地線の配線	77
8.1.3.5 AC 出力ケーブルの配線	79
8.1.3.6 DC 入力ケーブルの配線	81
8.1.3.7 蓄電池保護接地線とパワーケーブルの配線	83
8.1.3.8 蓄電池通信ケーブルの接続	87
8.1.3.9 AC—CT ケーブルの接続	88
8.1.3.10 Ezlink3000 の設置	89
8.2 蓄電池の設置と配線	91
8.2.1 蓄電池の設置	92
8.2.1.1 蓄電池と同梱品の搬送	92
8.2.1.6 コントロールボックスの設置と固定	97
8.2.1.7 配線ボックスの取付	99
8.2.2 蓄電池の配線	100
8.2.2.1 蓄電池の保護接地線の接続	100
8.2.2.2 蓄電池とパワーコンディショナー間のパワーケーブル配線	101
8.2.2.3 蓄電池とパワーコンディショナー間の通信ケーブル配線	102
8.3 設置と配線後の確認	103
8.3.1 検査項目リスト	103
9 設備試運転	106
9.1 システムの電源投入	106
9.2 電源投入後のシステム運転状況の確認	108
9.3 設備試運転後の対応	110

9.3.1	パワーコンディショナー配線カバーの取付	110
9.3.2	蓄電池保護カバーの取付	111
9.3.3	(オプション) 蓄電池のスイッチカバーの固定	111
10	蓄電システムの調整とモニタリング	112
10.1	SolarGo App、SEMS Portal のダウンロードと SEMS Portal web のログイン	113
10.1.1	SolarGo App のダウンロードとインストール	113
10.1.2	SEMS Portal App のダウンロードとインストール	115
10.1.3	SEMS Portal Web のログイン	116
10.2	SolarGo App よりシステムパラメータの設定	116
10.2.1	SolarGo App ホームページの操作と接続	118
10.2.1.1	ホームページの操作	118
10.2.1.2	パワーコンディショナーとの接続	118
10.2.2	通信設定	121
10.2.3	系統連系規定の設定	124
10.2.3.1	系統連系規定のパラメータ設定	124
10.2.3.2	出力制御の設定	127
10.2.4	システムの設定	129
10.2.4.1	運転モードの設定	129
10.2.4.2	蓄電池の型式の選択	131
10.2.4.3	進行メーター/CT 検出	131
10.2.5	PV 接続モードの設定	132
10.2.6	蓄電池の機能設定	133
10.2.7	自立運転機能の設定	135

10.2.8	アーク検出機能の設定	135
10.2.9	通信アドレスの設定	136
10.2.10	プライバシーとセキュリティ設定	137
10.3	SEMS Portal よりの発電所モニタリング	138
10.3.1	SEMS Portal App 言語の選択	139
10.3.2	获取登录账号	140
10.3.2.1	管理者アカウント（インストーラーのみ）	141
10.3.2.2	技術者、ブラウザアカウント（インストーラーのみ）	143
10.3.3	SEMS Portal のログイン	144
10.3.3.1	SEMS Portal App のログイン	144
10.3.3.2	SEMS Portal Web 登録	144
10.3.4	発電所の作成	145
10.3.5	発電所情報の確認	148
10.3.6.1	発電所概要の確認	148
10.3.6.2	発電所詳細情報の確認	149
10.3.6	発電所とデバイスの管理	152
11	システムのメンテナンス	155
11.1	蓄電システム情報の確認	155
11.1.1	基本情報の確認	155
11.1.2	稼働パラメータの確認	155
11.1.3	ファームウェア情報の確認	156
11.2	システムの電源オフ	157
11.2	蓄電池の再起動	159

11.3 日常保守	160
11.3.1 パワーコンディショナーの保守	160
11.3.2 蓄電池の保守	160
11.3.3 Ezlink3000 の保守	161
11.3.4 SolarGo ログインパスワードの変更	161
11.4 システムの解体	162
11.5 システムの廃棄	163
12 障害情報と対処方法	163
12.1 故障・アラームの詳細情報の確認	164
12.3 障害情報と対処方法	166
12.3.1 パワーコンディショナーのトラブルシューティング	167
12.3.2 Ezlink3000 の故障排除	178
12.3.3 蓄電池の故障排除	179
12.4 故障排除後の処理	182
12.4.1 AFCI アラームのクリア	182
12.4.2 オーバーローアラームのクリア	182
12.4.3 系統再連系	183
13 その他	185
13.1 製品仕様	185
13.1.1 パワーコンディショナー仕様	185
13.1.2 蓄電池の仕様	187
13.1.3 Ezlink3000 の仕様	188
13.1.4 CT の仕様	189

13.2 FAQ..... 190

13.2.1 製品の品質保証情報をどう確認しますか？ 190

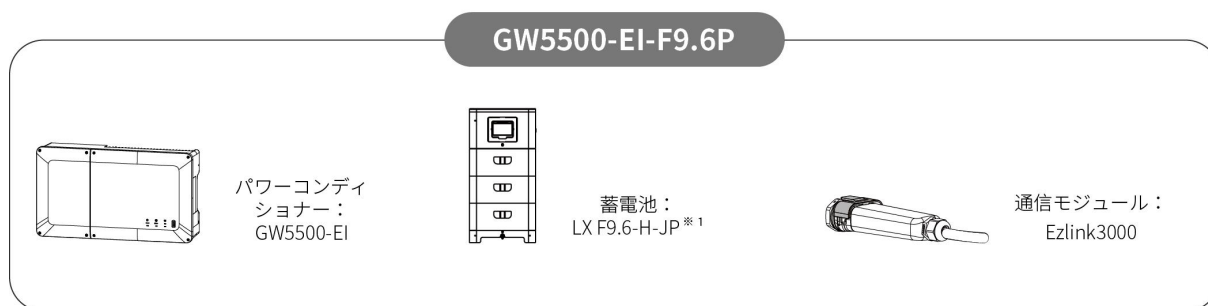
1 前書き

- 本書は、主に蓄電システム EI シリーズの設置について紹介します。
- 本製品を設置 /使用する前に、本マニュアルをよく読み、製品の安全に関する情報を把握し、製品の機能と特徴を十分に理解してください。
- 本書の説明によって作業を行ってください。。
- 本書は、地域の規制、規格、電気システム関連の知識に精通したプロの人員を対象としています。
- 文書は随時更新されるため、最新版や詳細については公式メインページをご覧ください。

1.1 対象製品

本書は複数の機器で構成される蓄電システムに適用しています。以下の機器がシステムに含まれます：

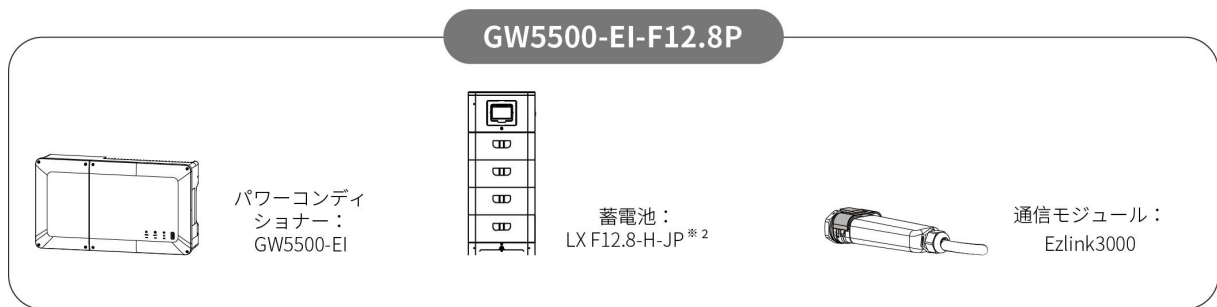
- パワーコンディショナー型式：GW5500-EI
- 電池型式：LX F9.6-H-JP または LX F12.8-H-JP
- 通信モジュール型式 Ezlink3000
- SolarGo アプリバージョン：6.10.0
- 分電盤：システムで使用する分電盤は別途購入する必要があります



※：GW5500-EI-F9.6P：

- 公称使用可能容量：9.6kWh

- 蓄電池モジュール数：3



※：GW5500-EI-F12.8P：

- 公称使用可能容量：12.8kWh
- 蓄電池モジュール数：4

1.2 記号の定義

 危険
取り扱いを誤った場合は、死亡または重傷までにつながります。
 警告
取り扱いを誤った場合は、軽傷または中傷の潜在危険を伴い、最悪で重傷または死亡までにつながる可能性があります。
 注意
取り扱いを誤った場合は、軽傷または中傷の潜在危険を伴い、財産の損害につながる可能性があります ^{*1} 。

※：1. 財産的損害とは、製品の故障や不具合などにより、お客様の設備や財産について生じた損失を指します。

2 安全事項

本書に記載された安全上の注意事項が必ず遵守してください。



警告

本設備は安全規定に従って厳密に設計およびテストされているが、電気設備^{*1}として、不適切な操作を行うと重大な傷害や財産損害が発生し得るので、事前に安全上の説明を受ける必要があります。

本書または対応するユーザーマニュアルの要件に従って設備を設置、使用、設定しなかったことによって引き起こされる設備の損傷または人身傷害は、設備メーカーの責任の範囲内ではありません。製品保証の詳細については、以下の公式 Web サイトをご覧ください：

<https://jp.goodwe.com/warranty>。

注記：1. 試験基準番号：低圧蓄電システムの安全規定———JIS C 4412：2021

以下のラベルは、守るべき注意事項を示しています。：



No.	アイコン	意味
1		一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
2		感電注意 特定の条件下では感電の可能性があることを警告する通知
3		一般的な説明 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
4		高温注意事項 特定の条件下での高温による負傷の可能性に関する警告通知


5		安全保護具 設置、保守、操作中は個人の防護に注意してください。
6		保護接地線 保護接地線標識、保護接地線の接続位置を示します。
7		機器は規則に従って廃棄してください。 機器を一般ごみとして処分することはできません。現地の法令に従って処分してください。
8		機器を適切にリサイクルする 機器は正しい場所に置き、現地の環境規制に従ってリサイクルする必要があります。


2.1 システムの安全



本設備に対するすべての操作は、資格のあるプロの人員または訓練を受けた担当者のみが行うべき、作業者は案件当地の基準や安全規定を熟知しなければなりません。

- パワーコンディショナーを操作するときは、絶縁工具を使用し個人用防護具を着用して、安全を確保してください。電子機器に触れるときは、静電気防止の手袋やリストバンド、ウェアなどを着用し、パワーコンディショナーを静電気による損傷から守ってください。
- 本文書の要件に従って製品を設置、使用、配置しなかったことによる機器の損傷または人身の傷害は、機器メーカーの保証対象外です。

 警告	
感電、発煙、発火、火災、ケガ、故障の原因となる可能性があります。	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 落したり、ぶついたりした製品は使用しないでください。 ● 次のような場所には設置しないでください。： <ul style="list-style-type: none"> ○ 作業場、キッチン、換気扇を設置された所などの油煙や湯気の多い場所。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粉塵（おがくず、わらくず、粉塵、砂粉、綿粉、金属粉など）の多い場所。 ○ 冠水や雪氷に覆われる恐れがある場所 ○ 湿気、湯気、高温の場所 ○ 揮発性、可燃性、腐食性などの有毒ガスや液体にさらされる場所（鶏舎、納屋、化学薬品を扱う場所など） ● 次のような方法でネジを締めないでください： <ul style="list-style-type: none"> ○ 電動ドライバーやインパクトドライバーなどオーバートルクになりやすい工具で締め付けしないでください。 ○ 傾けた状態でネジを締めないでください。 ● 改造、分解、修理をしないでください。 ● 特定負荷端子台を家庭内の一般負荷コンセントに接続したり、延長コードを使用して特定負荷端子台に接続したりしないでください。 ● システムの電源がオフのときに人身傷害に及ぼさないようにするため、生命を維持する医療機器など、安定した電力供給に依存する機器を接続しないでください。 ● 始動電流が高い負荷の使用は避けてください（電流はパワーコンディショナーの最大電流を超えることはできません）。そうしないと、過剰な瞬時電力によりオフグリッド出力ができない可能性があります。 ● 太陽光発電システムに蓄電池が装備されていない場合、自立運転機能の使用は推奨されません。それによる電力消費の故障リスクがあり、その故障はパワーコンディショナーメーカーの保証範囲外になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下のネジまたは配線端子を使用してください： <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定されたネジまたは配線端子を使用してください ○ 裸圧着端子（JIS 規格準拠）に対応する圧着工具で端子の接続作業を行ってください。 ● 設置は、電気設備技術基準・内線規程に従い、第一種または第二種電気工事士が行ってください。 ● 作業は、次の電源をオフにしてから5分間待って、端子間に電圧がかかっていないことを確認してください： <ul style="list-style-type: none"> ○ 蓄電システムのブレーカ ○ 蓄電池ユニットの直流ブレーカ ○ 太陽光パネルのすべての入力ブレーカ ○ 特定負荷配電盤のすべてのブレーカ（特定負荷配電盤または特定負荷端子台使用時）

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主配電盤上の特定負荷配電盤のブレーカ ● 作業が完了するまでは、太陽光パネルの入力スイッチを OFF にしてください。 ● 太陽光パネルと蓄電システムの間で配線する時、蓄電システム側の作業を先にしてください。太陽光パネル側の配線作業時は、必ず太陽光パネルを遮光板で覆ってください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 接地保護線を必ず接続してください。

 注意	
感電、発煙、発火、火災、ケガ、故障の原因となる可能性があります	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の場所には設置しないでください： <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機器に近い場所（医療機器が故障する恐れがあります） ○ 放送局の送信アンテナと家のアンテナの間（受信障害の恐れがあります） ○ 近くにアマチュア無線アンテナがある場合（受信に影響を及ぼす可能性があります）

2.1.1 安全上の重要なポイント

以下の事項は安全のために必要なことなので必ず遵守してください。

- 高所に設置された機器の操作、点検、メンテナンスを行う場合は、足場を含めて十分な安全を確保してください。
- 装置を横にしたり、傾けて設置しないでください。水平器または同様の装置を使用して、装置を水平な位置に設置してください。
- 蓄電池ユニット以外の部分については、産業廃棄物として適切に廃棄してください。
- 本書に記載されている機器およびオプションのアクセサリを使用してシステムを作ってください。
- 本蓄電システムの AC ポートには、次のメイン漏電ブレーカと接続してください。
 - 系統連系ポートに接続します: 3P3E タイプ 電流 32A のブレーカを使用してください
 - 特定の負荷ポートに接続: 3P3E タイプ 電流 40A を使用してください

-
- 保管の際は以下の点にご注意ください：
 - 海拔 2000 メートル以下で保管してください。

2.1.2 使用上の注意事項

- 特定負荷コンセントには、他の一般負荷と区別するために、指定された負荷コンセントラベルを貼り付けてください。
- このシステムで使用される CT センサー: 一次入力電流 $\leq 90\text{A}$ 、二次出力電流 $\leq 90\text{mA}$ 。
- メインのセンサーを取り扱う場合は、正しい測定ができない場合がありますので、以下の点にご注意ください：
 - センサー観測面に衝撃を与えたり、ゴミなどの異物を付着させないでください
 - センサーを開くときは、つめを無理に開閉しないでください
 - センサーを閉じるときは、「カチッ」と音がするまでセンサーを固定つめに押し込み、しっかりと固定されていることを確認してください
- 以下の場所では主流センサーを設置しないでください：
 - 有害な煙、塩分、硫黄、アンモニアなどのガス、湿気が多い場所、しずくや水蒸気、塵埃、粉塵、爆発性ガス、風、雨、紫外線などの多い場所
 - 激しい振動、衝撃、外部磁界の影響を受けやすい場所
 - バスバーなど
- メインの CT 配線が周囲の露出配線に接触しないように注意してください。
- 特定負荷分電盤または特定負荷コンセントに接続される消費電力の合計が 5500W 以下、各相に接続される負荷の消費電力が 2750W 以下となるようにしてください。
- 他の太陽光発電システムを隣接して設置する場合は、必ず下記のレギュレータを接続してください：
 - 認定された系統連系保護装置
 - 住宅用 (DC 入力電圧 450V 又はそれ以下)


2.2 パワーコンディショナーの安全






感電、発煙、発火、火災、ケガ、故障の原因となる可能性があります



- 海岸から 1000 メートル以上離れた、波の影響を直接受けない所に設置してください。
- 内部の絶縁シートを剥がしたり、絶縁シートの内側に触れたりしないでください。
- 子どもの手が届かないところに保管してください。
- トップカバーや筐体カバーを取り付ける際は、ネジを斜めに締めたり、規定トルク（筐体カバー： $2N \cdot m$ ）以外でネジを締めないでください。
- 交流、直流に関わらず、例え瞬時電圧であっても、誤配線の状態では電圧がかかることをしないでください。
- 特定負荷端子台を家庭内の一般負荷コンセントに接続したり、延長コードなどを使用して特定負荷を接続したりしないでください。
- 以下の装置に対して、操作を途中で止めたり、操作レバーを持ったまま遅くて操作しないでください：
 - 蓄電システムのブレーカ
 - 電池ユニット直流遮断器
 - 独立入力端子と接続すべての設備のブレーカ
 - 特定負荷配電盤のすべてのブレーカ
 - 主配電盤の特定負荷ブレーカ
 - 太陽光パネルのすべての入力スイッチ
- 機器交換などでケーブルを延長する場合は、異なる径のケーブルを使用して延長しないでください。延長接続は確実にを行い、接続部が露出しないように絶縁テープを巻いてください。
- 雨天や降雪時にパワーコンディショナーのトップカバーを開ける場合は、筐体内部のメンテナンスエリアへの雨や雪が侵入しないように保護措置を講じてください。雨や雪の侵入を防ぐことができない場合は、パワーコンディショナーのトップカバーを開けないでください。。
- パワーコンディショナーの右側のトップカバーを開けることは禁止されています。
- 系統連系点の電圧と周波数がパワーコンディショナー系統連系規制に準拠していることを確認してください。
- パワーコンディショナーの交流側にブレーカやヒューズなどの保護装置を追加することを推奨します。推奨仕様：3P 32A。
- パワーコンディショナーの保護接地線は確実に接続してください。パワーコンディショナーを複数台設置する場合は、すべてのパワーコンディショナーで C 種接地を行

	<p>ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パワーコンディショナーが 24 時間以内にアーク故障アラームを 5 回未満引き起こした場合、アラームは自動的にクリアされます。5 回目のアラームが発生後、パワーコンディショナーは保護のためにシャットダウンされます。パワーコンディショナーが正常に動作するには、アラームをクリアする必要があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーコンディショナーには一定の重量がありますので、慎重に操作してください。2 人以上で取り扱うことをお勧めします。 ● 配線を行う前に、製品本体と取り付けブラケットを固定しているネジをしっかりと締めてください。 ● 配線穴に隙間がないようにパテ等を使用してください。 ● ケーブルコネクタの配線は所定の手順に従って行ってください。 ● コネクタはロックされるまでしっかりと差し込んでください。 ● コネクタに力がかからないよう、配線の結束作業をしてください。 ● 配線完了後は、速やかにトップカバーおよび筐体カバーを取り付けてください。 ● 機器の取外しや交換などで配線を外したり接続したりする場合は、ケーブルに電圧がかかっていないことを確認するか、ケーブルの端末に絶縁作業をしてください。 ● 機器交換時の接続に既設の配線材（ケーブル、圧着端子、PF チューブ、配線ラックなど）を再利用する場合は、異常な変形や損傷がないか確認してください。

 注意	
<p>感電、発煙、発火、火災、ケガ、故障の原因となる可能性があります</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源がオンの状態であるか、電源を切った直後に製品に触れないでください。 ● 直射日光の当たらない場所に設置してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーコンディショナーをコンクリート壁に取り付ける場合、パワーコンディショナー 1 台が膨張ボルト 4 本が必要であり、各ボルトは 25kg の耐荷重が必要となります。壁がパワーコンディショナーの重量を支えられることを確認してください。 ● パワーコンディショナーを木製壁に取り付ける場合、パワーコンディショナー 1 台が木ネジが 6 本必要であり、各ネジは 16.7kg の耐荷重が必要となります。壁がパワーコンディショナーの重量を支えられることを確認してください。 ● パワーコンディショナーが過負荷保護により一度切れた場合、自動的に再起動することが出来、複数回発生した場合は再起動までの時間が長くなりますので、故障の原因を調査し、解決した後に、App を使用してパワーコンディショナーを速やかに再起動

	<p>することが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 停電した場合、負荷容量がパワーコンディショナーの定格出力を超えると、自立運転機能は自動的に停止します。再度起動が必要な場合は、大きな負荷を切断して、負荷の出力がパワーコンディショナーの定格出力より低いことを確認してください。
--	--

2.2.1 安全上の重要なポイント

以下の事項は安全のために必要なことなので必ずお守りください。

- 温度と湿度の環境は以下の通りです：
 - 運転時：温度 -25℃～60℃、湿度 0～95%RH（結露や凍結なし）
 - 保存時：温度 -25℃～60℃、湿度 0～95%RH（結露や凍結なし）
- 複数の製品を上下に設置する場合、各ユニット間の間隔は最低 322mm を確保する必要があります。これにより、製品から排出される熱の影響が軽減されます。これらの条件を守っていても、下方の製品から排出される熱が上方の製品に影響を与える可能性があり、以下のリスクがあります：
 - 上方の製品の底面の吸気温度（製品の放熱フィン下の温度）が 40℃ を超える場合、上方の製品の出力が抑制される可能性があります
 - 上方の製品の寿命が下方の製品よりも短くなる可能性があります
- 操作の便利さや放熱のために、製品の周囲にスペースを確保し、この範囲内には何も置かないでください：
 - 上方 300mm、下方 500mm※¹、左側 300mm、右側 300mm、前方 300mm
 - 水没、積雪、湿気、水たまりのある場所から離れて設置し、雑草、ごみ、障害物が放熱や換気を妨げないようにしてください。

※ 1. 下方に 500mm のスペースがあっても、発熱する物体（例：エアコンの室外機など）を置かないでください
- 一般通信機器や他の機器を製品の通信コネクタに接続しないでください。
- 主配電盤からパワーコンディショナーおよび特定負荷配電盤、およびパワーコンディショナーから特定の負荷配電盤までの配線長は、内部配線規則に従って決定する必要があります。パワーコンディショナーから導入線接続点への逆功率流時の電圧降下は、2%以内である必要があります。
- 外部入力端子ボタンを操作する際には、適切なサイズの平ネジドライバーを使用してください。
- ボタンを操作する場合は、平ネジドライバーをボタンの溝に合わせて直接押し込んでください。
- ボタンを斜めに押し込んだり、横方向に力を加えたりすると、接続端子が損傷する恐れがあります。
- 外部入力端子の配線には指定された端子を使用し、芯線を指定の長さまで剥き出しにしてください。

-
- 接続端子の接触不良が誤動作の原因になることがあります。
 - 機器を交換する際には、強度を確保するため、既存製品を固定した取付穴を使用しないでください。

2.2.2 使用上の注意事項

- ラジオ、テレビ、その他の電波を使用する機器は、本製品から少なくとも3メートルの距離離れて使用してください。無線受信に影響が出る可能性があります。
- PVストリングについて：パワーコンディショナーの直流ケーブルの接続には、同梱の直流接続端子を使用してください。その他の型式の直流接続端子を使用すると重大な事故につながるおそれがあります。これによる機器の損傷は、機器メーカーの保証対象外になります。
- 以下の場所に設置しないでください：
 - 温差の激しい場所
 - 換気の悪い場所
 - 密閉または狭い場所
 - 標高 2000メートル以上の場所
 - 振動や衝撃の影響が大きい場所
 - 電場の影響が大きい場所
 - 寝室のように静かな環境が求められる場所には設置しないでください。そうしないと機械の運転音があなたにとって不快になる可能性があります。
- パワーコンディショナーが自立運転モードになる場合、以下のような家庭用の一般負荷に使われません：
 - 誘導負荷：
 - 1.1 倍の定格出力時<誘導負荷の起動瞬時電力<1.2 倍の定格出力時、持続時間<1 min
 - 誘導負荷の起動瞬時電力が 1.2 倍の定格出力を超える場合、持続時間が 3 秒未満である。
 - 容量負荷：総電力 ≤ 0.66 * パワコン定格出力。

2.2.3 保存環境

- 逆変器がすぐに使用されない場合は、以下の要求に従って保管してください：

- 外装箱が未開封であり、箱内の乾燥剤が失われていないことを確認してください。
- 保存環境が清潔で、温度および湿度の範囲が適切であり、結露しないことを確認してください。
- 逆変器の積み重ね高さおよび方向が外装ラベルに記載されている指示に従って配置されていることを確認してください。
- 逆変器が積み重ねられた後、倒れるリスクがないことを確認してください。




2.2.4 パワーコンディショナーラベル

以下のラベルは、遵守すべき注意事項を示しています：




	<p>高温の注意事項</p> <p>特定の条件下での高温による負傷の可能性に関する警告通知</p>		<p>遅延放電</p> <p>電源を遮断した後、機器が完全に放電するまで5分間お待ちください。</p>
	<p>説明書を読む</p> <p>機器を操作する前に、取扱説明書をよくお読みください。</p>		<p>危険警告</p> <p>機器には運転終了後も潜在的な危険がありますので、操作時は防護に注意してください。</p>
	<p>機器は規則に従って廃棄してください</p> <p>機器を一般ごみとして処分することはできません。現地の法令に従って処分してください。</p>		<p>接地マーク</p> <p>保護接地線標識、保護接地線の接続位置を示します。</p>
	<p>高電圧危険</p> <p>パワーコンディショナーの稼働中は高圧が伴います。パワーコンディショナーを操作する際は、必ずパワーコンディショナーの電源が切れていることを確認してください。</p>	-	-

2.3 蓄電池の安全

- この蓄電池システムは高圧システムです。危険を避けるために、システム内の機器を操作する前に電源を切り、このマニュアルのすべての安全上の注意事項と機器の安全標識を厳守してください。
- 専門の作業員だけが蓄電池システムの作業を許可されています。専門の作業員は、現地の規制、規格、および負荷システムに精通し、専門的なトレーニングを受け、この製品に関連する物事に精通している必要があります。
- 電池またはコントロールボックスに明らかな欠陥、損傷、または不足がある場合は使用しないでください。
- 機器メーカーの許可なしに、電池またはコントロールボックスのいかなる部分も分解または改造しないでください。
- 電池の損傷は電解液の漏れを引き起こす可能性があります。漏れた電解液や揮発性のガスには触れないでください。また、すぐにアフターサービスセンターに連絡して助けを求めてください。

 警告	
感電、発煙、発火、火災、ケガ、故障の原因となる可能性があります	
	<ul style="list-style-type: none">● 製品に異物を挿入しないでください。● 上部カバーを開けたり、ブレーキを操作したり、内部に手を触れたりしないでください。● 意図的に製品に水をかけたり、製品を濡らしたりしないでください。● 浸水したバッテリーセルへの接近又は接触はしないでください。● 漏れが発生した場合は、液体に触れないでください。液体が目や皮膚に触れた場合は、直ちに大量の清水で洗い流し、医師の診察を受けてください。● 強い衝撃を与えないでください。● バッテリーセルに対してストーブやその他の熱源を向けないでください。● ストーブなどの熱源からは少なくとも 2 メートルの距離を保ってください。● 誤った種類の電池を交換しないでください。爆発の危険があります。● コントロールボックスの左側のスイッチカバー、右側の通信ポートのキャップ、および右側の通信端子の保護カバーは取り外さないでください。
	<ul style="list-style-type: none">● 製品は一定の重量がありますので、必ず 2 人以上で運搬し、運搬中は保護手袋を着用してください。怪我を防ぐために、運搬中はバランスを保ち、機器が落下して破損

	<p>しないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タールを生成するものの近く、例えばタバコやお香の近くに製品を設置しないでください。 ● 周囲の温度が 50°Cを超えないようにしてください。そうしないと、蓄電池に爆発のリスクがあります。 ● 配線時には、必ず取扱説明書に従ってケーブルの熱収縮チューブを正しく取り付けてください。 ● ケーブルの皮むき部分が本体から出ないようにしてください。 ● 設置および配線時には、固化などの対策を講じて、内部に破片やほこりが入らないようにしてください。 ● コントロールボックスの防水カバーを必ず取り付けて、雨水やほこりが内部に入らないようにしてください。
--	--

 注意	
<p>感電、発煙、発火、火災、ケガ、故障の原因となる可能性があります</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置方法や取り付け方向については、取扱説明書に従って取り付けてください。 ● 製品の上に何も置かないでください。 ● この製品に登らないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品は指定された基礎または水平な面に置いてください。 ● 取り付け前に地面が平らで傾斜がないことを確認してください。 ● ベースの支柱が地面と垂直であることを確認してください。 ● ベースが壁に接触し、ベースの上部の矢印が外向きであることを確認してください。 ● すべての蓄電池が壁に接触し、蓄電池の上部の矢印が外向きであることを確認してください。 ● 蓄電池を上に乗る際は、上部と下部穴の位置を合わせていることを確認し、蓄電池が落下しないようにしてください。

2.3.1 安全上の重要なポイント

以下の事項は安全のために必要なことなので必ずお守りください。

-
- 蓄電池ユニットの以上の範囲内には物を置かないでください。機能低下や寿命低下の原因となる可能性があります。
 - 上方：300mm 以上
 - 前方：300mm 以上
 - 左側：300mm 以上
 - 右側：300mm 以上
 - ご使用の際は以下の点にご注意ください：
 - 電池充電温度：2～50℃（結露 / 氷結しないこと）
 - 電池のその他の動作モード温度：-18~50℃
 - 湿度：0～95%RH（結露、氷結しないこと）
 - 外部蓄電池拡張モジュールに接続している間は、蓄電池システムを移動しないでください。蓄電池の交換や追加が必要な場合は、アフターサービスセンターまでご連絡ください。
 - 機器が傾いていないかをご確認ください。機器が傾くと装置の損傷や人身事故を引き起こす可能性があります。
 - 設備の近くに二酸化炭素、Novec1230、または FM-200 の消火器があることを確認してください。
 - 消火の際は、水や ABC 粉末消火器ではなく、推奨されている材質の消火器を使用し、消防士は防護服と自給式呼吸器を着用しなければなりません。
 - 高温環境下でのケーブルの使用は絶縁劣化や破損の原因となりますので、ケーブルと発熱体または熱源部周辺との距離を 30mm 以上離してください。
 - 同種のケーブルは束ねておき、タイプの異なるケーブルは最低でも 30mm 以上離し、絡まったら、交差させたりしないでください。

2.3.2 使用上の注意事項

- 電池ユニット内の温度差により充放電が阻害される場合がありますので、電池ユニットに冷暖房機器（床暖房を含む）の冷気や温風が直接当たらないようにしてください。
- 蓄電池の電流は、温度、湿度、天候などの要因によって影響を受ける可能性があります、これにより蓄電池の電流制限がかかり、負荷能力に影響を与える可能性があります。

2.3.3 蓄電池の標識

次のラベルは、遵守すべき注意事項を示しています：

	<p>高電圧危険</p> <p>蓄電池は運転時に高圧が伴います。蓄電池を操作するときは、電源が遮断されていることをご確認ください。</p>		<p>爆発の危険性</p> <p>機器は合理的にご使用ください。極端な状況で使用すると機器が爆発する危険があります</p>
	<p>電池の液漏れの危険性</p> <p>装置には腐食性の電解液が含まれています。漏れた電解液や揮発性ガスとの接触を避けてください。</p>		<p>危険警告</p> <p>機器には運転終了後も潜在的な危険がありますので、操作時は防護に注意してください。</p>
	<p>裸火から遠ざける</p> <p>火または着火源から機器を遠ざける必要があります。</p>		<p>子どもの手が届かない場所に設置する</p> <p>機器は子供の手の届かないところに設置してください。</p>
	<p>消火対策</p> <p>消火時は水を使用しないでください。</p>		<p>機器は規則に従って廃棄してください</p> <p>機器を一般ごみとして処分することはできません。現地の法令に従って処分してください。</p>
	<p>取扱説明書をお読みください</p> <p>操作する前に、製品の取扱説明書をよくお読みください。</p>		<p>安全保護</p> <p>設置、メンテナンス、操作の際は、個人保護に注意してください。</p>
	<p>設備の回収</p> <p>設備は適切な場所に置き、地域の環境規制に従って廃棄してください。</p>		<p>認証マーク</p> <p>JET 認証マーク</p>
	<p>接地マーク</p> <p>保護接地マークは、接地保護線の接続位置を示します。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

2.3.4 設置の環境

- 蓄電池システムは 10～30℃ の温度環境で最適に動作します。
- 直射日光や雨が掛かる場所に設置しないでください。
- 熱源や冷却源の近くに設置しないでください。
- 温度が大きく変動するエリアに設置しないでください。
- 干渉を受けやすい環境に設置しないでください。
- 子供が触れる可能性のある場所に設置しないでください。
- 水がたまりやすい場所に設置しないでください。
- 放熱や通気が妨げられる場所に設置しないでください。
- 昆虫や小動物が多い場所に設置しないでください。
- 周囲に可燃性、爆発性、または腐食性の物質を置かないでください。

注：1. この干渉は主に電磁干渉を指します。以下のような環境は、干渉を受けやすい環境に該当します：

- ラジオ局の送信アンテナと家庭用アンテナの間
- 近隣にアマチュア無線のアンテナがある場合
- 電磁波を発生させる場所の近く

2.3.5 保存環境



もし設備をすぐに取り付けて使用しない場合は、保存環境が以下の条件を満たしていることを確認してください：

- 設備は段ボールを使用して包装し、段ボール内に乾燥剤を置いてから密封してください。
- 開封後 3 日以内に取り付けを行わない場合は、設備を段ボール内に保存することをお勧めします。
- 保管時には、設備の積み重ね層数に制限があります。各設備の積み重ね層数の要件は以下の通りです：
 - パワーコンディショナー：≤12 段
 - コントロールボックス：≤4 段
 - 蓄電池モジュール：≤6 段

- 保管湿度範囲：相対湿度（RH）が 70%以下（保管時間が 1 ヶ月以内の場合）；相対湿度（RH）が 50%以下（保管時間が 1 ヶ月を超える場合）。
- 湿度範囲：0～90%の結露なし；蓄電池接続部に湿気や結露する場合は取り付けを行わないでください。
- 設備は涼しい場所に保管し、直射日光を避けてください。
- 設備の保管は、可燃性、爆発性、腐食性の物品から遠ざけてください。
- 設備は雨に濡れないようにしてください。

2.4 通信モジュールの安全

- パワーコンディショナーは Ezlink3000 という通信モジュールの接続を対応しています。Ezlink3000 は IEEE2030.5、出力制御、EchonetLite 通信機能が搭載されています。
- Bluetooth を使用してパワーコンディショナーを近接設定することができ、WiFi または LAN を通じて監視プラットフォームに接続し、蓄電池システムの運行状況や発電所の運営状況などを監視できます。

 注意	
感電、発煙、発火、火災、ケガ、故障の原因となる可能性があります	
	<ul style="list-style-type: none"> ● Ezlink3000 をむやみに分解したり引っ張ったりしないでください。 ● 意図的に製品に水をかけたり、製品を濡らしたりしないでください。 ● 手が乾燥している状態で、Ezlink3000 の接続や取り外しを行ってください。 ● 有機溶剤（希釈剤、ガソリンなど）、強アルカリ性物質、または強酸性物質を使用して Ezlink3000 を清掃しないでください。

3 システム配置と同梱品の確認

3.1 システム構成の確認

インストールするシステム構成は以下の A、B システムのどちらに当てはまるかをご確認ください。本マニュアルの説明や利用できる機能はシステム構成によって異なります。

ご使用前に各の設置場所をご確認ください。

- 特定負荷の配電盤および全負荷配電盤のメーカー指定はございません。ブレーカの型番により配置してください。
- 特定負荷配電盤および全負荷配電盤が設置されていないが、特定負荷コンセントが設置されている場合、これはシステム A に属します。

システム A：蓄電システム・特定負荷配電盤付き

システム B：蓄電システム・全負荷配電盤付き

システム構成		
内容物	システム A	システム B
 パワーコンディショナー (GW5500-EI)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 蓄電システム (LX F9.6-H-JP) (LX F12.8-H-JP)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 Ezlink3000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 太陽光パネル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

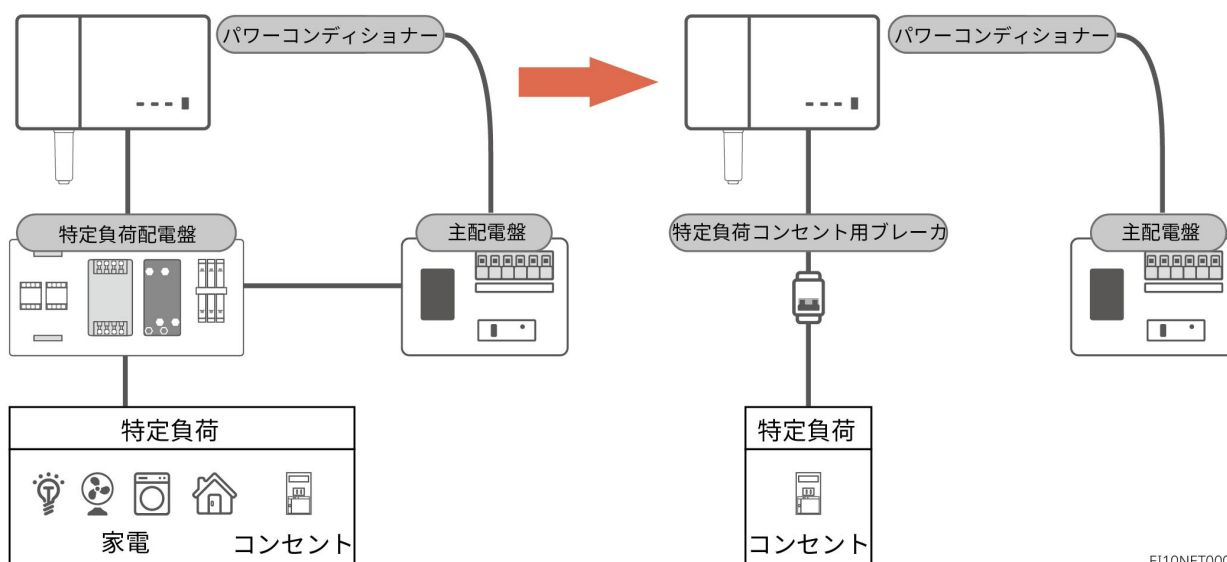


3.2 特定負荷コンセント

以下は、特定負荷配電盤および全負荷配電盤が設置されておらず、特定負荷コンセントのみが設置されているユーザを対象としています。

- システム構成について

特定負荷コンセントが取り付けられている場合、系統図は左図から右図に切り替わります。主配電盤と特定の負荷の間に「特定負荷コンセントブレーカ」が取り付けられます。



E110NET0001

- 停電時の電源と電流

- 停電時（自立運転モード）、特定負荷コンセントに接続されている負荷のみに電力が供給されます。

-
- 特定負荷コンセントに接続されている負荷の合計消費電力が 5500W 以下、各相の出力が 2750W 以下（最大電流は 28.7A 以下）であることをご確認ください。
 - 特定負荷コンセントに接続されている負荷が動作していない場合は、その特定負荷コンセントのブレーカがオフになっているかをご確認ください。

3.3 パッケージの内容の確認

製品を使用する前に、すべての付属品が同梱されていることをご確認ください。

施工マニュアル（1部）

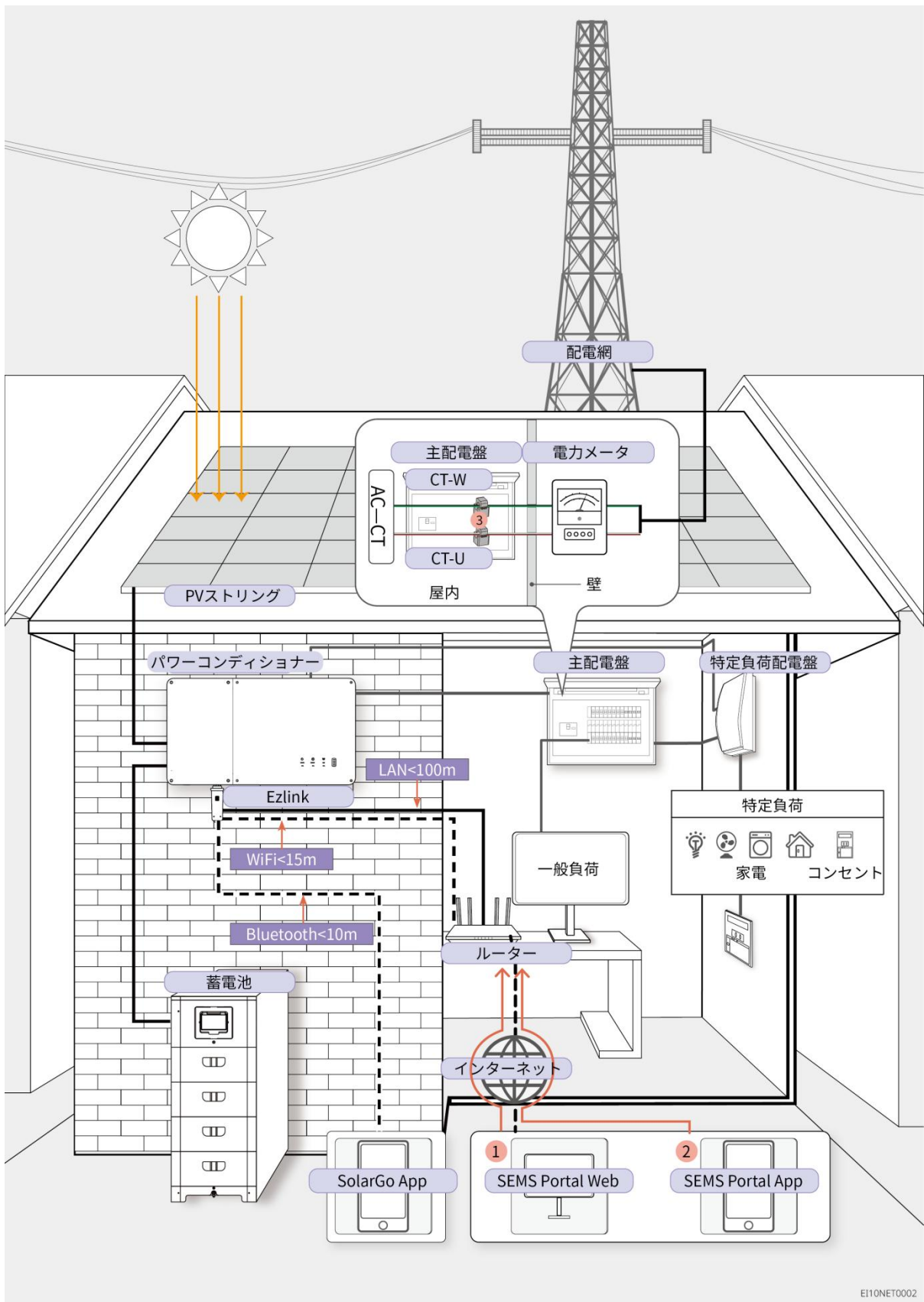
出荷検査報告書（1部）

4 システム概要

4.1 システム全体図

4.1.1 システム A について（特定負荷配電盤付きシステム）

停電時には、特定の負荷配電盤に接続された電器やコンセントを使用できます。



E110NET0002

● システム部品の役割

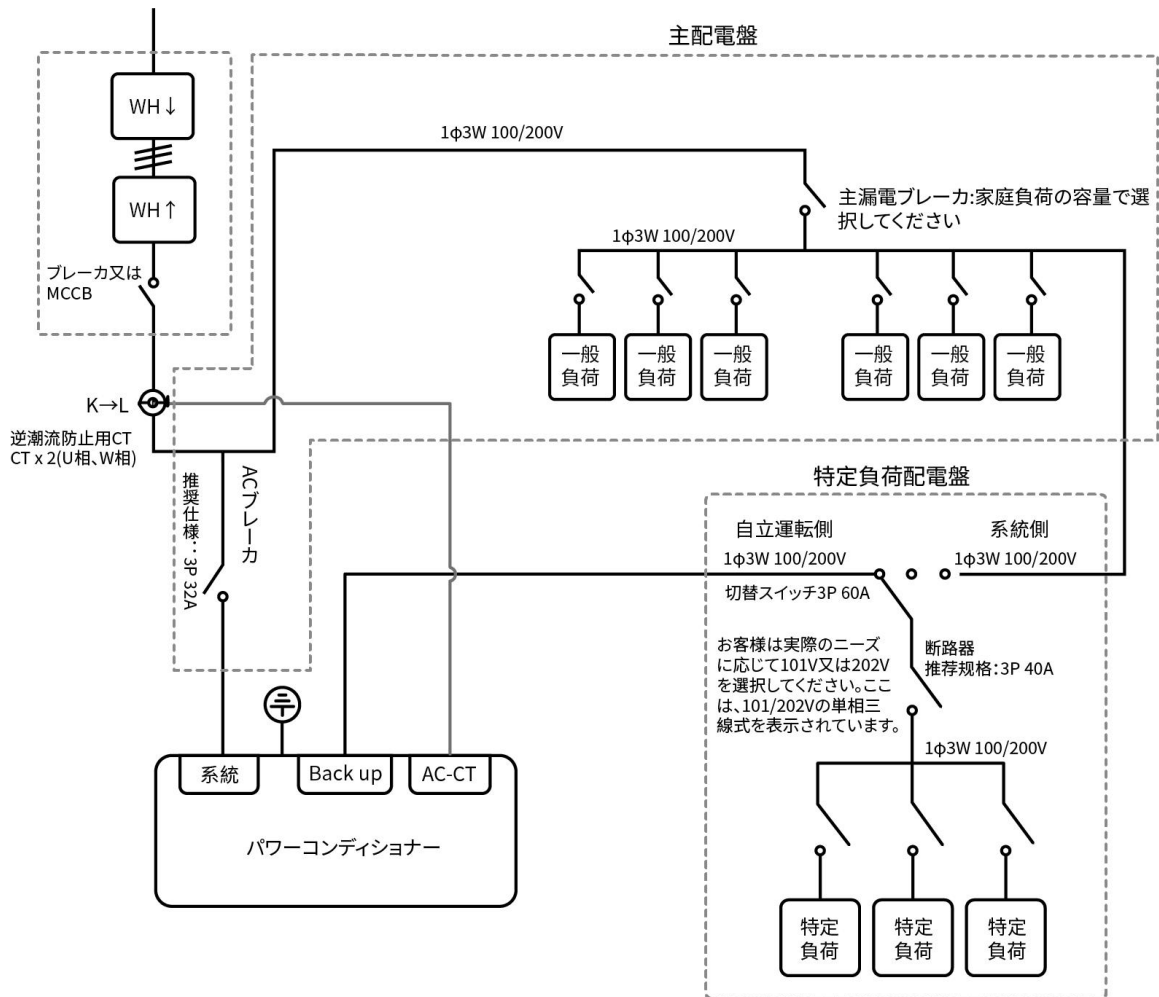
製品	役割
パワーコンディショナー	PV で発生した直流電力 (DC) を交流電力 (AC) に変換します。
蓄電池	特定の時間帯や停電時に家電製品に給電します。
Ezlink3000	<ul style="list-style-type: none"> ● Ezlink3000 は Bluetooth 信号を通じて SolarGo App に接続し、設備の監視と調整を行うことができます。これにより、システムの運行状況を確認し、設定を変更することができます。 ● Ezlink3000 がネットワーク信号に接続されると、WiFi または LAN 信号を通じてリモート監視プラットフォーム SEMS Portal に接続できます。リモート監視プラットフォームは家庭用データをリアルタイムで監視し、異常報告およびフィードバックをします。ユーザーはリモート監視プラットフォームのサーバーにアクセスできます。
主配電盤	主配電盤に接続されている負荷やコンセント (一般負荷) は、通常運転 (系統連系運転) 時には使用できますが、停電時 (自立運転) には給電されないため使用できません。
特定負荷配電盤	<p>特定負荷配電盤に接続されている負荷やコンセント (特定負荷) には、通常運転時 (系統連系運転) だけでなく停電時 (自立運転) にも電力が供給されますので使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常運転時 (系統連系運転) は、特定の負荷への電源経路を、「蓄電システム側」と「主配電盤側」の間において手動で切り替えることができます。
CT	<p>電力系統の電流を測定するためのものです。</p> <p>取り付け時には、L が商用電源側を向き、K が負荷側を向くようにしてください。</p>
電力メーター	電力メーターは、家庭で使用せずに電力会社に販売した発電量を測定することができ、また夜間や太陽光が少ない時に電力会社から購入した電力量も測定します。

特定負荷配電盤について

特定負荷配電盤または特定負荷コンセントに接続されている合計消費電力が 2750W 以下であることをご確認ください。

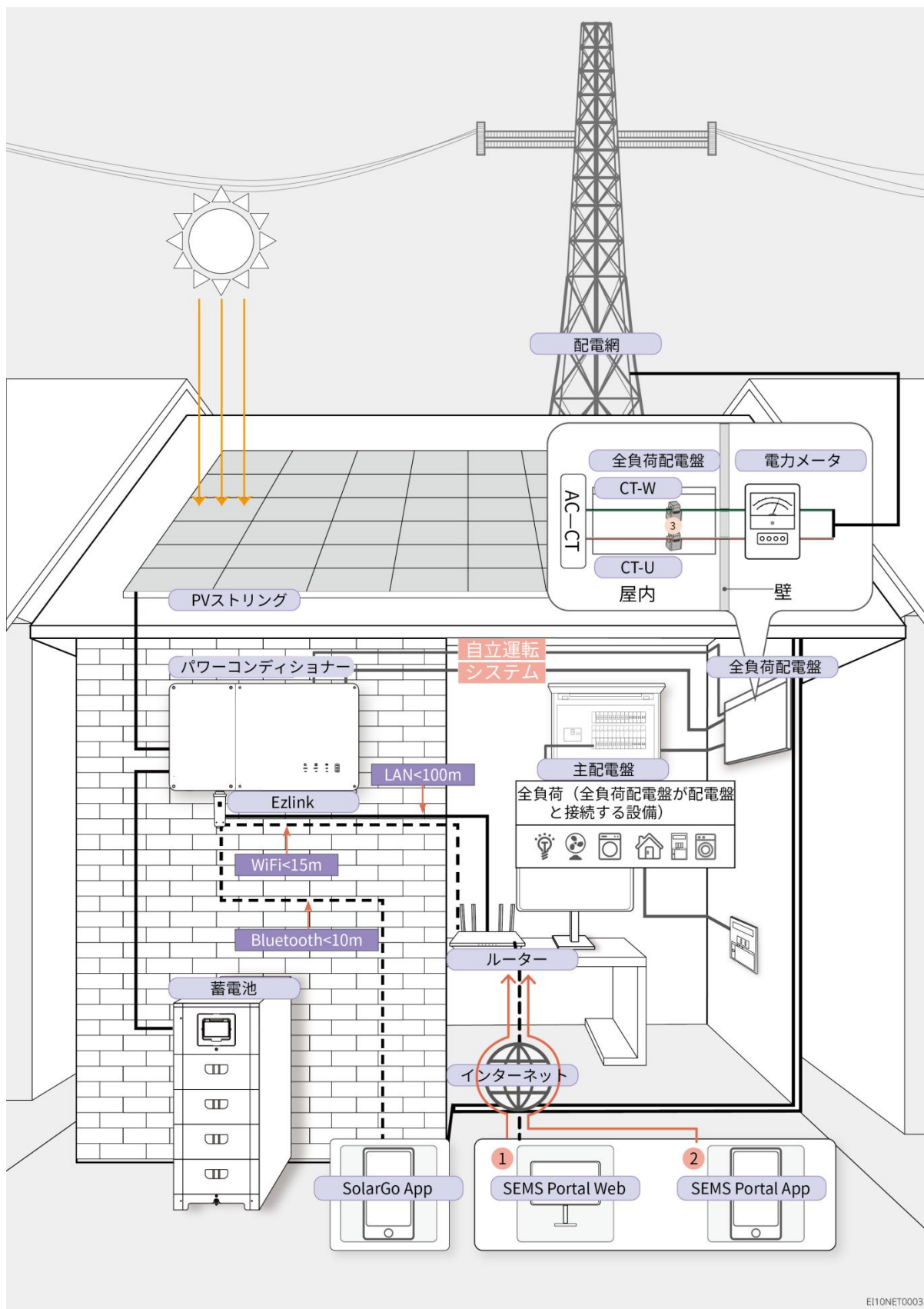
● 各ブレーカの設置位置

- 主漏電ブレーカ：主配電盤にあります
- 特定負荷配電盤ブレーカ：特定負荷配電盤にあります
- AC ブレーカ：主配電盤内またはその近くにありますが



E110ELC0011

4.1.2 システムについて B（全負荷配電盤付きシステム）



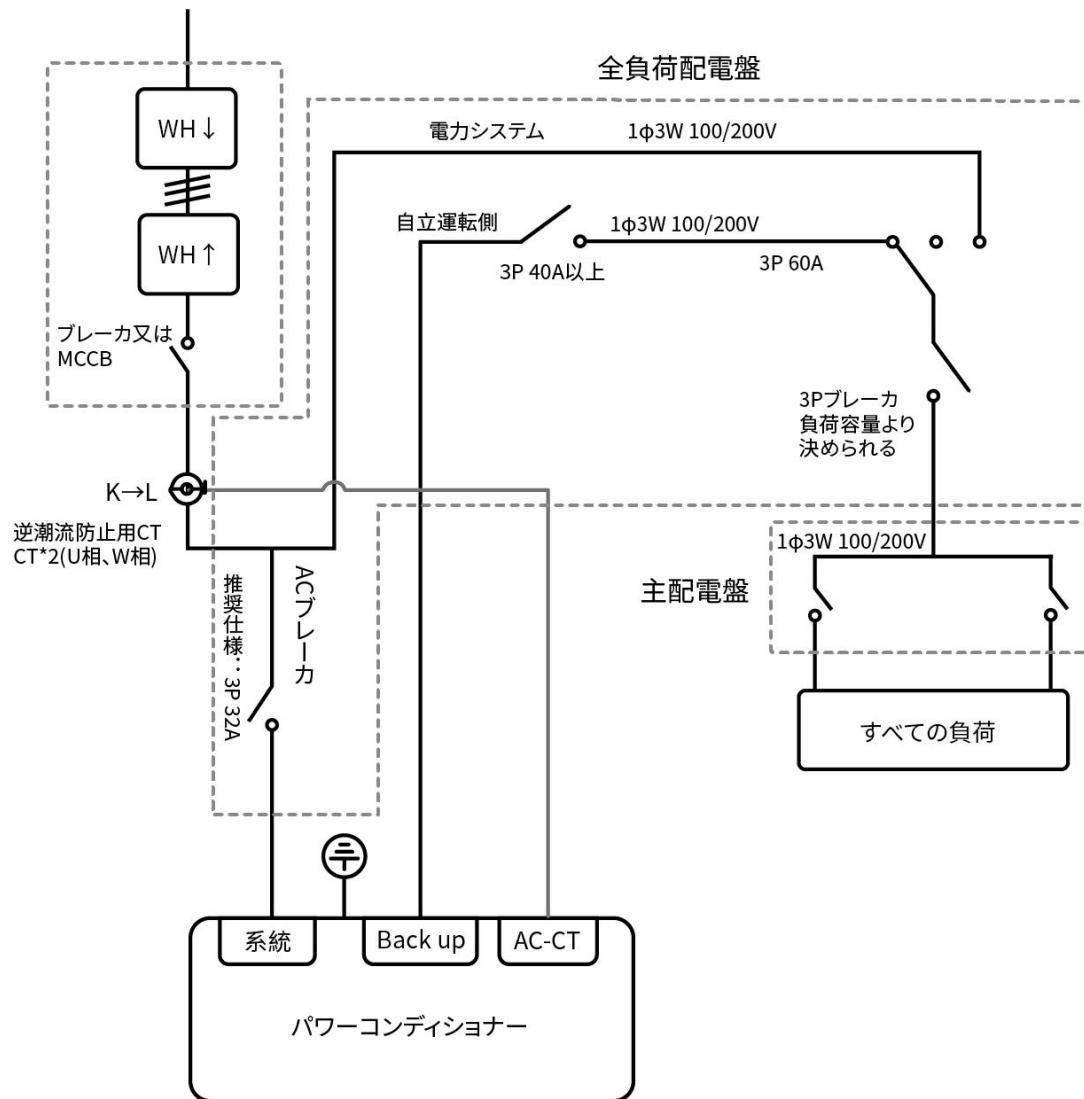
E110NET0003

- システム部品の役割

製品	役割
パワーコンディショナー	PVで発生した直流電力（DC）を交流電力（AC）に変換します。
蓄電池	特定の時間や停電時に家電製品に給電します。
Ezlink3000	Ezlink3000がネットワーク信号に接続されている場合、SolarGoアプリを通じて機器を監視および調整し、システムの動作状態を確認し、設定を変更できます。
主配電盤	主配電盤に接続されている負荷やコンセント（一般負荷）は、通常運転時（系統連系運転）でも、停電時（自立運転）でも使用できます。
全負荷配電盤	通常運転時（系統連系運転）および停電時（自立運転）の給電中継点となります。主配電盤には、蓄電池から放電される電気、太陽光パネルから発生する電気、電力会社から購入した電気が送られます。
CT	系統側の電流を測定します。
売電 / 買電用電力量計	売電量または日射量が比較的少ない場合に電力会社から購入する電力量を測定します。

- 各ブレーカの設置位置

主漏電ブレーカ、接点ブレーカまたは全負荷配電盤ブレーカは全負荷配電盤内にあります。



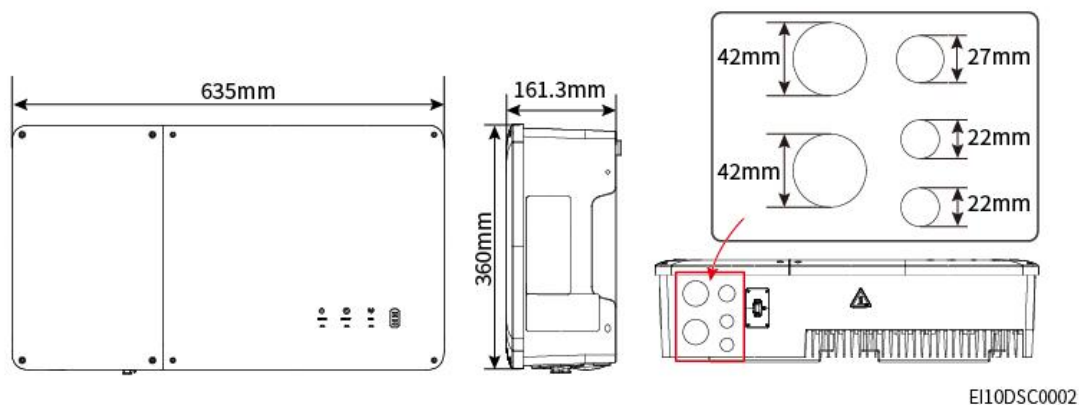
E110ELC0010

5 製品について

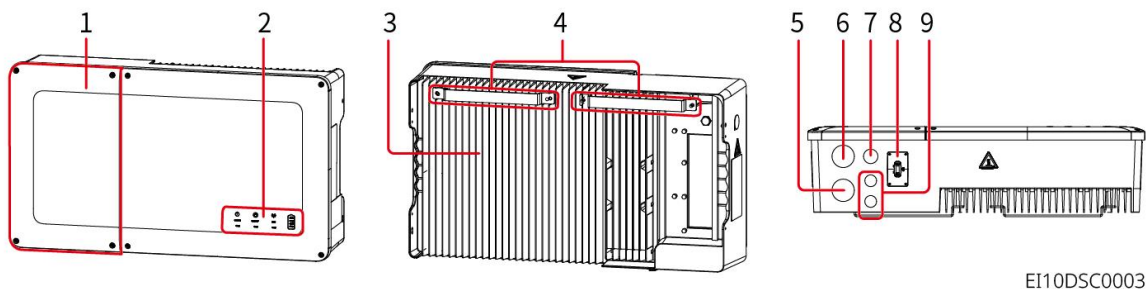
5.1 パワーコンディショナー

- パワーコンディショナーは、エネルギー管理システムを介して、太陽光発電システムの中でエネルギーフローを制御および最適化します。太陽光発電システムが発電する電力量を負荷に供給したり、蓄電池に貯蔵したり、電力システムに出力したりできます。
- 型式説明：GW5500-EI

5.1.1 パワーコンディショナーの寸法







5.1.2 蓄電池の外観及び機能の紹介










No.	名称	No.	名称
1	ケーブルボックス	2	表示ランプ ^{*1}
3	ヒートシンク	4	取付ブラケット











5	DC ケーブル穴	6	AC ケーブル穴
7	蓄電池との接続ケーブル穴	8	Ezlink3000 接続ポート
9	通信ケーブル穴	-	-

注：1. 表示ランプ（左から右の順番で表示ランプの説明をします）：

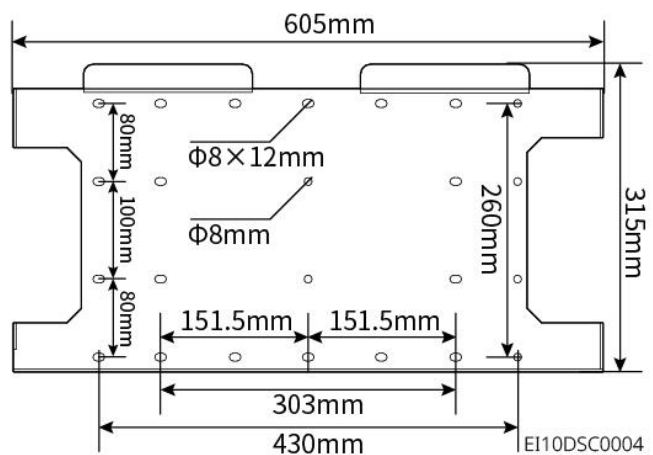
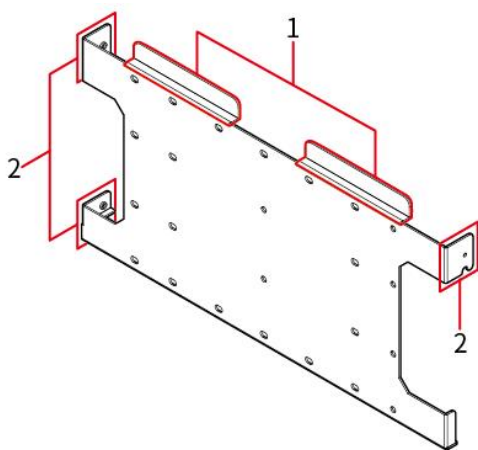
- ：パワーコンディショナー表示ランプ：パワーコンディショナーの運転状態を監視し、異常現象を警告します。
- ：電力系統表示ランプ：パワーコンディショナーと電力系統の接続状況を監視します（オングリッド又はオフグリッド）。
- ：通信モジュール表示ランプ：通信モジュールの接続状態を監視します。
- ：電池表示ランプ：電池の残量を表示します。

5.1.3 表示ランプの説明

表示ランプ	状態	表示ランプの色	説明
		黄	パワーコンディショナーの電源が投入され、待機モードになっています
		緑	パワーコンディショナーが起動中で、セルフチェックモードになっています
		緑	パワーコンディショナーが正常に連系運転または自立運転をしています
		赤	BACK-UP 出力の過負荷
		赤	システム障害
		色表示なし	パワーコンディショナーの電源が遮断されています

		黄	電力系統に異常があるため、パワーコンディショナーは自立 運転モードになっています
		緑	電力系統が正常であり、パワーコンディショナーは系統連系 運転モードになっています
		色表示なし	BACK-UP 機能がオフになっています
		黄	パワーコンディショナー通信モジュールがリセット中です
		黄	パワーコンディショナーと通信端末が接続を確立していません
		緑	通信端末とサーバの通信に障害が生じています
		緑	パワーコンディショナーが正常に監視されています
		色表示なし	パワーコンディショナー通信モジュールが起動していません

5.1.4 取付ブラケットの説明



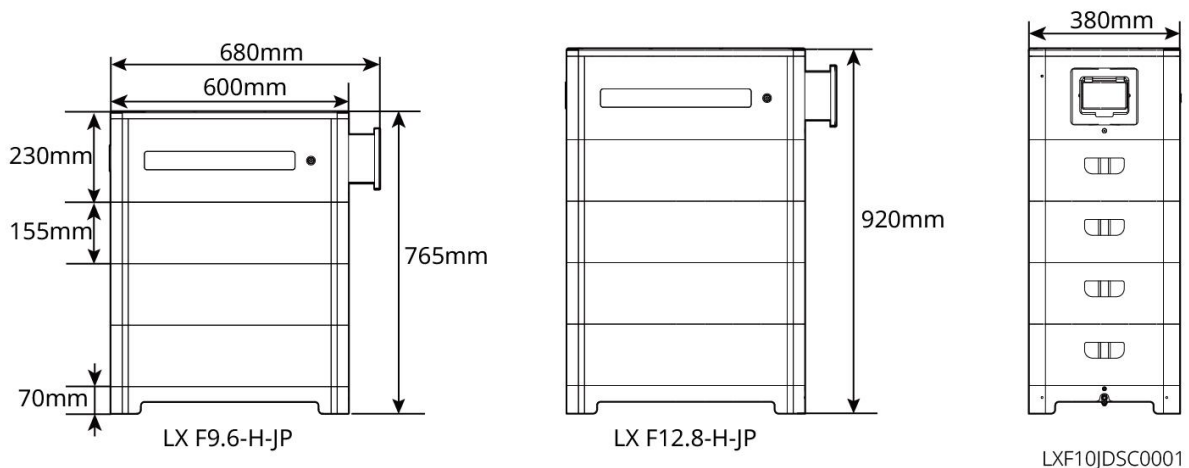
No.	名称	No.	名称
1	フック	2	固定用ネジ穴

- *1. パワーコンディショナーを固定するネジ穴は 3 つだけです。
- *2. 壁掛け金具の残りのネジ穴は、壁に固定するために使用されます。
- *3. 壁掛け金具に新たな穴を開けてはいけません。

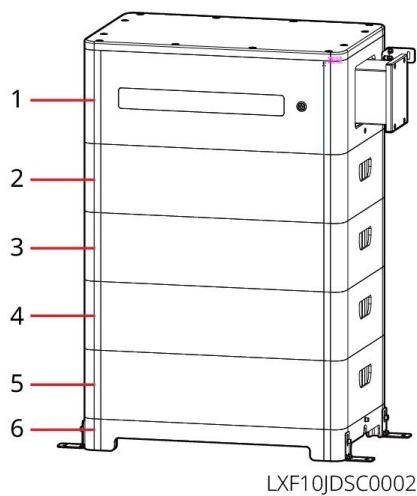
5.2 蓄電池の寸法及び外観

- 蓄電池システムは、蓄電池モジュール、コントロールボックス、ベースの 3 つの部分で構成されています。
- 蓄電池システムの外装を開封する前に、外装に損傷がないかを確認し、蓄電池システムの型番を照合してください。異常がある場合は、梱包を開けずに速やかにアフターサービスセンターに連絡してください。
- 蓄電池システムの外装を開封した後、梱包情報に基づいて内容物が完全であるかを確認してください。異常がある場合は、速やかにアフターサービスセンターに連絡してください。
- コントロールボックスは必ず蓄電池モジュールの上に取り付けてください。蓄電池モジュールをコントロールボックスの上に設置することはいけません。
- 本書では、4 つの蓄電池モジュールを設定する例を用いて製品を紹介します。

5.2.1 蓄電池の寸法

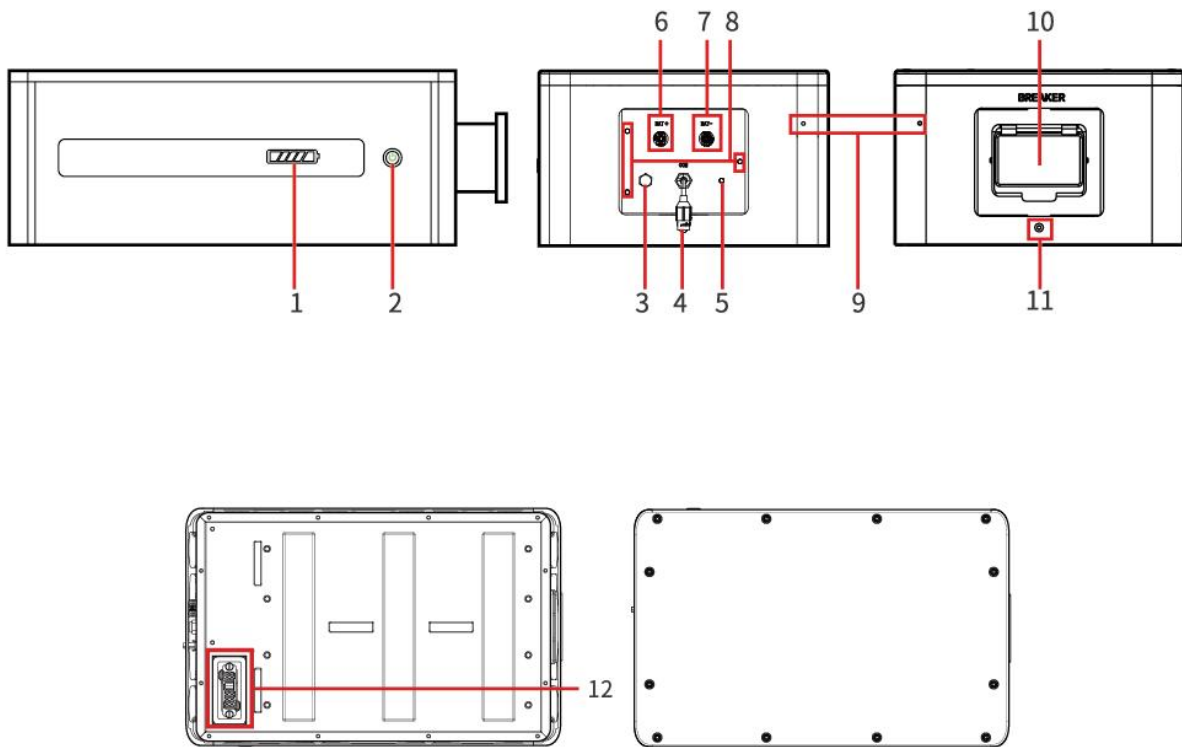


5.2.2 蓄電池の外観及び機能の紹介




1	2-5	6
コントロールボックス	蓄電池モジュール	ベース

コントロールボックス

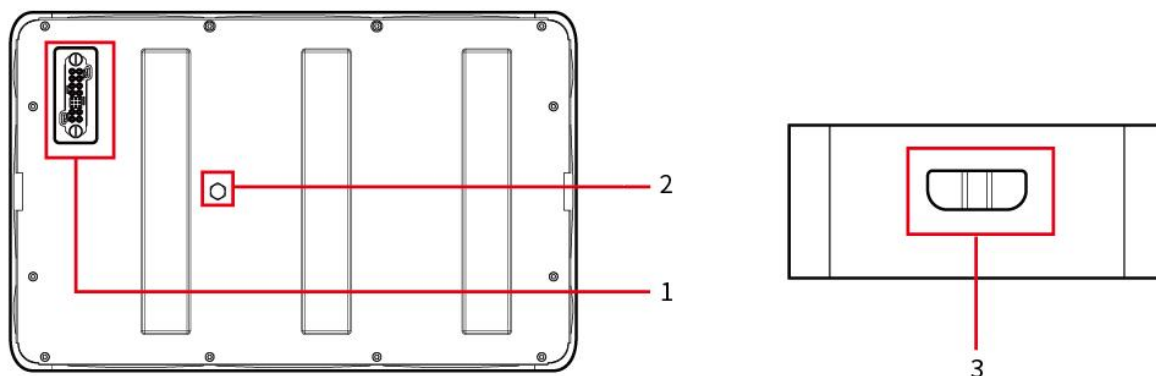


ET10DSC0007

No.	名称	アイコン	説明
1	SOC 表示ランプ		SOC 表示ランプは蓄電池の電力量情報を表示し、ボタン表示ランプと組み合わせて故障情報を確認ください。
2	ボタン表示ランプ		ボタン表示ランプは蓄電池を ON/OFF にするボタン、SOC ランプと組み合わせて故障情報を確認ください。
3	通気弁	-	蓄電池内外の圧力を均衡させます
4	蓄電池通信ポート	COM	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池とパワーコンディショナーとの通信に使用します。 シールド RJ45 コネクタと、屋外用シールド付き CAT 5E ケーブル(ケーブル外径<9mm、内部抵抗$\leq 1.5\Omega/10m$)を自分で用意する必要があります。

5	接地保護線ポート		<ul style="list-style-type: none"> ● 屋外用の保護接地線を自分で用意する必要があります。導体の断面積：5.5mm² ● 圧着後の引張強度>400N ● 保護接地線の絶縁体が最大で耐えられる電圧：600V、線温度：60°C
6	パワーケーブルポート (+)	BAT+	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーコンディショナーの蓄電池接続ポートの正極 (BAT+) に接続します。 ● 銅線、導体断面積：5.5mm²、ケーブル外径：5mm ≤ Ø ≤ 6mm ● パワーケーブルの絶縁体が最大で耐えられる電圧：1000V、線温度：105°C ● 使用可能なモデル：CV
7	パワーケーブルポート (-)	BAT-	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーコンディショナーの蓄電池接続ポートの負極 (BAT-) に接続します。 ● 銅線、導体断面積：5.5mm²、ケーブル外径：5mm ≤ Ø ≤ 6mm ● パワーケーブルの絶縁体が最大で耐えられる電圧：1000V、線温度：105°C ● 使用可能なモデル：CV
8	保護カバー 固定用ネジ	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護カバーに接続します。 ● 使用するナットの型番：M6
9	傾き防止バーのネジ	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 傾き防止バーに接続します。 ● 使用するナットの型番：M5*12
10	気中開閉器	BREAKER	蓄電池電源を入/切ををコントロールします
11	固定バー固定用ネジ穴	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定バーに接続します ● 使用するナットの型番：M5*10 (上)、M5*12 (下)
12	ブラインドメイト端子	-	蓄電池と接続します

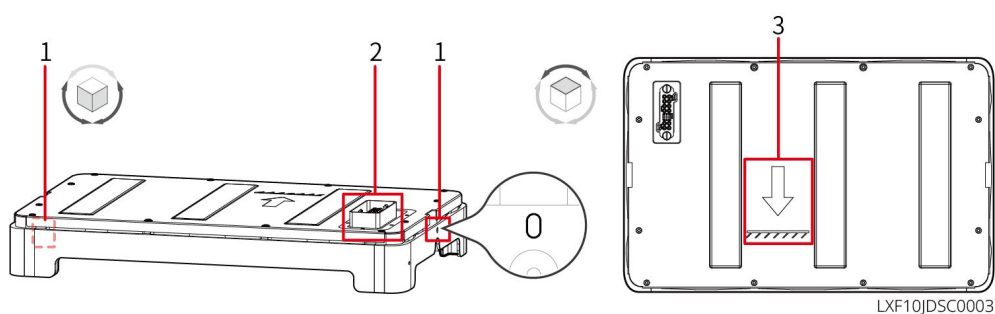
蓄電池



ET10DSC0008

No.	名称	説明
1	ブラインドメイト端子	ベース、蓄電池、コントロールボックス間の接続に使われます。
2	通気弁	蓄電池の放熱と換気に使われます。
3	ハンドル	搬送時はここを持ち蓄電池を運びます。

底座



LXF10JDSC0003








No.	名称	説明
1	固定バーの固定ポイント	固定バーの固定に使われます。
2	ブラインドメイト端子	蓄電池と接続します。

3	指示マーク	矢印の指示通り壁とくっついて設置します。
---	-------	----------------------

5.2.3 表示ランプの説明



● 正常状態

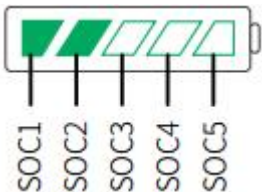





ボタン表示ランプ		
 アイドル状態：緑のランプが2回/s 点滅 待機状態：緑のランプが1回点滅 作動中：緑のランプが点灯		
SOC 表示ランプ	意味	説明
	SOC < 5%	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドルおよび待機状態：蓄電池は充電も放電もしません ● 作動状態： <ul style="list-style-type: none"> ○ 充電時、すべてのランプが常に点灯します。充電中、SOC表示ランプは常に点灯し、点滅はしません*1。 ○ 放電時、最高 SOC 表示ランプは1秒ごとに1回点滅します。 特記 :1. ボタン表示ランプの動作状態は充電状態と放電状態に分かれます。充電時には、SOC 表示ランプの蓄電
	5% ≤ SOC < 25%	
	25% ≤ SOC < 50%	
	50% ≤ SOC < 75%	
	75% ≤ SOC < 95%	
	SOC ≥ 95%	

		量アイコンが「緑点灯」で表示されま す。放電時には、最高 SOC 表示ラン プが 1 秒ごとに 1 回点滅し、蓄電 量に応じて最高 SOC 表示ランプの点 滅部分が異なります。
--	--	--

ボタン表示ランプ



作動中：緑のランプが点灯

SOC 表示ランプ	意味	注意事項
	最高 SOC 表示ランプが 1 回/s で点滅します。	
	5% ≤ SOC < 25%, SOC1 点滅	蓄電池が放電中
	25% ≤ SOC < 50%, SOC2 点滅	
	50% ≤ SOC < 75%, SOC3 点滅	
	75% ≤ SOC < 95%, SOC4 点滅	
	SOC ≥ 95%, SOC5 点滅	

● 警告または故障状態

ボタン表示ランプ



赤のランプが 2 回点滅：警告

赤のランプが点灯：故障		
SOC 表示ランプ	意味	注意事項
	蓄電池の過電圧	詳細な対処方法については、トラブルシューティングの章を参照してください
	蓄電池の電圧低下	
	過充電	
	過放電	
	温度差の異常	
	高温	
	低温	

ボタン表示ランプ		
		
赤のランプが2回点滅：警告		
SOC 表示ランプ	意味	注意事項
	並列連動故障	詳細な対処方法については、トラブルシューティングの章を参照してください
	その他	

ボタン表示ランプ		
		
赤のランプが点灯：故障		
SOC 表示ランプ	意味	注意事項

	ソフトウェアのバージョンの不一致	詳細な対処方法については、トラブルシューティングの章を参照してください
	プリチャージの不具合	
	リレーの故障	
	気中開閉器故障	
	絶縁不良	
	内部通信障害	
	シリアル番号が存在しない	
	電圧均等化異常	
	スレーブ異常	
	温度センサーの故障	
	その他	

5.3 Ezlink3000

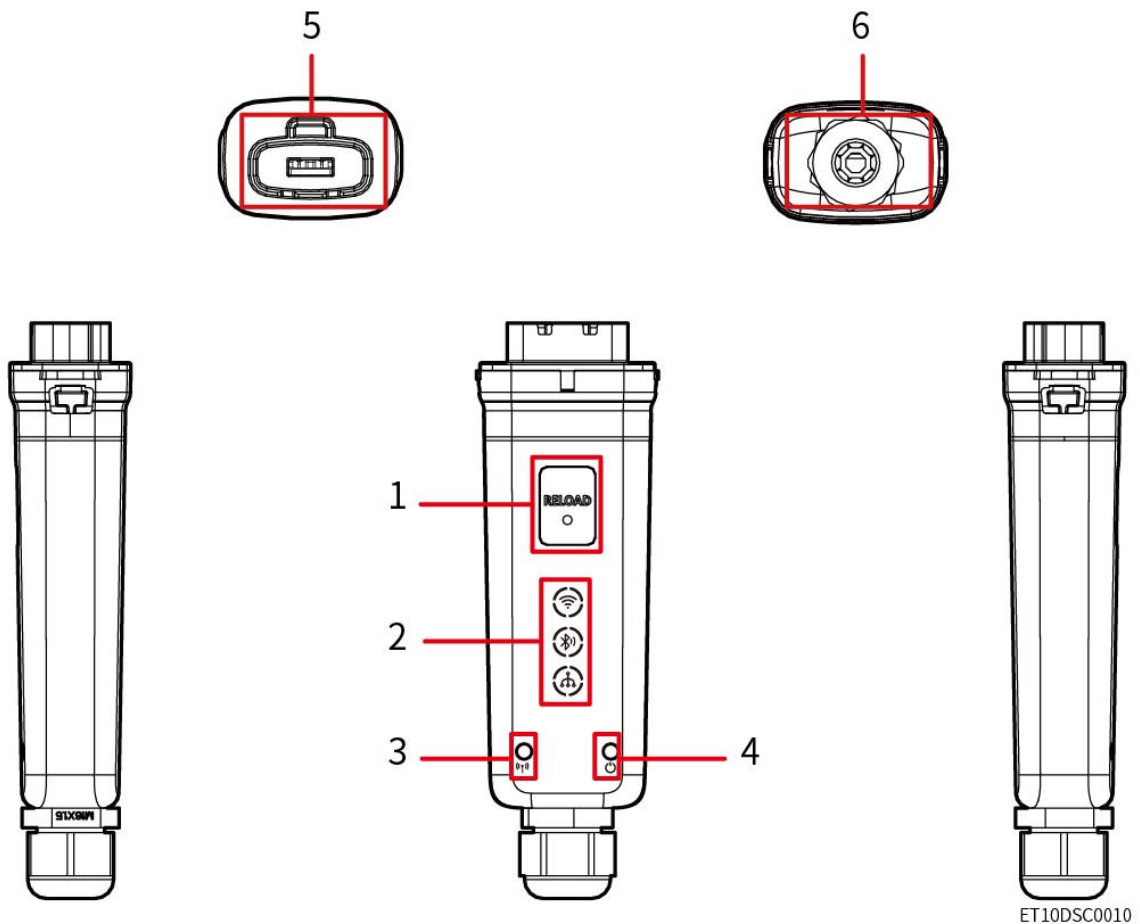
パワーコンディショナーは Ezlink3000 モジュールの接続をサポートしています。Ezlink3000 モジュールは IEEE2030.5 通信プロトコルに対応しています。




Ezlink3000 は Bluetooth を使ってパワーコンディショナーの現地設定を行うことができ、WiFi または LAN を通じてサーバに接続し、パワーコンディショナーの動作状態や発電所の運営状況などを監視できます。


- Bluetooth：Bluetooth 5.1 基準に満たす
- WiFi：2.4G 帯域をサポートし、ルーターを 2.4G または 2.4/5G 共存モードに設定する必要があります
 - ルーターの無線信号名は最大で 40 バイトまで入力可能
 - WiFi 信号強度は SolarGo アプリを通じて確認でき、信号強度が -60 未満の場合は、ルーターをデバイスに近づけるか、信号の障害物を取り除くことで信号強度を向上させることを推奨します。

- LAN（オプション）：LAN 通信を通じてルーターに接続し、ルーターよりサーバに接続することが可能です。

5.3.1 Ezlink3000 の外観










No.	名称	アイコン	説明
1	ボタン	RELOAD	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 秒で短く押すと、Ezlink3000 を再起動します ● 3～10 秒間長く押すと、工場出荷時の設定にリセットします。
2	通信方式 icon	  	実際の状況に応じて、通信方式を選択ください。
3	接続表示ランプ		Ezlink3000 とサーバとの接続状態を示します

4	動作表示ランプ		Ezlink3000 の動作状態を示します
5	USB 通信ポート	-	パワーコンディショナー本体と接続のポート
6	LAN 通信ポート	-	LAN ケーブルを通じてルーターと接続します

- Ezlink3000 とパワーコンディショナーの接続が正常であることを確認してから操作を行ってください。
- ルーターが起動していること、LAN ケーブルの接続、または WiFi の接続が正常であることを確認してください。
- デバイスが Ezlink3000 の通信範囲内にあることを確認してください。
- Ezlink3000 はパワーコンディショナーの通信ポートに接続され、ルーターおよび SEMS Portal ソフトウェアを介してパワーコンディショナーと蓄電池の監視を実現します。※1
- パワーコンディショナーや蓄電池に故障が発生した場合、Ezlink3000 は故障情報をモニタリングしシステムにフィードバックできます。

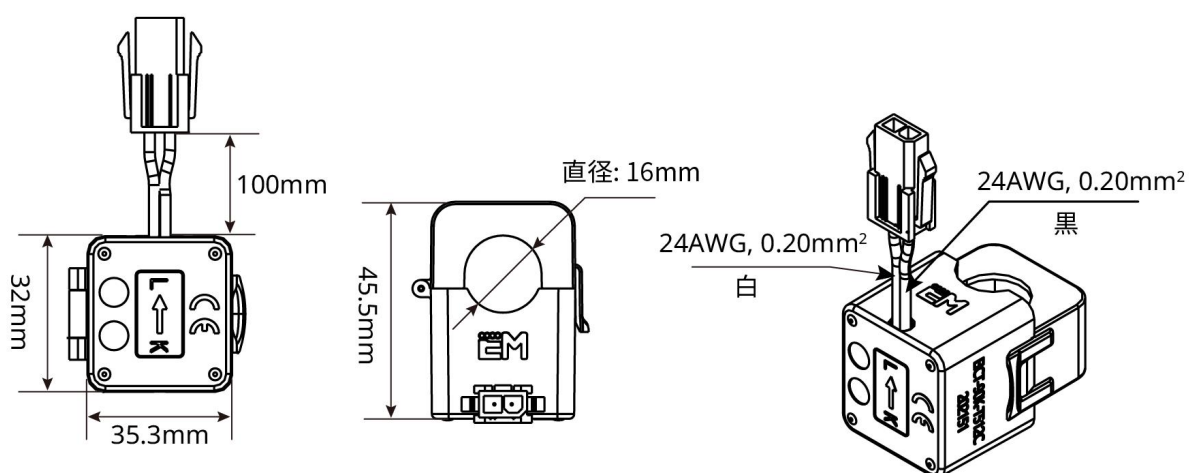
※1. 蓄電池システムのデータはパワーコンディショナーから Ezlink3000 に送信され、これにより通信モジュールが蓄電池システムの監視を実現します。

5.3.2 表示ランプの説明

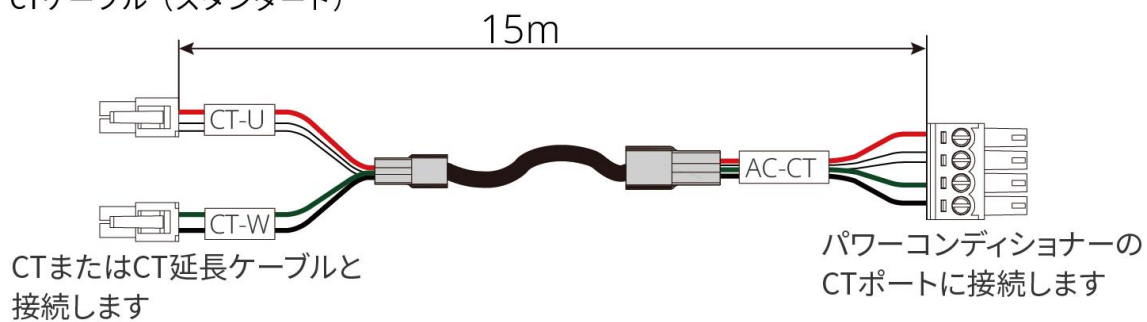
表示ランプ	状態	色	説明
電源表示ランプ 		青	点滅= Ezlink3000 は正常に動作しています。
			消灯=パワーコンディショナーの電源がオフになっています。
通信表示ランプ 		緑	点灯= Ezlink3000 がサーバに接続されています。
			二回点滅= Ezlink3000 はルーターに接続されていません。
			四回点滅=ルーターがネットワークに接続されていませ

			ん。
RELOAD	-	-	3 秒で短く押すと、Ezlink3000 を再起動します 3~10 秒間長く押すと、工場出荷時の設定にリセット します。

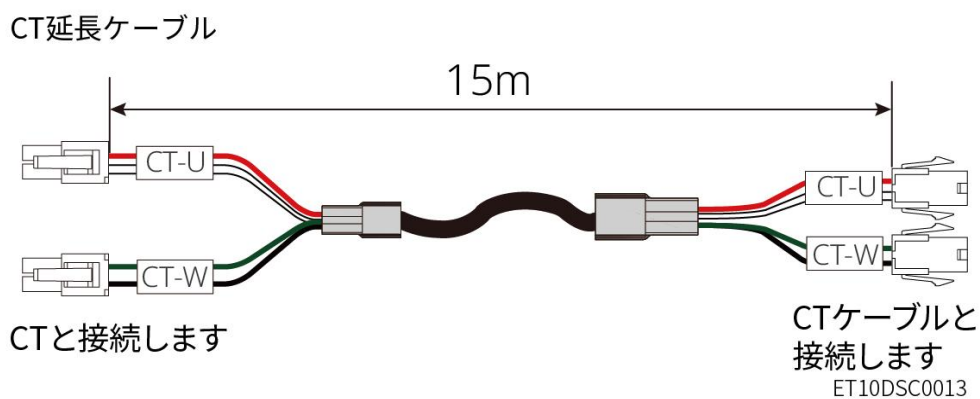
5.4 CT



CTケーブル (スタンダード)



ET10DSC0012



No.	コンポーネント	応用方式
1	CT	一時側入力電流： $\leq 90\text{A}$ 二次側出力電流： $\leq 90.0\text{mA}$
2	CT 標準ケーブル	パワーコンディショナーには CT ケーブルが同梱されており、標準で 15m のケーブルが付属しています。
3	CT 延長ケーブル	CT 標準ケーブルの長さが足りない場合は、オプションで CT 延長ケーブルを選択できます。最大で 30m まで対応しています。

5.5 SolarGo アプリ

SolarGo アプリは、Bluetooth、WiFi を介して、パワーコンディショナーと通信するための携帯アプリです。次の共通の機能を備えています：

1. 機器の運転データ、ソフトウェアバージョン、警告情報などの確認。
2. パワーコンディショナーの安全規制該当国、系統パラメータ、出力制御、通信パラメータなどの設定。
3. 機器の保守。



5.6 SEMS Portal アプリ

SEMS Portal アプリは発電所の監視プラットフォームです。

1. 発電所と機器の管理、発電所の稼働データや警告情報の表示などが可能です。
2. パワーコンディショナー、スマートメータ、データロガーなどの GoodWe ブランド関連機器の監視と、管理に対応しています。



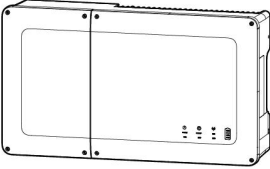
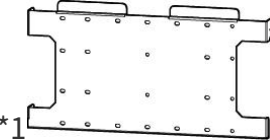
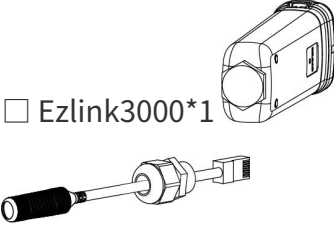



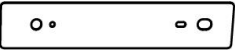
SEMS Portal App

6 製品の準備と検査

- 安全のために、製品について基本的な理解を持ち、すべての準備が整っていることを確認してください。
- 設置後、未使用の付属品や施工マニュアルを一緒にお客様に渡してください。
- 製品を受け取る前に、以下の内容を詳しく確認してください：
 - 外装に変形、穴、ひび割れ、またはその他の包装内の機器に損傷を与える可能性のある不良がないかを確認してください。不良がある場合は、包装を開けずに販売店に連絡してください。
 - パワーコンディショナーの型番が正しいか確認してください。不一致がある場合は、包装を開けずに販売店に連絡してください。
 - 納品物の種類と数量が正しいか、外観に損傷がないかを確認してください。損傷がある場合は、販売店に連絡してください。

6.1 パワーコンディショナー内容物の準備と検査

6.1.1 設置する時に使用される内容物

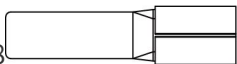
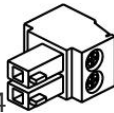
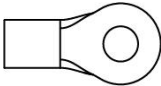
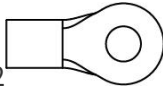






<input type="checkbox"/> パワーコンディショナー *1 	<input type="checkbox"/> 取り付けブラケット  *1
<input type="checkbox"/> Ezlink3000*1 	<input type="checkbox"/> 木ネジ *8※ ¹  <ul style="list-style-type: none"> ● 取り付けブラケット用*6 ● 予備*2
<input type="checkbox"/> 取扱説明書 *1	<input type="checkbox"/> 施工マニュアル *1
<input type="checkbox"/> M5X12 ボルト *10  <ul style="list-style-type: none"> ● パワーコンディショナーと取り付けブラケット間の固定用 *3 ● 遮蔽板とパワーコンディショナー間の固定用 *4 ● 蓄電池接地保護線の固定用*1 ● システム接地保護線の固定用 *1 	<input type="checkbox"/> 防水プラグの解体道具 *1 
<input type="checkbox"/> 遮蔽板 *2 	-

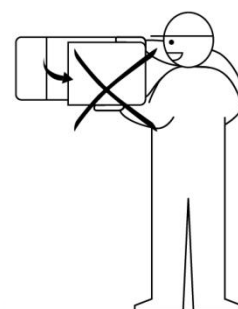
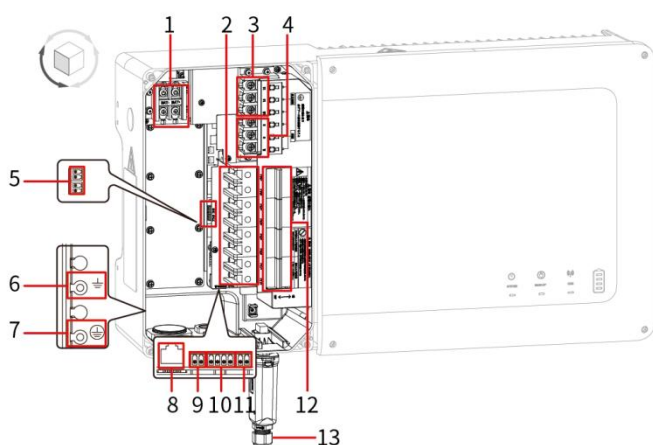
※1. 木ネジは木製の壁に適しています。もし壁がコンクリートなどの硬い材質である場合は、膨張ボルトをご用意いただくことをお勧めします。

6.1.2 配線ポートの説明

- DC 入力ポート：PV コネクタ 4 セット（8 個）と接続できます。
- 自立運転出力ポート：配線端子 3 個（U1/O1/W1）
- AC 出力ポート：配線端子 3 個（U/O/W）
- 蓄電池接続ポート：配線端子 2 個（BAT+/BAT-）

6.1.3 配線する時に使用される内容物



<p><input type="checkbox"/> 平型端子*9（予備 1 個）</p> <p>DC 入力ポート用*8 </p>	<p><input type="checkbox"/> 2PIN 通信端子台*4 </p>
<p><input type="checkbox"/> OT 端子 *9（予備 1 個） </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自立運転出力ポート*3 ● AC 出力ポート（U/O/W）*3 ● 蓄電池接続ポート*2 	<p><input type="checkbox"/> アース OT 端子 *2 </p> <ul style="list-style-type: none"> ●  蓄電池アース線用 *1 ●  システムアース線用*1
<p><input type="checkbox"/> CT*2 </p>	<p><input type="checkbox"/> CT ケーブル *1 </p> <p>CT-W（緑 x 黒）と CT-U（赤・白）のケーブル CT を該当のケーブルに取付けてください</p>
<p><input type="checkbox"/> （オプション）CT 延長ケーブル </p> <p>*1</p> <p>標準ケーブルの長さが足りない場合は、オプションで CT 延長ケーブルを選択できます。</p>	<p><input type="checkbox"/> パワコン左側カバー予備ネジ*5 </p>



パワーコンディショナー
右側のトップカバーを取り外さないでください

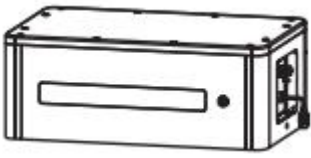
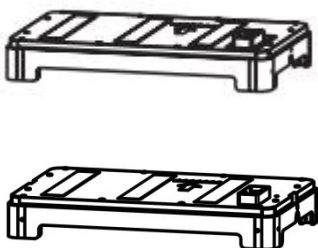

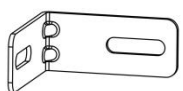

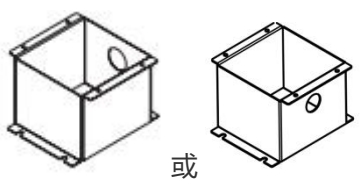
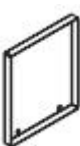



EI10DSC0005

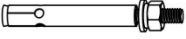
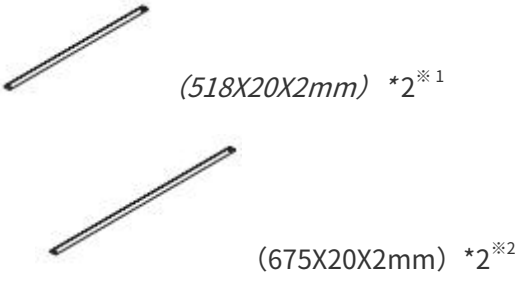

No.	端子 /ポート	標識	ケーブル仕様
1	蓄電池接続ポート	BAT+/BAT-	<ul style="list-style-type: none"> ● 蓄電池のパワーケーブルと接続します ● 銅線，導線断面積：$S=5.5\text{mm}^2$，ケーブル外径 $5\text{mm} \leq \phi \leq 6\text{mm}$ ● 使用可能なモデル：CV ● お客様自分でご用意ください
2	DC 入力ポート	PV1+/PV1-/PV2+/PV2-/PV3+/PV3-/PV4+/PV4-	<ul style="list-style-type: none"> ● DC 入力ケーブルと接続します ● 銅線，導線断面積：$3.5\text{mm}^2 \leq S \leq 5.5\text{mm}^2$，ケーブル外径 $4.9\text{mm} \leq \phi \leq 6.6\text{mm}$ ● 使用可能なモデル：CV ● お客様自分でご用意ください
3	自立運転出力ポート	U1/O1/W1（自立運転）	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立運転ケーブルと接続します ● 銅線，導線断面積：$S=8\text{mm}^2$，ケーブル外径$\phi=8.5\text{mm}$ ● 使用可能なモデル：CV ● お客様自分でご用意ください
4	AC 出力ポート	U/O/W（系統）	<ul style="list-style-type: none"> ● AC 出力ケーブルと接続します ● 銅線，導線断面積：$S=8\text{mm}^2$，ケーブル外径$\phi=8.5\text{mm}$

			<ul style="list-style-type: none"> ● 使用可能なモデル：CV ● お客様自分でご用意ください
5	DI 信号ポート	IN1/IN2	予備ポート
6	蓄電池保護接地端子		<ul style="list-style-type: none"> ● 銅線，導線断面積：S=5.5mm²，ケーブル外径φ=5mm ● 使用可能なモデル：IV ● お客様自分でご用意ください
7	システム保護接地端子		<ul style="list-style-type: none"> ● 銅線，導線断面積：S=5.5mm²，ケーブル外径φ=5mm ● 使用可能なモデル：IV ● お客様自分でご用意ください
8	蓄電池通信ポート	蓄電池通信	<ul style="list-style-type: none"> ● CAT 5E 屋外用シールド付き LAN ケーブル（ケーブル外径<9mm，内部抵抗≤1.5Ω/10m），及びシールド付き RJ45 クリスタルヘッド。 ● 標準のストレート LAN ケーブルを使用できます
9	RS485 通信ポート	RS485-1	予備ポート
10	CT 接続ポート	AC-CT	<ul style="list-style-type: none"> ● 同梱の CT 延長ケーブル，長さ：L=15m（スタンダード），L=30m（オプション） ● 同梱の CT 接続ケーブル：CT-W（緑・黒）、CT-U（赤・白）
11	-	PV-CT	予備
12	DC スイッチ	ON<-->OFF	PV 入力を ON/OFF にします
13	(オプション) LAN 通信ケーブル	-	<ul style="list-style-type: none"> ● CAT 5E 屋外用シールド付き LAN ケーブル（ケーブル外径<9mm，内部抵抗≤1.5Ω/10m），及びシールド付き RJ45 クリスタルヘッド。 ● お客様自分でご用意ください（オプション）

6.2 蓄電池内容物の準備と検査

6.2.1 設置する時に使用される内容物

<p><input type="checkbox"/> コントロールボックス</p>  <p>*1</p>	<p><input type="checkbox"/> ベース *1</p>  <p>或</p>
<p><input type="checkbox"/> 蓄電池モジュール *3 (LX F9.6-H-JP) /*4 (LX F12.8-H-JP)</p> 	<p><input type="checkbox"/> 傾き防止金具 *2</p> 
<p><input type="checkbox"/> 傾き防止金具 *6</p> 	<p><input type="checkbox"/> 配線ボックス *1</p>  <p>或</p>
<p><input type="checkbox"/> 保護カバー *1</p> 	<p><input type="checkbox"/> M5X12 ボルト *8</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 傾き防止金具とベースの固定用*4 ● 傾き防止金具とコントロールボックスの固定用*2 ● 固定バーの固定用 *2
<p><input type="checkbox"/> M5X10 ボルト *6</p> 	<p><input type="checkbox"/> M6 ボルト *4</p> 

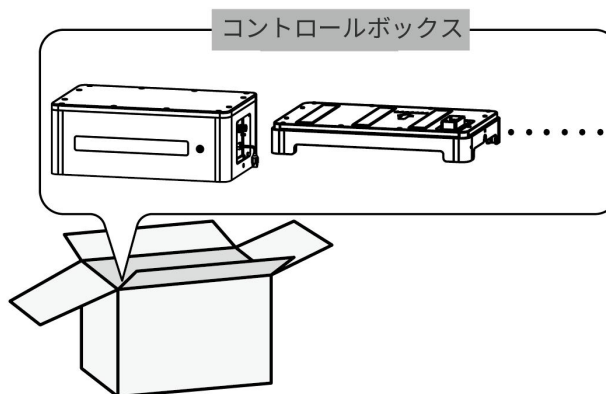
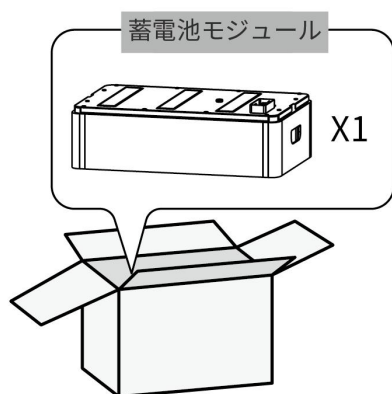
<ul style="list-style-type: none"> ● 保護カバーの取付用 *4 ● 固定バーの上部固定用 *2 	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線ボックスの固定用 *3 ● アース線の固定用 *1
<p>□ 拡張ボルト *6 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 傾き防止金具を地面に固定する *4 ● 傾き防止金具を壁に固定する *2 	<p>□ 固定バー 2</p> 
<p>□ 木ネジ *2 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 傾き防止金具を木質壁面に固定する *2 	

※1. 型式 LX F9.6-H-JP の蓄電池システムに適用されています。

※2. 型式 LX F12.8-H-JP の蓄電池システムに適用されています。

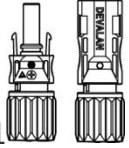

追加説明：

蓄電池モジュールが単独包装で、コントロールボックスとベースは一つの包装になります。蓄電池の型式そしてその外装が正しいかを確認してください。。

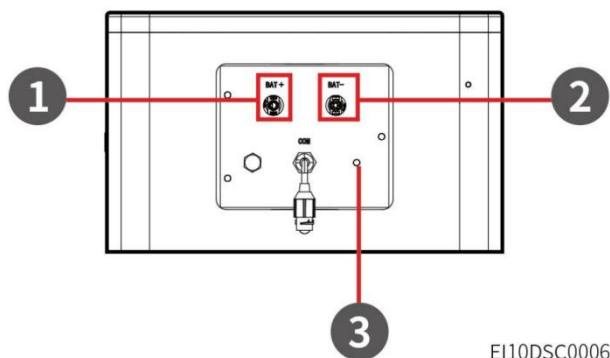


ET10INT0008

6.2.2 配線する時に使用される内容物

<p>□パワーコネクタ (セット) *1 </p> <p>パワーケーブルポート (BAT+) --①</p> <p>パワーケーブルポート (BAT-) --②</p> <p>パワーケーブルよりパワーコンディショナーと接続します</p>	<p>□接地端子 *1 </p> <p>保護接地ポート--③</p> <p>銅線, 導線断面積: $S=5.5\text{mm}^2$, ケーブル外径$\varnothing=5\text{mm}$</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ケーブル使用可能なモデル: IV ● ケーブルはお客様自分でご用意ください
--	--

コントロールボックス



E110DSC0006

6.3 他の工具の準備と検査

設置の際には、以下の工具を使用することをお勧めします。必要に応じて、工具の増減が可能です。

工具イメージ	名称	工具イメージ	名称
	ニッパ		RJ45 圧着工具

	ワイヤストリッパー		端子圧着工具
	オープンラチェットレンチ		水平器
	インパクトドリル (ドリルビットΦ10mm とΦ6mm)		トルクレンチ
	ゴムハンマー		ソケットレンチ
	マークペン		マルチメータ 計測範囲≤1100V
	熱収縮チューブ		ヒートガン
	収束バンド		掃除機

個人保護具

工具イメージ	名称	工具イメージ	名称
	絶縁手袋、安全手袋		防塵マスク



保護メガネ



安全靴

7 設置場所の決定

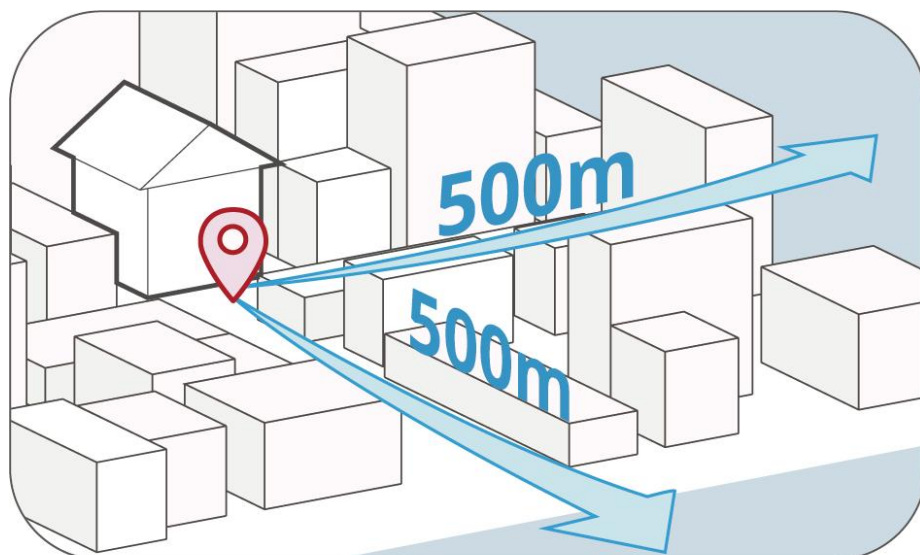
設置場所についての説明

- 具体的な設置場所については、事前にお客様とご相談の上、お客様がご用意された設置環境が環境要件に準拠しているかご確認ください。満たしていない場合は、設置場所を改めてご確認ください。
- 設置環境の確保を前提に、設置後は居住者の迷惑にならないようご注意ください。
- 製品の設置環境や条件が十分に満たされない場合、または矛盾が発生した場合には、人員および製品の安全を確保することが優先にしてください。

7.1 パワーコンディショナー設置の確認

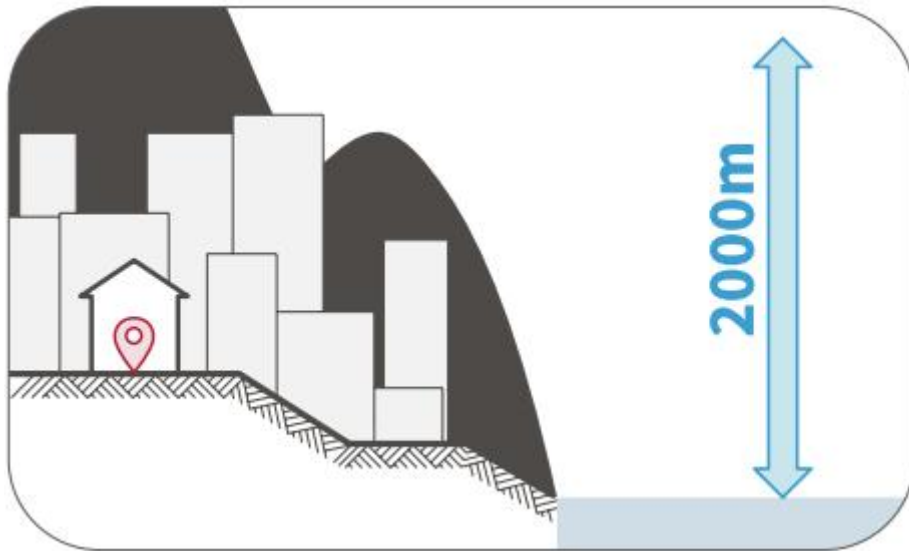
7.1.1 設置場所の要件

- 海岸から 500m 以上離れた場所に設置してください。

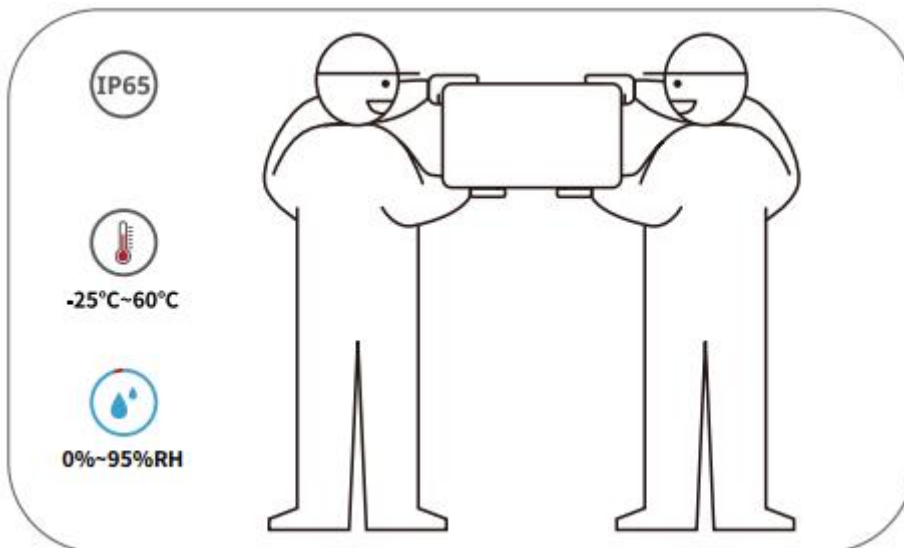


EI10INT0009

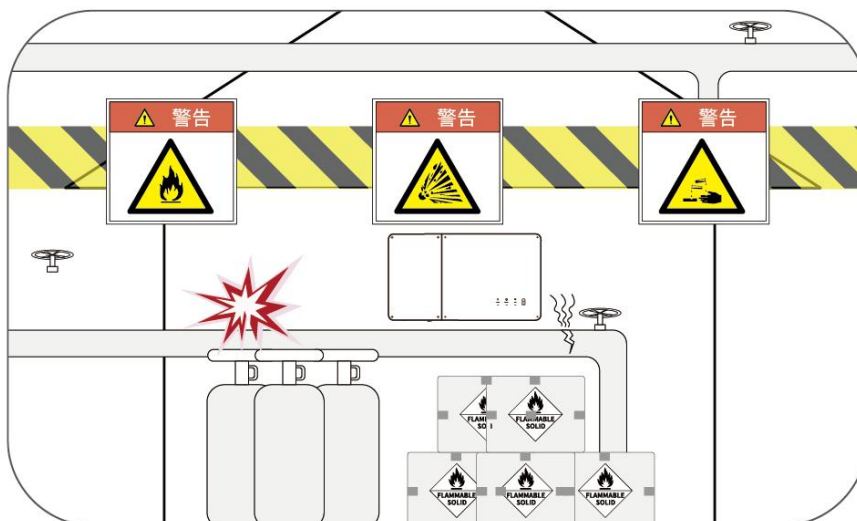
- 海拔 2000m以下の場所に設置してください



- 設置場所は製品の保護レベル、温度、湿度の要求に満たす必要があります。

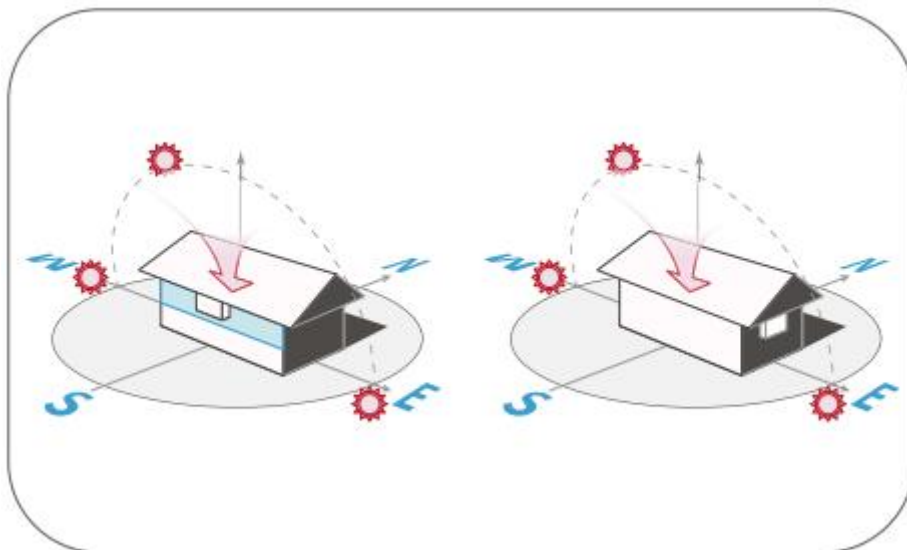


- 可燃物、爆発物、腐食性の高い物質等が保管されている環境には設置しないでください

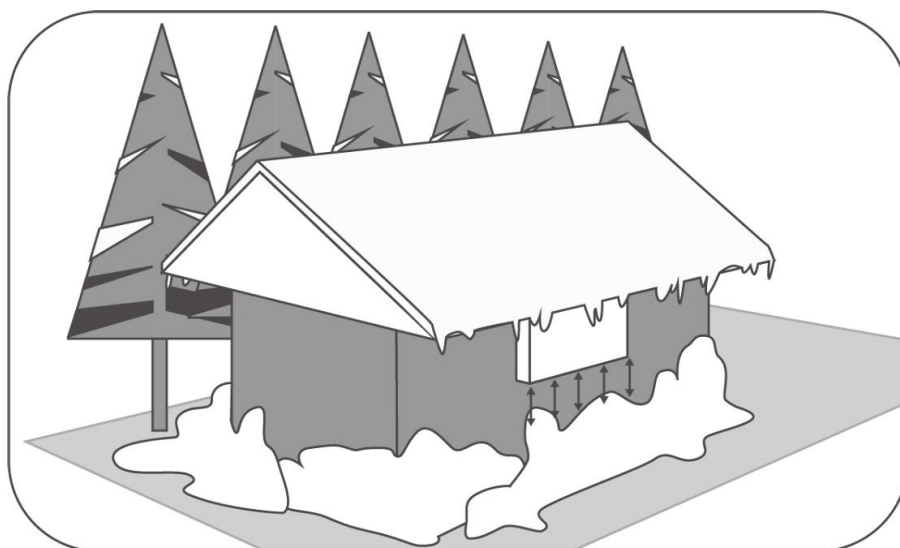


ET10INT0012

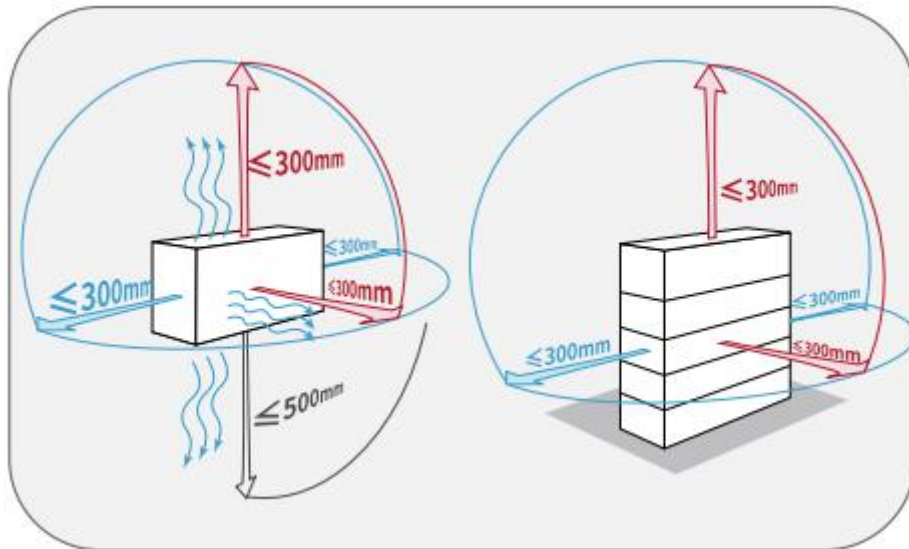
- パワーコンディショナーは太陽の当たらない場所に設置してください。日陰または強い日差しが当たらない場所（東または北など）に設置することをお勧めします。



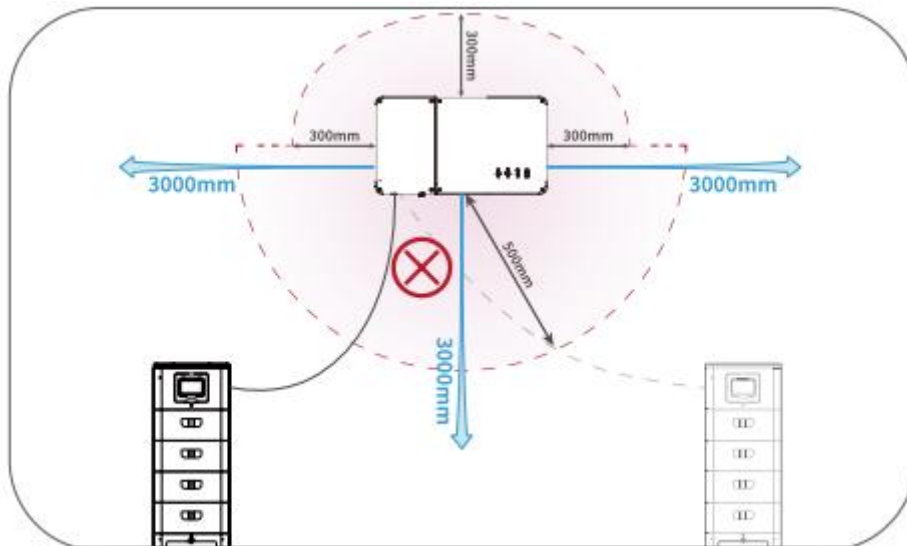
- パワーコンディショナーは雪や雨の当たらない場所に設置してください。雪や水が溜まらない場所に設置することをお勧めします。



- 設置スペースは、機器の換気および作業員が操作に必要なスペースを確保する必要があります。

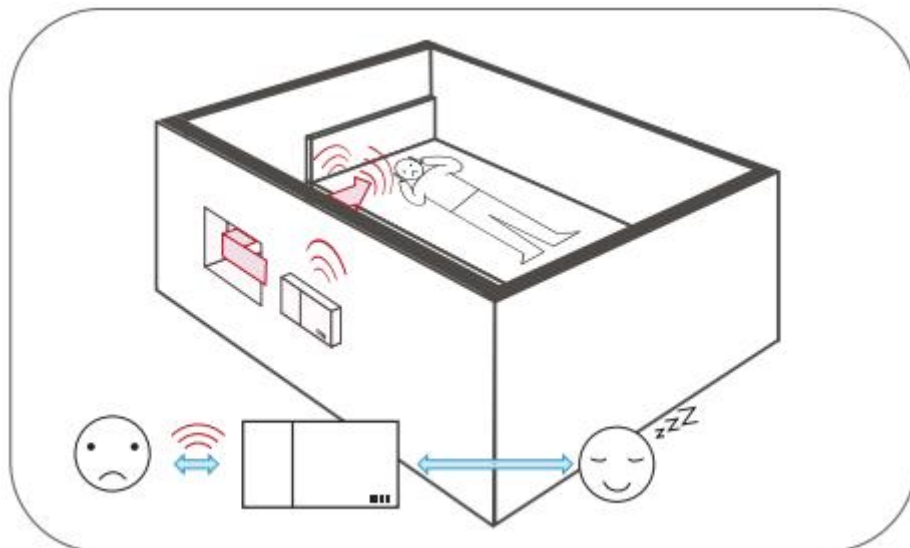


- パワーコンディショナーと蓄電池間の距離は3m 以内とし、通風、放熱、作業のためのスペースの確保にご注意ください。

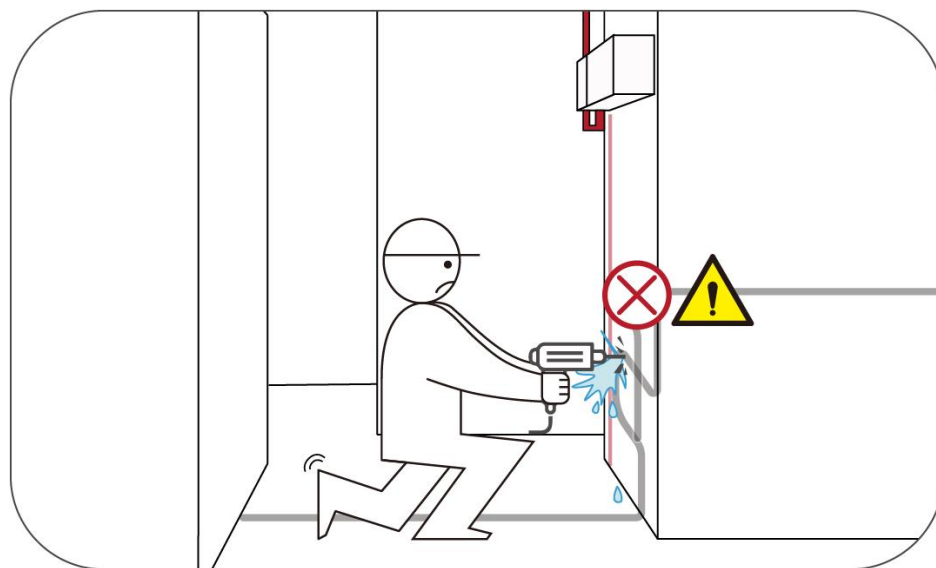


7.1.2 設置条件の確認

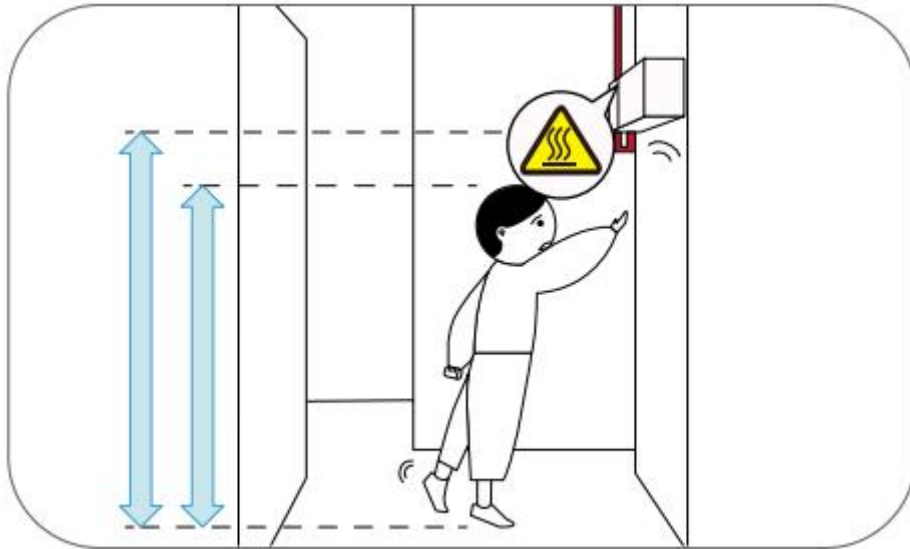
- パワーコンディショナーの動作によりある程度の騒音が発生する可能性があるため、寝室などの静音性が求められる場所は避けてください。



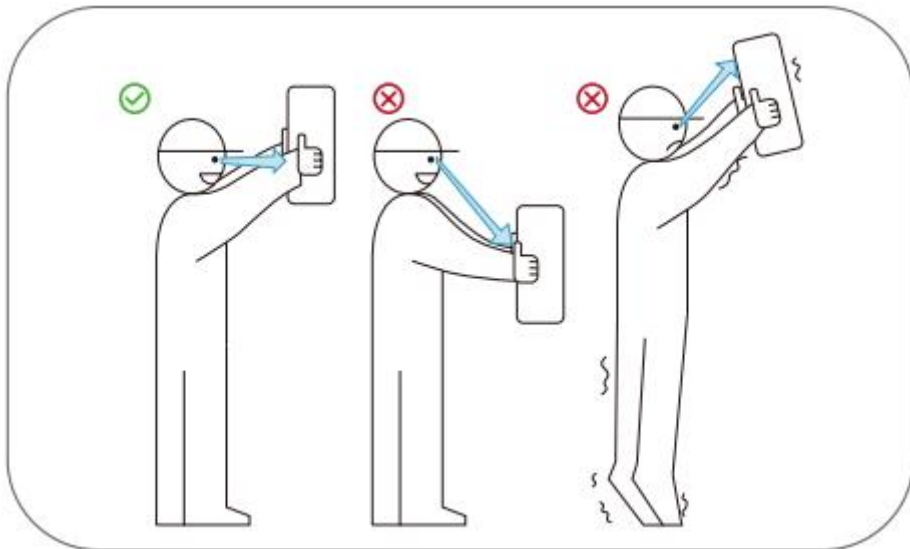
- 穴あけの際は、危険を回避するため、壁内の水道管、配線配管などを避けて穴あけ位置を決めてください。



- 製品の動作中は表面温度が高温になる可能性があります。火傷を防ぐため、子どもの手の届かない場所に設置してください。



- メンテナンスと配線作業、または本体に張付けるラベルや表示灯の確認が容易に出来るようにパワーコンディショナーを適切な高さに設置してください。



他の重要な安全事項は本書「パワーコンディショナーの安全」の章にご参照ください。

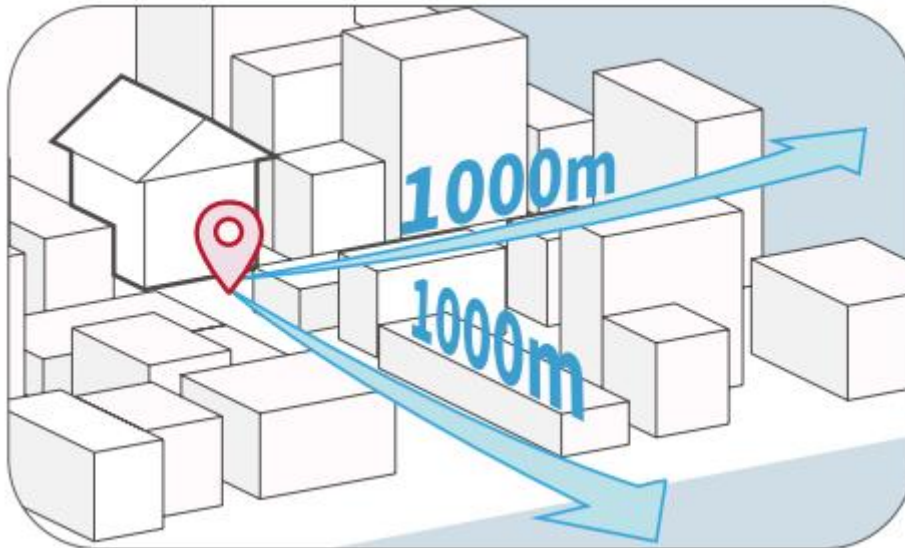
7.2 蓄電池設置の確認

- 蓄電池は壁に設置されており、傾き防止金具を壁と地面にそれぞれ取り付ける必要があるため、取り付ける前に壁が平らで垂直であることを確認してください。壁と床の境目が蓄電池の設置に影響を与えるかを確認してください。
- 蓄電池をベランダなどに設置する場合は、非常通路や避難経路、災害時の避難経路を妨げない場所

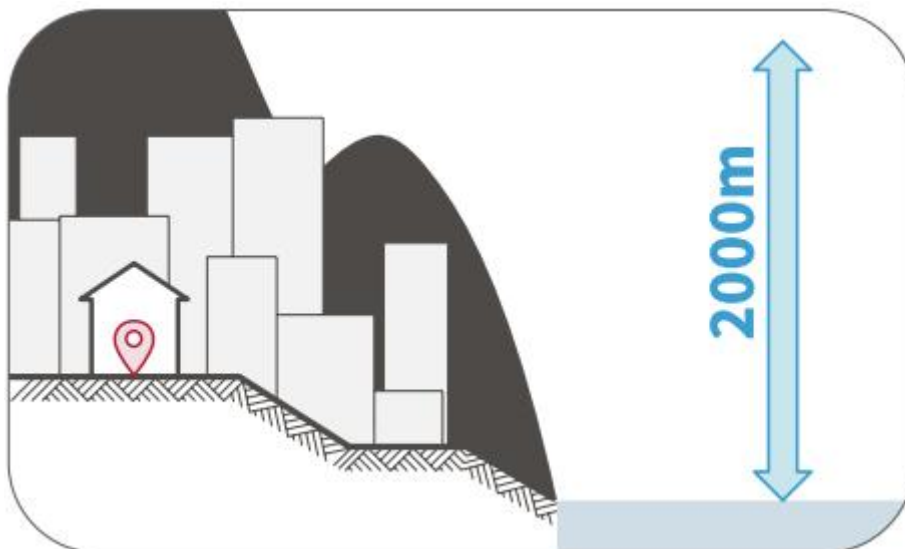
に設置してください。

7.2.1 安装环境确认

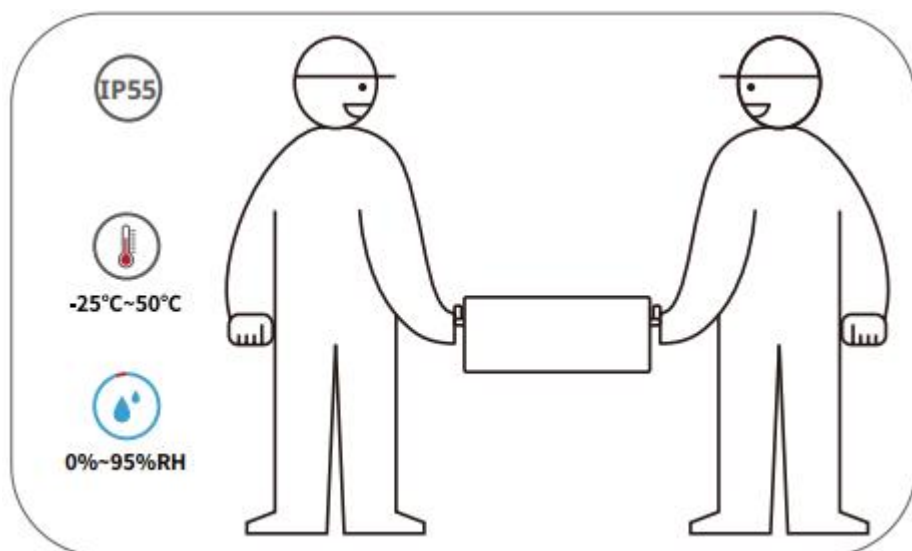
- 海岸から 1000m 以上離れた場所に設置してください。



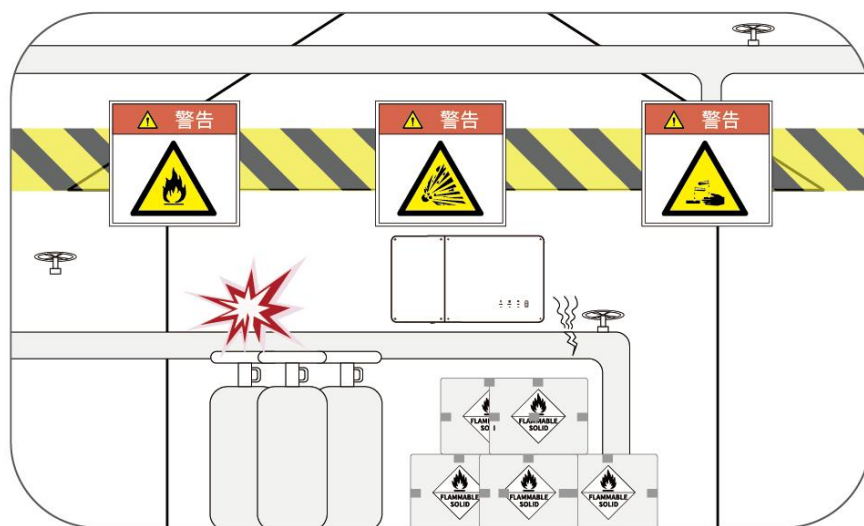
- 海拔 2000m以下の場所に設置してください。



設置場所は製品の保護レベル、温度、湿度の要求に満たす必要があります。

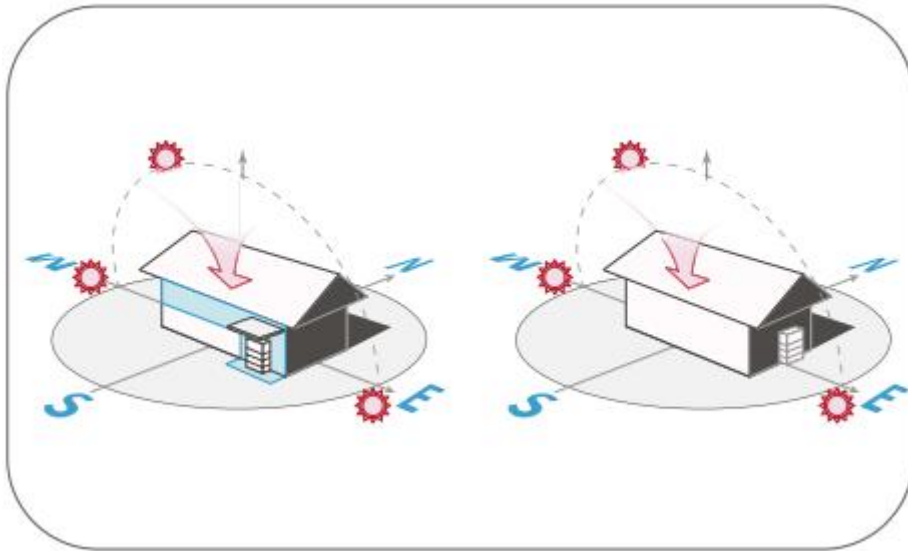


- 可燃物、爆発物、腐食性の高い物質等が保管されている環境には設置しないでください

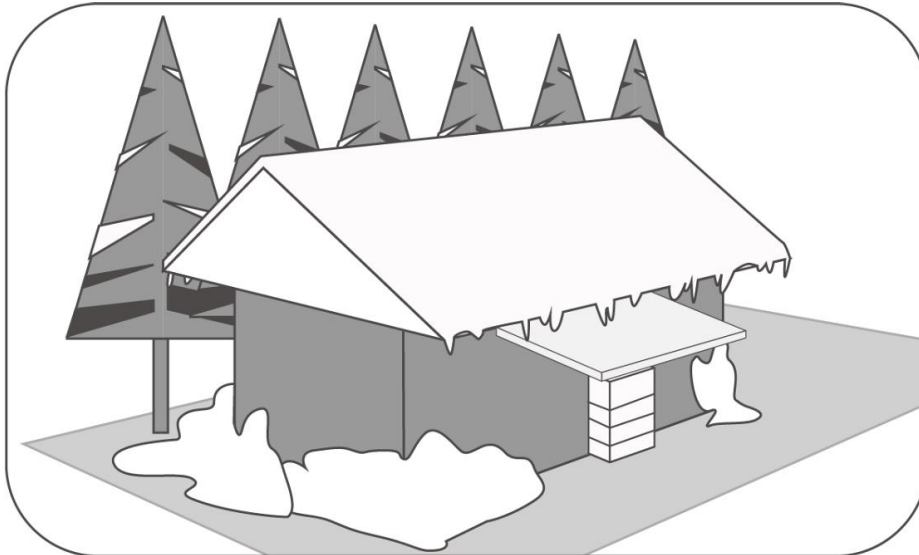


ET10INT0012

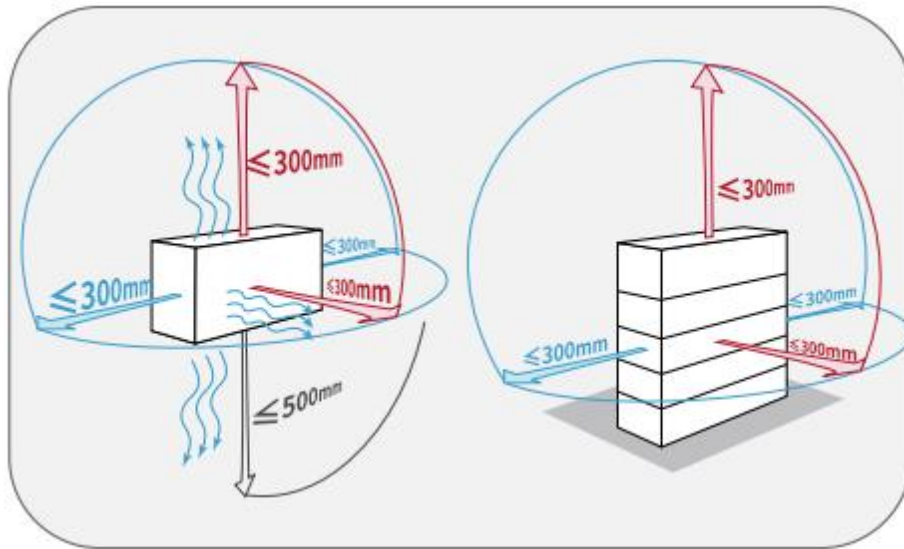
- パワーコンディショナーは太陽の当たらない場所に設置してください。日陰または強い日差し当たらない場所（東または北など）に設置することをお勧めします。



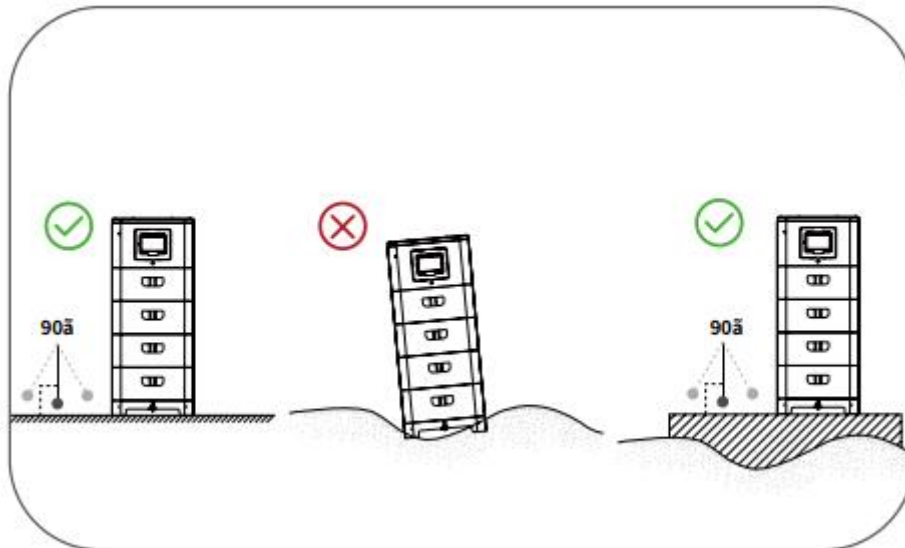
- パワーコンディショナーは雪や雨の当たらない場所に設置してください。雪や水が溜まらない場所に設置することをお勧めします。



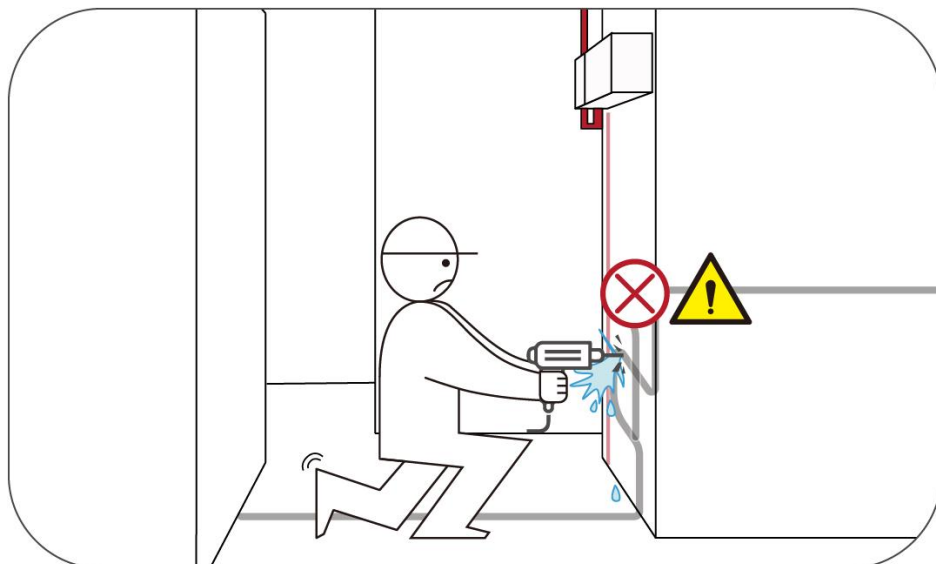
- 設置スペースは、機器の換気および作業員が操作に必要なスペースを確保する必要があります。



- 十分な耐荷重と平坦度を備えた地面に設置する必要がありますが、そうでない場合は、基礎を構築するか耐荷重の板を追加することでこの要件を満たす必要があります。



- 穴あけの際は、危険を回避するため、壁内の水道管、配線配管などを避けて穴あけ位置を決めてください



他の重要な安全事項は本書の「蓄電池の安全」の章にご参照ください。

8 設置/配線

ミス避けるために、設置前に設置に関するすべての流れを確認する必要があります。流れを理解する前に設置作業をしないでください。。

8.1 パワーコンディショナーの設置と配線

8.1.1 パワーコンディショナーの設置

8.1.1.1 パワーコンディショナーと同梱品の搬送



- 輸送、引き渡し、設置などの作業中は、国および地域の法律、規制および関連する標準要件に準拠しないとけません。
- 輸送中の人身傷害や機器の損傷を防ぐため、次の事項に注意してください：
 - 製品重量が人体に耐えられる範囲を超えて作業者に怪我をさせないように、機器の重量に応じて作業者の人数を配置してください。
 - 怪我を避けるために安全手袋を着用してください
 - 落下を防ぐため、輸送中は製品のバランスを保ってください。

設置環境を確認した後、パワーコンディショナーと付属品を適切な場所に移動してください。



8.1.1.2 取り付けブラケットの設置

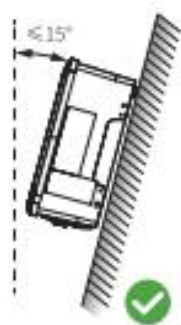
取り付けブラケットを設置する場合は、壁の構造と材質にご注意ください。壁の材質に応じて2種類のネジを推奨します。

木製の壁に取り付ける場合は木ネジを使用し、コンクリートの壁に取り付ける場合は拡張ボルトをご

用意ください。



- 穴あけの際は、危険を避けるため壁内の水道管やケーブル等を避けて穴あけ位置を決めてください。
- 穴あけ作業の際は、粉塵が気道に入ったり、目に入ったりしないように、保護メガネや防塵マスクを着用してください。
- 取り付けブラケットを設置する際は、壁面の平面度に注意し、要求の角度に従って設置してください。

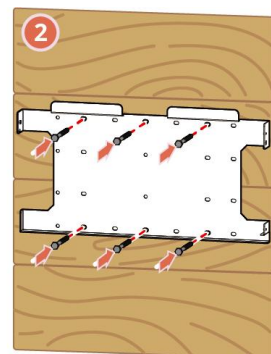
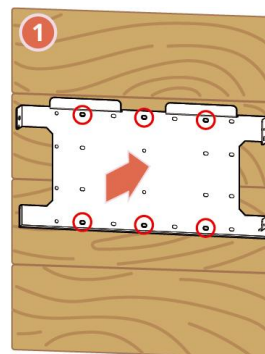
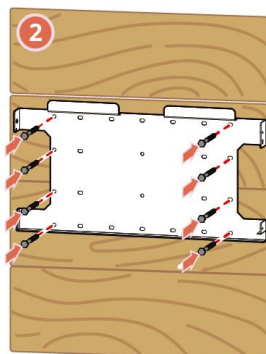
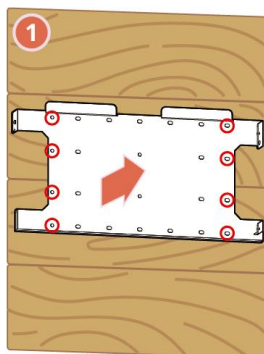


木製の壁に設置する場合

1. パワーコンディショナーの取り付けブラケットを水平に壁に置きます。
2. 付属品パックにある木ネジ (Φ6×75) を使用して、パワーコンディショナーの取り付けブラケットを壁に固定します。

固定方法について、次の2つの方法があります。

- 縦方向で固定する場合：木ネジ*8 個；
- 横方向で固定する場合：木ネジ*6 個。



E110INT0001

コンクリート壁に設置する場合

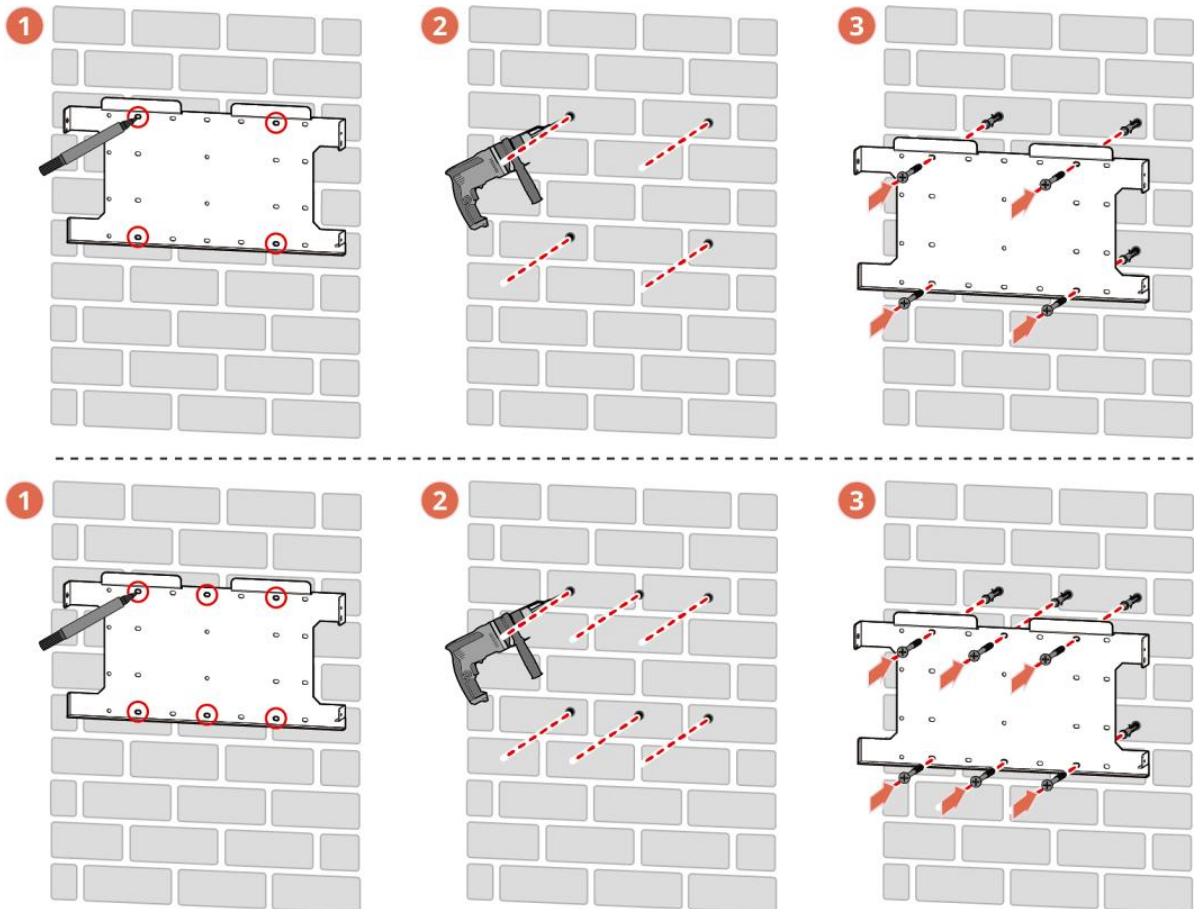


パワーコンディショナーの取り付けブラケットをコンクリート壁に設置する場合は、お客様自分で拡張ボルト (ST5.5*70) を 4～6 個用意する必要があります。

1. 取り付けブラケットを壁に水平に置き、マーカーペンを使用して穴あけ位置をマークし、できれば推奨される穴あけ位置にしてください。
2. ドリルビット直径 10mm のインパクトドリルを使用して穴を開け、穴の深さが 80mm 以上であることを確認してください。
3. 拡張ボルトを使用して、取り付けブラケットを壁に固定します。

固定方法について、次の 2 つの方法があります：

- 拡張ボルト*4 個；
- 拡張ボルト*6 個。



E110INT0003

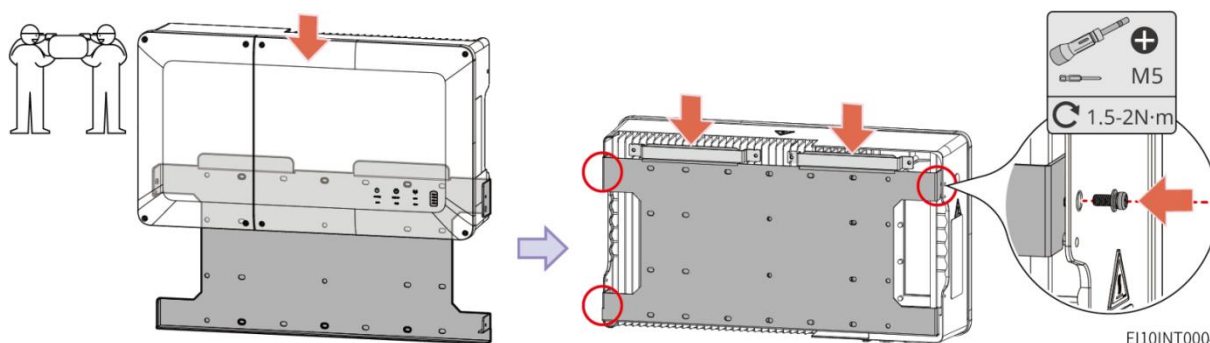
8.1.1.3 パワーコンディショナーを取り付けブラケットに設置する

作業の安全を確保するために、パワーコンディショナーを取り付ける前に、取り付けブラケットがしっかりと固定されていることを確認してください。



- パワーコンディショナーにはある程度の重量があるので、ステップ1を実行するときは、少なくとも1人でパワーコンディショナーを持ち上げ、もう1人が取り付け金具とフックの位置を確認してください。人身事故または機械の損傷を避けるため、一人で作業しないでください。
- 設置プロセス中、設置環境が安全であることを確認してください。設置作業を補助するために足場やその他の機器を使用する場合は、すべての機器が安全でしっかりと固定されていることを確認してください。

1. パワーコンディショナーの壁掛け金具を取り付けブラケットのフックに引っ掛け、パワーコンディショナーと取り付けブラケットが下図のように正しい取り付けたかを確認してください。
2. 下図に示す工具とトルクに従ってネジ (M5X12 ネジ *3) を使用して、取り付けプレートとパワーコンディショナーを固定します。
3. 設置完了後、パワーコンディショナーと取り付けブラケットの安定性を確認してください。



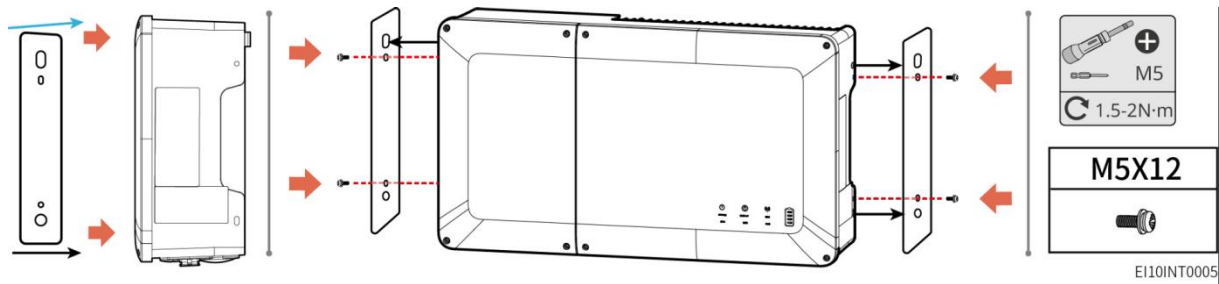
8.1.1.4 遮蔽板の設置

美観を向上させるため、遮蔽板はパワーコンディショナーの両側に取り付けられます。。

1. 遮蔽板の二つの短い側面の中にわずかに角度がついた側面を見つけて、パワーコンディショナーの上面と位置を合わせます。
2. 遮蔽板の外側の少し大きな穴をパワーコンディショナーと背面の取り付けプレートを接続するネ

ジに合わせ、遮蔽板をパワーコンディショナーに接続する必要がある4つのネジ穴に合わせるように位置を調整します。M5X12 ネジ * 4 個で遮蔽板を固定する。

3. 取り付け後、遮蔽板がしっかりと固定されているを確認してください。



8.1.2 パワーコンディショナーの絶縁抵抗

パワーコンディショナーが工場出荷時に絶縁抵抗がテストされ、絶縁抵抗が $1\text{M}\Omega$ 以上であることが確認されます。

8.1.3 パワーコンディショナーの配線



警告

- 電気接続中、すべての操作、使われたケーブル、および部品の仕様は、現地の法律および規制に準拠すること。
- 電気配線を行う前に、パワーコンディショナーの DC 入力スイッチと AC 出力スイッチを切って、装置の電源がオフになっていることを確認してください。感電などの危険がありますので、通電したままの操作は厳禁です。
- 同じ種類のケーブルは収束して、異なる種類のケーブルを分けて配置してください。
- ケーブルに引っ張りすぎると配線不良の原因となりますので、ケーブルをある程度余裕がある長さでパワーコンディショナー配線ポートに接続してください。
- 端子台を圧着する際は、ケーブルの導体部が端子台に完全に接触していることを確認してください。ケーブルの絶縁被覆と端子台を圧着しないでください。機器が動作しなくなる可能性があり、運転後の接続不良による発熱などもパワーコンディショナーの端子が壊れる原因になるかもしれません。



注意

- 電気配線を行う際は、必要に応じて安全靴、保護手袋、絶縁手袋などの保護具を着用してください。
- 電気関連の作業はプロの人員のみが行うことができます。
- 本書中の図形のケーブルの色は参考のみです。具体的なケーブル仕様は、地域の規制に準拠すること。

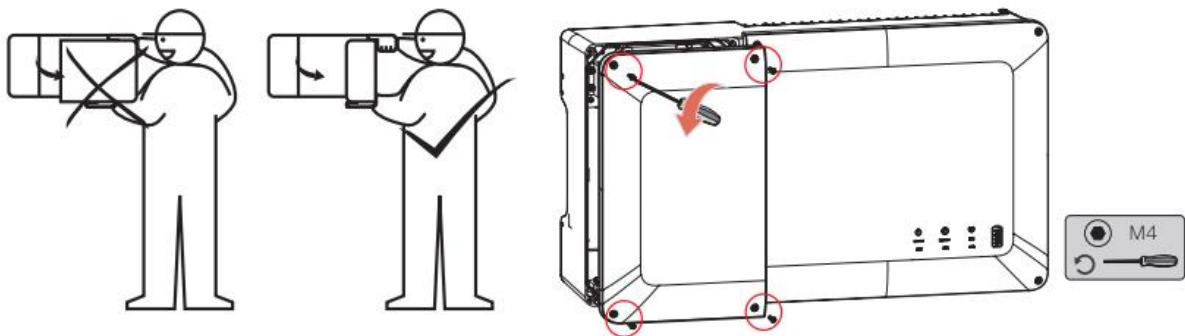
8.1.3.1 パワーコンディショナー左カバーの取り外し

配線用にパワーコンディショナーの左側のカバーを工具を使用して取り外し、外したネジをちゃんと保管してください。



注意

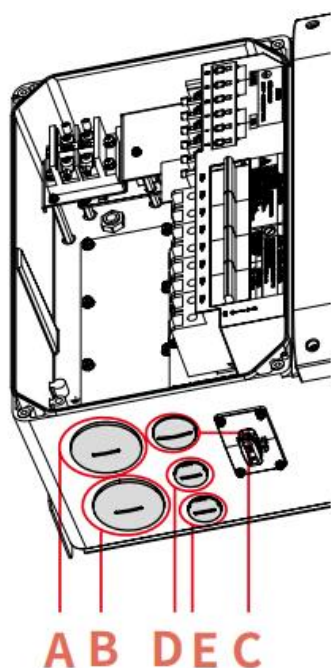
- 雨天や降雪時にパワーコンディショナーのトップカバーを開ける必要がある場合は、パワーコンディショナー筐体内部に雨や雪が入らないように保護措置を講じてください。雨や雪がパワーコンディショナー内に侵入するのを防ぐことができない場合は、パワーコンディショナーのトップカバーを開けないでください。
- パワーコンディショナーの右カバーを開けることは禁止されています。



8.1.3.2 配線前の準備

パワコンの設置完了後、配線前の準備を行ってください。準備が終わる前には、配線作業を行わないでください。

配線穴について



A	DC 入力ケーブル用	DC 入力ケーブル—DC 入力ポート
B	AC 出力ケーブル用	AC 出力ケーブル—自立運転ポート/AC 出力ポート システムの保護接地線
C	蓄電池ケーブル用	蓄電池パワーケーブル—蓄電池接続ポート 蓄電池の保護接地線 蓄電池通信ケーブル
D	通信ケーブル用	CT 通信ケーブル
E		

- 配線穴は比較的余裕がありますので、上記内容に従って配線穴を使ってください。
- 通信ケーブル用の配線穴 D および E は、ケーブルに影響せず、配線作業も容易にするために実際の状況に応じて使用してください。適切な配線穴が選択されていない場合、ケーブルが緩んでいる原因になる可能性があります。

お勧めの配線手順

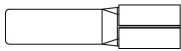




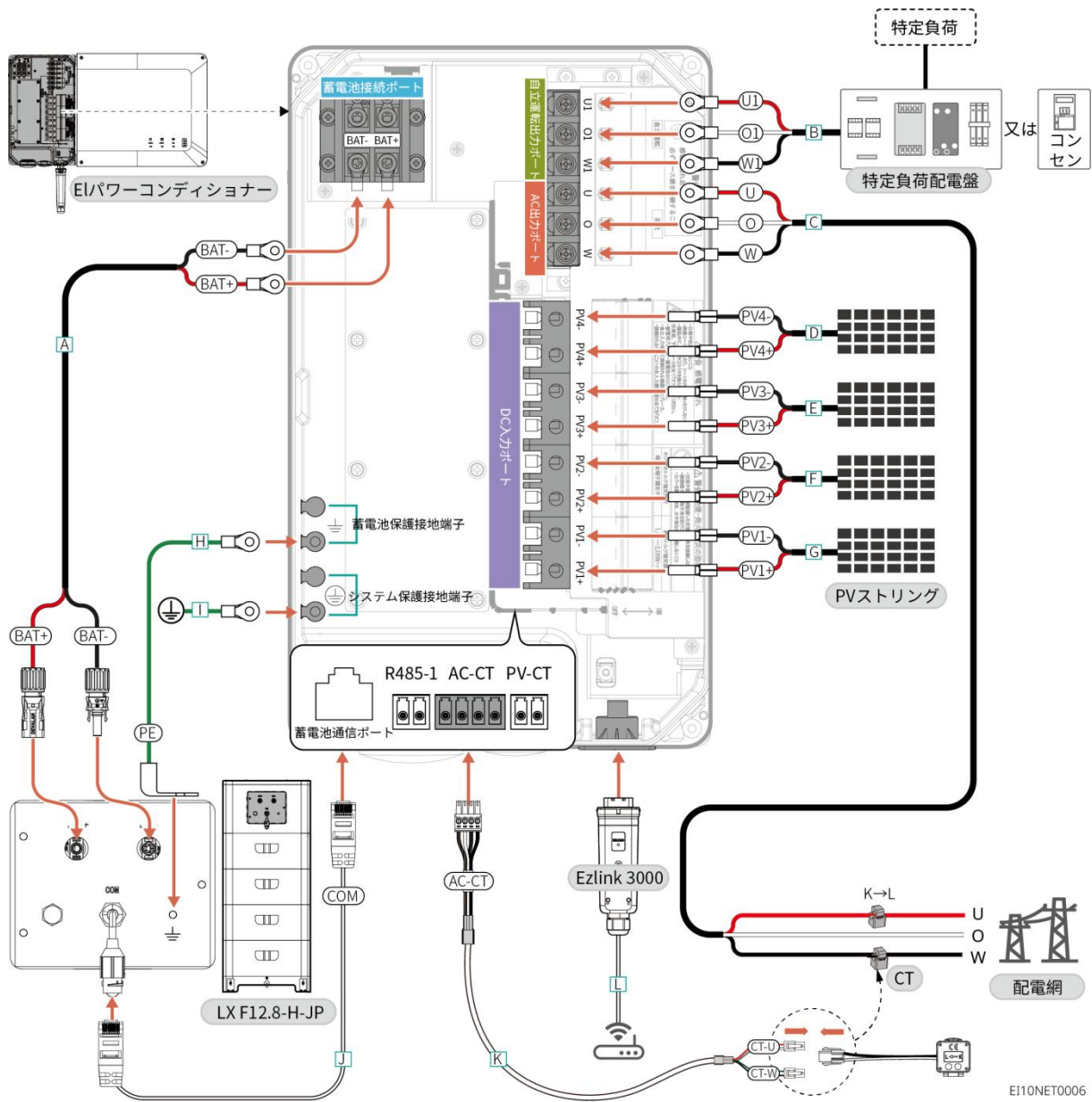
- ケーブルには一定の硬度があるため、不適切な配線順序による作業障害を避けるように、配線順序

を十分にご注意ください。

- パワーコンディショナーに接続されているケーブルがパワーコンディショナーに入る深さより、電線の被覆を剥く長さが異なります。電線の被覆を剥く際は、状況に応じて作業してください。
- ケーブルの固定方法が異なるため、[AC-CT] と [蓄電池通信] の2つのポートは、比較的抜けやすくなります。必ず他のケーブルの接続を完了してから通信ケーブルを接続してください。
- 配線後に製品の設置条件が満たされないことを避けるため、蓄電池の設置位置にも配慮して配線してください。

正しい配線の図示




名称	イメージ	役割
平型端子		DC 入力ケーブルと圧着する
OT 端子		自立運転ケーブルと圧着する AC 出力ケーブルと圧着する 蓄電池パワーケーブルと圧着する
接地 OT 端子		蓄電池保護接地線と圧着する システム保護接地線と圧着する



E110NET0006

各ケーブルの仕様と締め付けトルク

ケーブル		ネジ	締め付けトルク	PF 管外径
ケーブル A	蓄電池接続線 (CV, 5.5mm ² , 2 芯)	パワーコンディショナー—蓄電池	M5*2 (付属品) 1.8-2.0 N.m	27mm
ケーブル B	自立運転出力ケーブル (CV, 8mm ² , 3 芯)	システム A : パワーコンディシ	M5*3 (付属品) 1.8-2.0	36mm

		<p>ヨナー——特定 負荷配電盤</p> <p>システム B：パ ワーコンディシ ヨナー——全負 荷配電盤</p>		N.m	
ケーブル C	システム交流出力線 (CV, 8mm ² , 3 芯)	<p>システム A：パ ワーコンディシ ヨナー——特定 負荷配電盤</p> <p>システム B：パ ワーコンディシ ヨナー——全負 荷配電盤</p>	M5*3 (付属 品)		
ケーブル D	DC 入力ケーブル (CV, 3.5mm ² ≤ S ≤ 5.5mm ² , 2 芯)	PV——パワーコ ンディショナー	M5*8 (付属 品)	 2.0-2.5 N.m	36mm
ケーブル E					
ケーブル F					
ケーブル G					
ケーブル H	蓄電池保護接地線 (IV, 8mm ² , 単芯)	パワーコンディ ショナー——蓄 電池	M5X12*1 (同 梱品)	 1.2 N.m	同 [Ⓐ]
ケーブル I	システム保護接地線 (IV, 8mm ² , 単芯)	パワーコンディ ショナー——ア ース	M5X12*1 (同 梱品)	 1.2 N.m	同 [Ⓑ] [Ⓒ]
ケーブル J	蓄電池通信ケーブル (CAT 5E 屋外用シー ルド付き LAN ケーブ ル, 外径 < 9mm, RJ45 コネクタ)	パワーコンディ ショナー——蓄 電池	/	差し込み	22mm

ケーブル K	AC-CT ケーブル (L=15m<スタンダード>, L=30m<オプション>)	パワーコンディショナー—CT —電力系統	/	差し込み	22mm
(オプション) ケーブル L	Ezlink3000 LAN ケーブル (CAT 5E 屋外用シールド付き LAN ケーブル, 外径< 9mm, RJ45 コネクタ)	Ezlink3000— ルーター	/	差し込み	/

8.1.3.3 防水プラグを外す

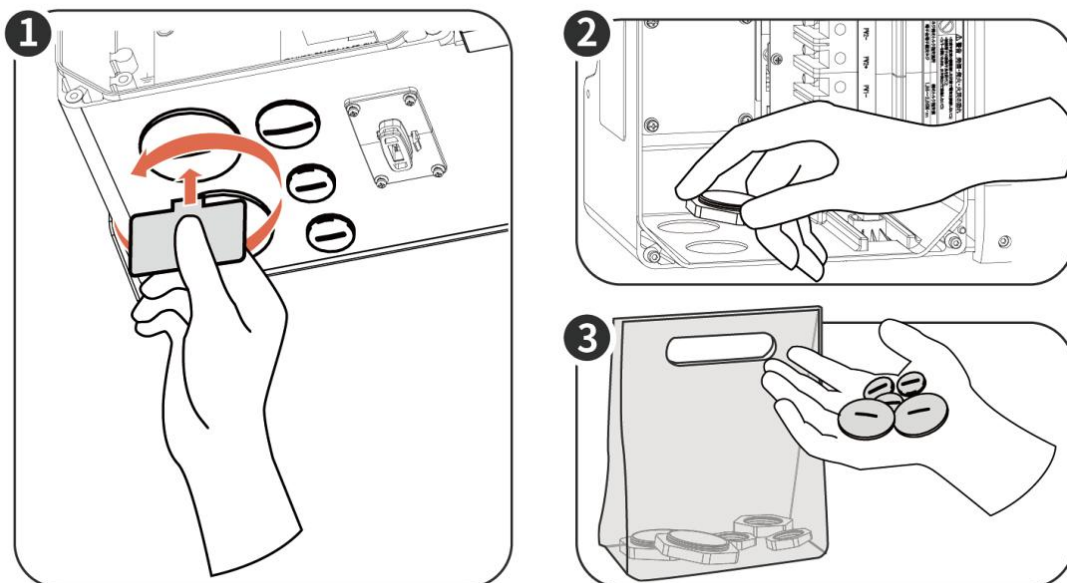


注意

- PF 配管はお客様にてご用意いただく必要があります。配管の仕様は防水プラグの仕様と一致し、防火レベルは V-1、5VB、5W などの V-1 以上を満たす必要があります。
- 配管を取り付けるときは、配管が所定の位置に取り付けられていることを確認してください。取り付けが完了したら、耐火パテを使用して電線管とパワーコンディショナーの間隙を塞いでください。そうしないと、機器の保護レベルに影響を与えて、機器損傷の原因となる可能性があります。

1. 防水プラグ分解工具を使用して防水プラグを取り外します。 ※¹
2. パワーコンディショナー内部の防水プラグ部品を取り外します。
3. 取り外した防水プラグは大切に保管してください。

※1.まず分解工具でプラグを緩め、時計回りに回して防水プラグを取り外します。



E110MTN0001

8.1.3.4 システム保護接地線の配線



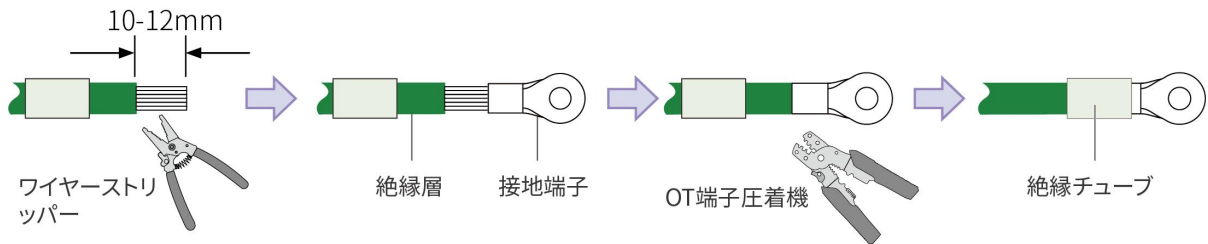
- パワーコンディショナーの保護接地線は確実に接続してください。パワーコンディショナーを複数台設置する場合は、すべてのパワーコンディショナーで C 種接地を行ってください。
- 製品筐体の保護接地線は、AC 出力ポートの保護接地線の代わりにはなりません。配線するときは、2 本の保護接地線が確実に接続されていることを確認してください。
- 複数のパワーコンディショナーを使用する場合は、すべてのパワーコンディショナー筐体の保護接地の等電位接続を確実に行ってください。
- 端子の耐食性を向上させるため、保護接地線を接続・設置した後、端子にシリコーンを塗布して保護することを推奨します。

配線剥き及び端子圧着

1. システム保護接地線※1 を取り出し、〈ワイヤストリッパー〉を使用して保護接地線の絶縁体を 10～12mm 程度剥がし、次の[接地 OT 端子]圧着に準備します。
2. 付属品から[接地 OT 端子]を見つけて、絶縁体を剥がした端に取り付けます。
3. 〈端子圧着工具〉を使用してケーブルを圧着します。
4. 絶縁キャップを圧着部分にかぶせます。 ※2

※ 1. 仕様は【ケーブル 1】にご参照ください。


※ 2. 絶縁キャップは端子圧着前にケーブルに通してください。



E110ELC0012

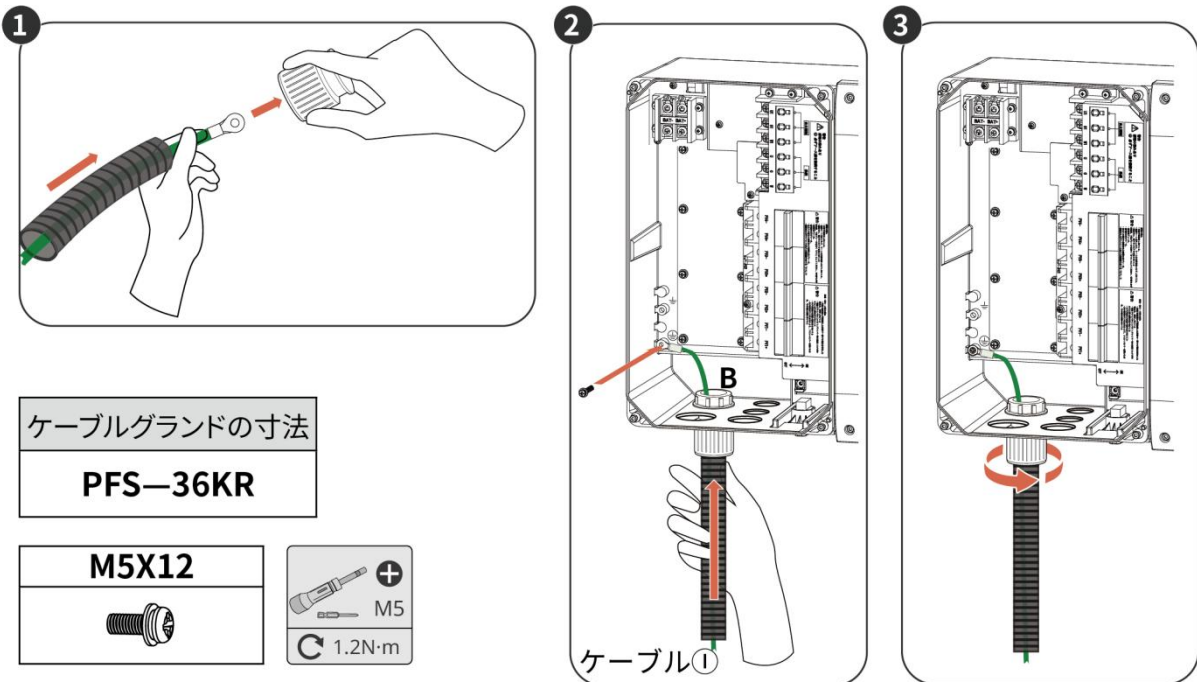
配線

5. 圧着した「システム保護接地線」(*1 本)を PF 配管に通し、相応するケーブルグランド※¹を選択し、圧着端子の一端を配線穴 B に挿入します。

6. パワーコンディショナー内部の  印の箇所を確認し、図に示す材料や工具に従って配線を行ってください。

7. 配線完了後、ケーブルグランドを締付け、しっかりと締まっているかを確認してください。

※ 1. PF 配管に相応するケーブルグランドの寸法は図に示されています。PF 配管の外径は 36mm です。



E110ELC0013

8.1.3.5 AC 出力ケーブルの配線



- パワーコンディショナーとそれに直結する AC スイッチとの間に負荷を接続することは禁止されています。
- AC ケーブルは AC 端子の「U」、「O」、「W」ポートに合わせて配線してください。誤って接続すると装置が損傷します。
- 心線が端子配線穴に完全に挿入され、露出しないようにしてください。
- ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。そうしないと、製品の動作中に端子が過熱して製品が損傷する可能性があります。
- 外部 O1 ケーブルを重複接地しないでください。

※ ON-GRID 交流側 RCD 仕様：300mA

※ BACK-UP 交流側 RCD 仕様：30mA

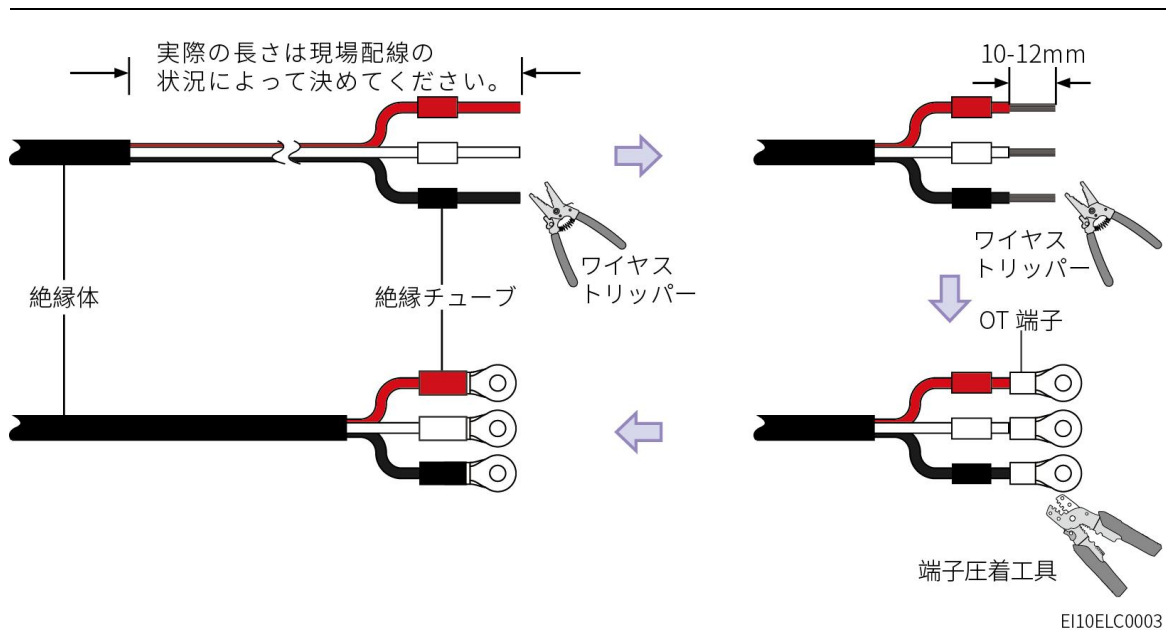
配線剥き及び端子圧着

1. 3 芯ケーブル※¹を取り出し、＜ワイヤストリッパー＞を使用してケーブルの皮を剥がします。実際の皮むき長さは配線長さにより異なります※²。
2. [OT 端子] の圧着を容易にするために、＜ワイヤストリッパー＞を使用して 3 本のワイヤーの絶縁体を約 10 ～ 12mm 剥ぎます。
3. 付属品から[OT 端子]を探し、絶縁体を剥がした端にかぶせ、＜端子圧着工具＞を使用してケーブルを圧着します。
4. 絶縁キャップを圧着部分にかぶせます。 ※³

※ 1. 仕様については[ケーブル B、C]のパラメータを参照してください。

※ 2. ケーブルの皮にはある程度の硬度があるため、皮むき後の 3 芯線は比較的硬度が低く配線しやすくなります。したがって、具体的な長さは配線穴から端子台までのおおよその値となり、最適な配線状態が得られるように調整してください。

※ 3. 絶縁キャップはケーブルに通してから圧着してください。



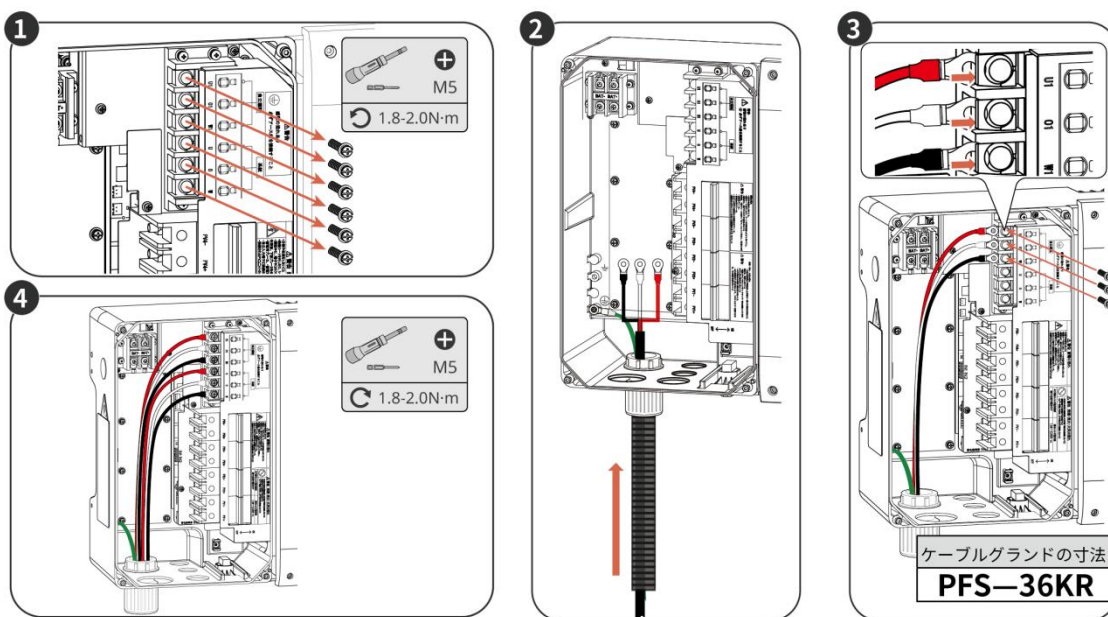
※AC 出力ポートの 2 本の 3 芯ケーブルは上記と同様に処理されます。

配線

1. 工具を使って AC 端子にケーブル固定用のネジ(*6)を外します。
2. 圧着した「AC 出力ケーブル」(*2 本)を PF 配管※¹に通し、圧着端子の一端を配線穴 B に差し込みます。
3. [自立運転]で書いている端子台を見つけ、[(赤)→U1]、[(白)→O1]、[(黒)→W1]※²の対応関係に従って接続します。
4. [システム]で書いている端子台を見つけ、[(赤)→U]、[(白)→O]、[(黒)→W]の対応関係に従って接続します。

※ 1. ここでの PF 配管は「8.1.3.4 システム保護接地線の接続」で使用した PF 配管と同じです。

※ 2. 図に従って正しい位置から接続してください。



E110ELC0014

8.1.3.6 DC 入力ケーブルの配線



- 同じ PV スtring を複数のパワーコンディショナーに接続しないでください。パワーコンディショナーが損傷する可能性があります。
- PV スtring をパワーコンディショナーに接続する前に、次の情報を確認してください。そうしないと、パワーコンディショナーに永久的な損傷を与え、重大な場合には火災を引き起こし、人身および財産の損失を引き起こす可能性があります：
 - 各 MPPT の最大短絡電流と最大入力電圧がパワーコンディショナーの許容範囲内であることを確認してください。
 - PV スtring の正極がパワーコンディショナーの PV+ に接続され、PV スtring の負極がパワーコンディショナーの PV- に接続されていることを確認してください。
- PV スtring 出力は接地をサポートしていません。PV スtring をパワーコンディショナーに接続する前に、PV スtring 対地間絶縁抵抗最小値が最小絶縁抵抗要件 ($R = \text{最大入力電圧} / 30\text{mA}$) を満たしていることを確認してください。

配線剥き及び端子圧着

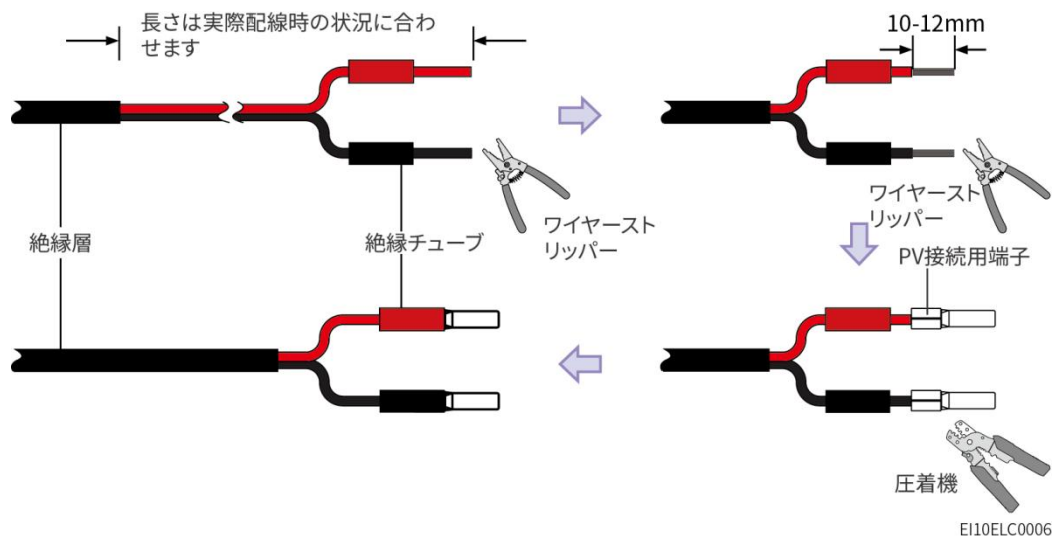
1. 2 芯ケーブル※¹ を取り出し、<ワイヤストリッパー>を使用してケーブルの皮を剥がします。実際の長さは配線長さにより異なります※²。

2. [平型端子]の圧着を容易にするために、<ワイヤストリッパー>を使用して2本のワイヤーの絶縁体を約10～12mm剥ぎます。
3. 付属品から[平型端子]を探し、絶縁体を剥がした端にかぶせ、〈端子圧着工具〉を使用してケーブルを圧着します。
4. 絶縁キャップを圧着部分にかぶせます。 ※³

※1. 仕様については[ケーブル D、E、F、G]のパラメータを参照してください。

※2. ケーブルの皮にはある程度の硬度があるため、皮むき後の2芯線は比較的硬度が低く配線しやすくなります。したがって、具体的な長さは配線穴から端子台までのおおよその値となり、最適な配線状態が得られるように調整してください。

※3. 絶縁キャップはケーブルに通してから圧着してください。



※DC入力ポートに接続する4本の2芯ケーブルは上記のように処理されます。

配線

工具を使ってDC入力端子のネジ(*8個)を外します。 ※¹

圧着した「DC入力ケーブル」(*4本)をPF配管に通し、相応するケーブルグランドを選択し ※², 圧着端子の一端を配線穴Aに差し込みます。

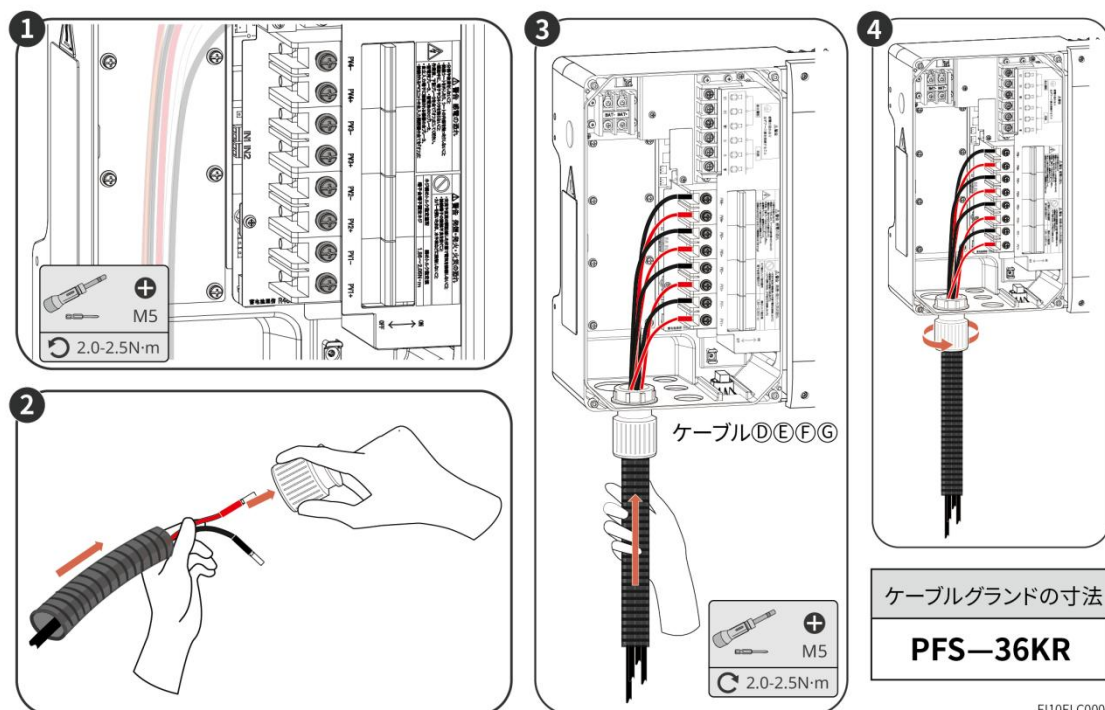
パワーコンディショナー筐体内に[PV+/PV-]で書いている端子台を見つけ、[(黒)→マイナス]、[(赤)→プラス+]の対応関係に従って接続します。

配線完了後、ケーブルグランドをしっかり締まっているかを確認してください。

※1. DC入力ポートの固定用ネジがパワーコンディショナーの奥にありますので、配線や取り外しの時は距離をご注意ください。特に配線後はネジの脱落を防ぐため、ネジがしっかり締まっているか確

認する必要があります。

※ 2. PF 配管に相応するケーブルグランドの寸法は図に示されています。PF 配管の外径は 36mm です。



8.1.3.7 蓄電池保護接地線とパワーケーブルの配線



警告

- 蓄電池がショートすると、瞬間的に大電流が流れ、火災の原因となることがあります。
- 蓄電池ケーブルを接続する前に、パワーコンディショナーと蓄電池の電源がオフになっていること、および装置の前段スイッチと後段スイッチがオフされていることを確認してください。
- パワーコンディショナーの動作中、蓄電池ケーブルの接続または取り外しは禁止されています。違法な操作は感電する可能性があります。
- 複数のパワーコンディショナーに同じ蓄電池システムを接続しないでください。パワーコンディショナーが破損する可能性があります。
- パワーコンディショナーと蓄電池の間に負荷を接続することは禁止されています。
- 蓄電池ケーブルを接続するときは、偶発的な感電や蓄電池のショートを防ぐために、絶縁された工具を使用してください。
- 蓄電池の開放電圧がパワーコンディショナーの許容範囲内であることを確認してください。



注意

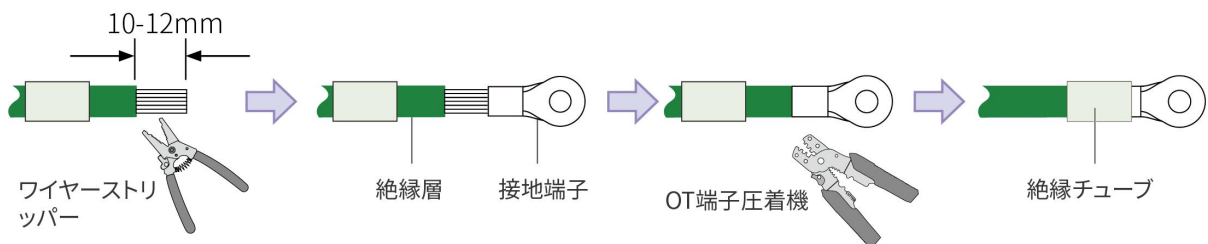
- 配線の際、各ケーブルは蓄電池端子台の「BAT+」、「BAT-」、およびアースポートに一致している必要があります。ケーブルが正しく接続されていない場合、製品が損傷します。
- 端子配線穴に芯線が完全に挿入され、露出しないようにしてください。
- ケーブル接続がしっかりと接続されていることを確認してください。そうしないと、製品動作中に端子が過熱して製品が損傷する可能性があります。

配線剥き及び端子圧着——蓄電池保護接地線

1. 蓄電池保護接地線※¹を取り出し、＜ワイヤストリッパー＞を使用してワイヤーの絶縁体を約 10～12mm 剥ぎます。
2. 付属品から【接地 OT 端子】，絶縁体を剥がした端にかぶせます。
3. ＜端子圧着工具＞を使用してケーブルを圧着します。
4. 絶縁キャップを圧着部分にかぶせます。 ※²

※ 1. 仕様については[ケーブル H]のパラメータを参照してください。。

※ 2. 絶縁キャップはケーブルに通してから圧着してください。

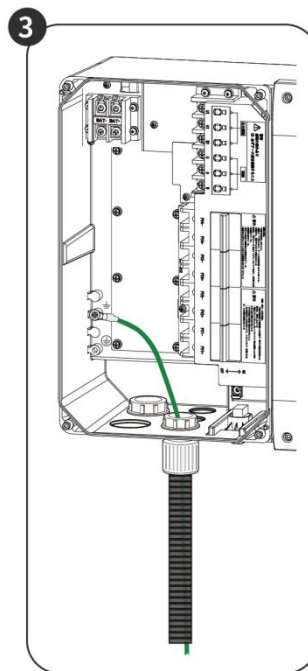
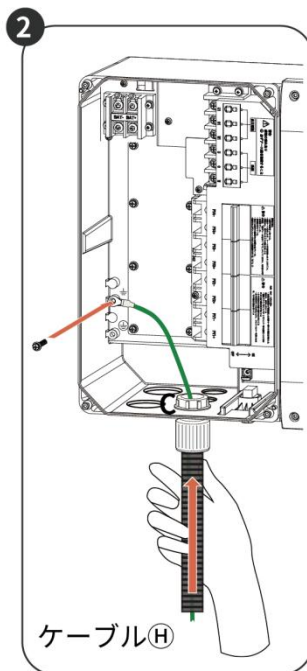
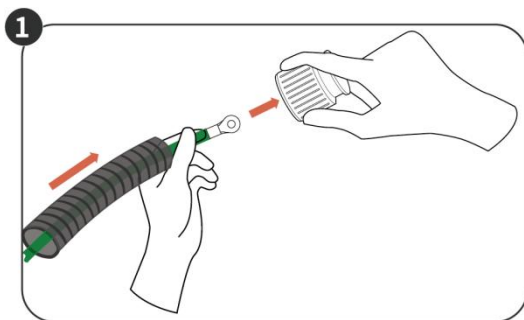


E110ELC0012

配線

1. 圧着した【蓄電池保護接地線】（*1本）を PF 配管に通し，該当のケーブルグランドを選択し ※¹，圧着端子の一端を配線穴 C に差し込みます。
2. パワーコンディショナー筐体内に ≡ で書いてる端子台を見つけ，図示の材料と工具に従って配線を行ってください。
3. 配線が完了したら、ケーブルグランドを締め付け、しっかりと固定されているか確認してください。

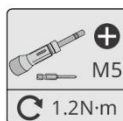
※ 1. PF 配管に相応するケーブルグランドの寸法は図に示されています。PF 配管の外径は 27mm です。



ケーブルグラウンドの寸法

PFS-22KR

M5X12



E110ELC0015

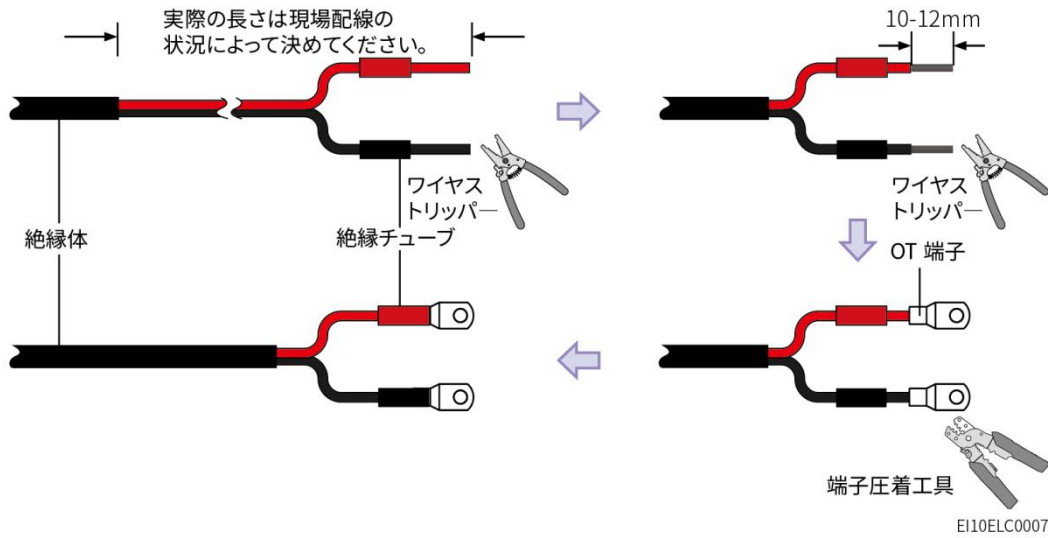
配線剥き及び端子圧着——蓄電池パワーケーブル

1. 2 芯ケーブル※¹を取り出し、<ワイヤストリッパー>を使用してケーブルの皮を剥がします。実際の長さは配線長さにより異なります※²。
2. [OT 端子] の圧着を容易にするために、<ワイヤストリッパー>を使用して 2 本のワイヤーの絶縁体を約 10 ~ 12mm 剥ぎます。
3. 付属品から[OT 端子]を取出し、絶縁体を剥がした端にかぶせ、〈端子圧着工具〉を使用してケーブルを圧着します。
4. 絶縁キャップを圧着部分にかぶせます。 ※³

※ 1. 仕様については【ケーブル A】のパラメータにご参照ください。

※ 2. ケーブルの皮にはある程度の硬度があるため、皮むき後の 2 芯線は比較的硬度が低く配線しやすくなります。したがって、具体的な長さは配線穴から端子台までのおおよその値となり、最適な配線状態が得られるように調整してください。

※ 3. 絶縁キャップはケーブルに通してから圧着してください。

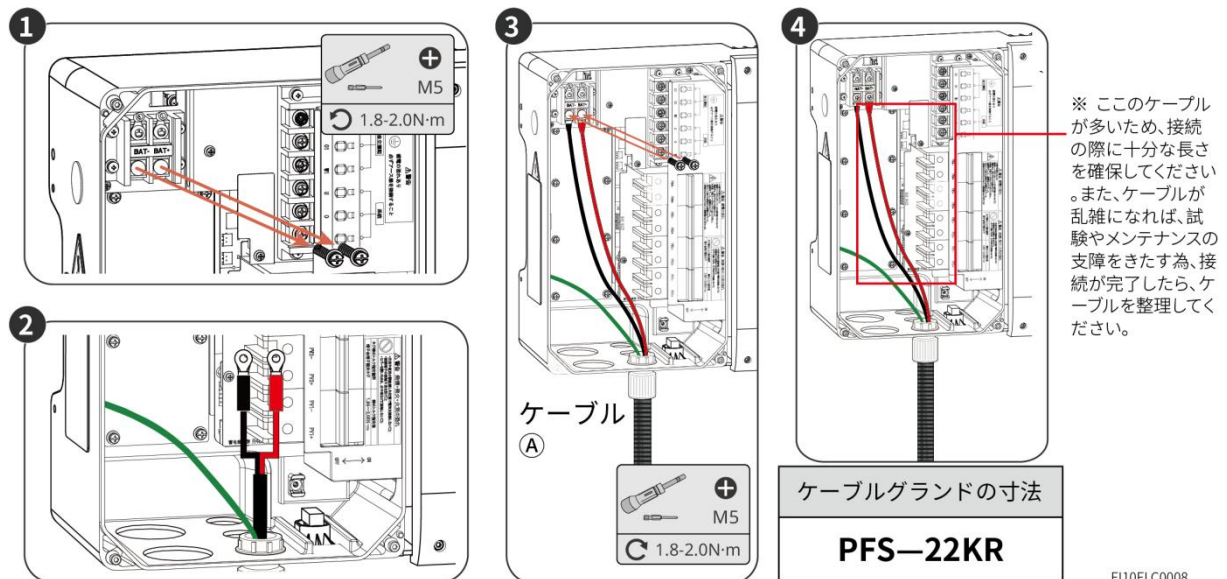


配線

1. 工具を使って蓄電池の端子から固定用ネジ（*2 個）を外します。
2. 圧着した「蓄電池パワーケーブル」（*4 本）を PF 配管に通し ※¹，圧着端子の一端を配線穴 C に差し込みます。
3. 【BAT-】、【BAT+】で書いてる端子台を見つけ、【（赤）→ BAT+】、【（黒）→ BAT-】の対応関係に従って接続します。 ※²。

※ 1. ここの PF 配管は【蓄電池保護接地線】に使われる同じ配管です。

※ 2. 図に従って、正しい位置から差し込んでください。



8.1.3.8 蓄電池通信ケーブルの接続



注意

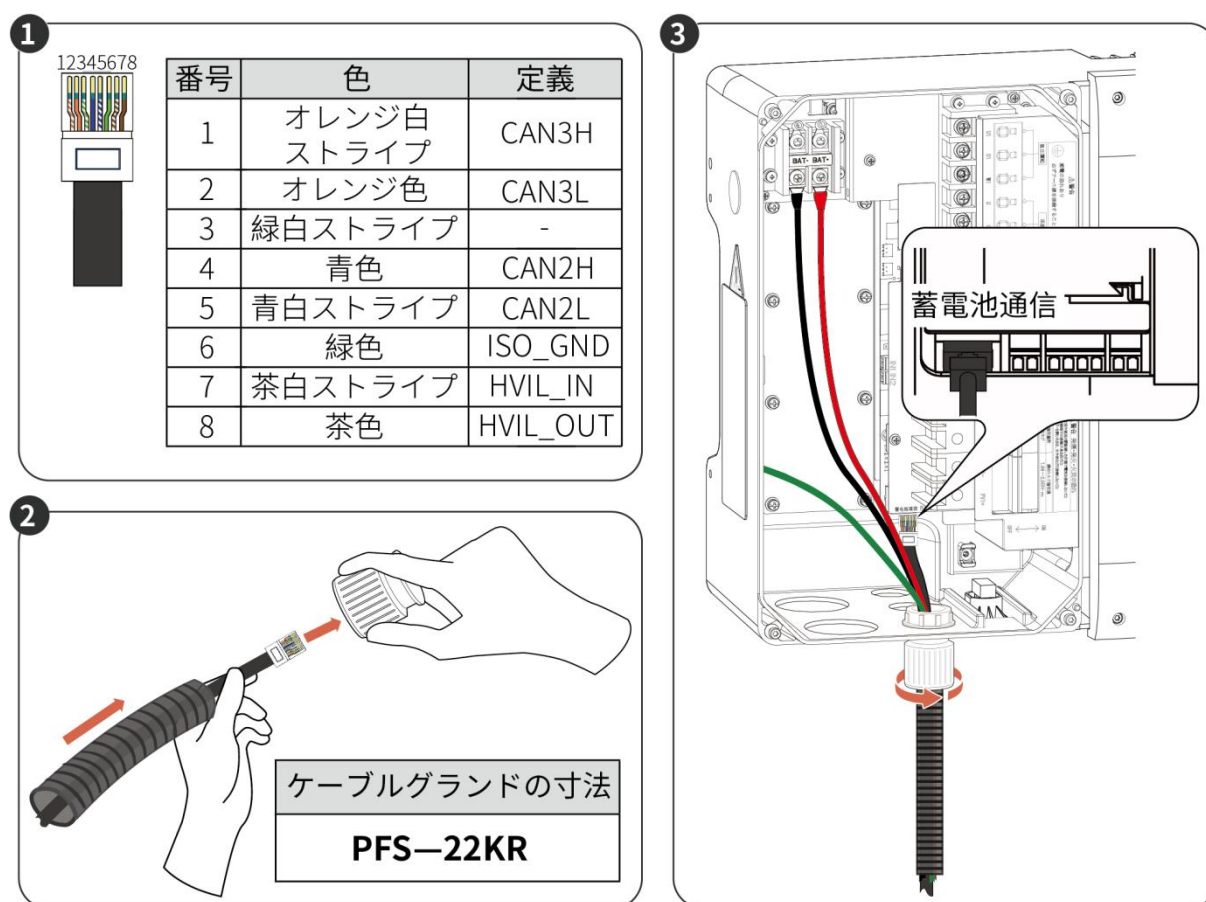
- 通信ケーブルを接続するときは、外部設備が正しい配線ポート接続していることを確認し、信号受信に影響を与えないように、ケーブルの配線経路は干渉源や電力線などを避けてください。

蓄電通信ケーブルの差し込み

1. 蓄電池の通信ケーブルを取り外します。ケーブルの圧着作業が完了された場合は、そのまま手順2に進みます。圧着されていない場合は、端子圧着工具を使用して圧着ください。
2. 圧着した[蓄電池の通信ケーブル>(*1 本)を PF 配管に通し、相応するケーブルグランド※¹, を選択し、クリスタルヘッドの一端を配線穴 D に挿入します。
3. 蓄電池通信ケーブルを[蓄電池通信]のシルクスクリンのあるポートに挿入し、配線が完了したらケーブルグランドを締めてしっかりしているかどうかを確認します。※²

※ 1. 仕様は【ケーブル J】のパラメータを参照してください。

※ 2. 此处的 PF 管与【蓄電池保护接地线】中所使用的的 PF 管为同一根。この PF 配管は【蓄電池保護接地線】に使われる同じ配管です。



EI10ELC0016

8.1.3.9 AC-CT ケーブルの接続



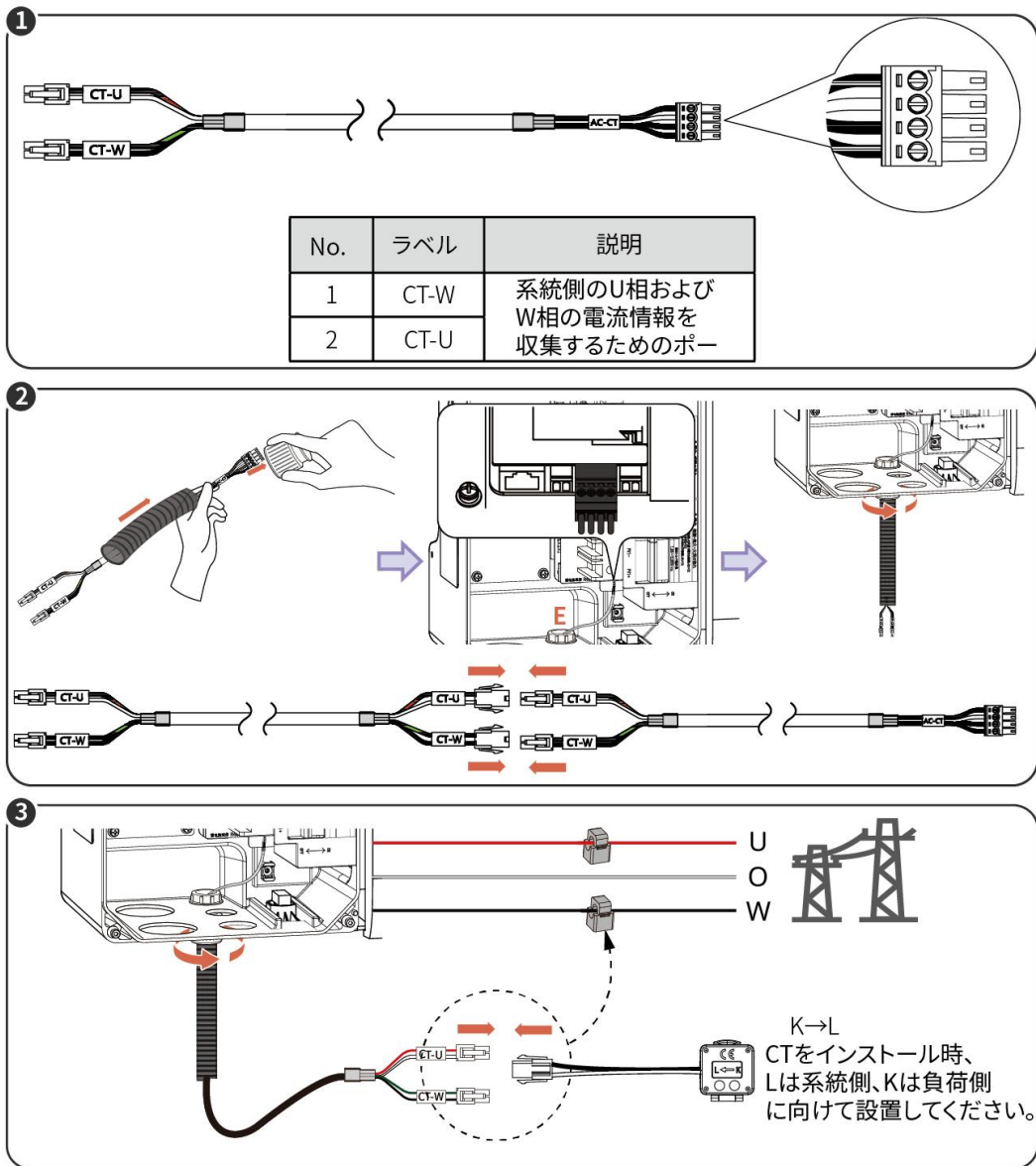
- パワーコンディショナーには CT ケーブルが付属しており、デフォルトのケーブル長は 15m です。ケーブル長が足りない場合には、最大 30m まで対応する CT 延長ケーブルをパワーコンディショナーに装備することができます。
- CT のラベルに従って CT を設置してください。[CT-W] は電力系統の W ラインに貼り付け、[CT-U] は電力系統の U ラインに貼り付けてください。

蓄電池の通信ケーブルの差し込み

1. AC-CT ケーブルを取り外します。
2. PF 配管に[AC-CT ケーブル>(*1)を通し、相応するケーブルグランド※¹を選択し、ケーブル穴 E から挿入します。CT ケーブル長さが足りない場合は、下図のように※²作業を行ってください。AC-CT ケーブルを[AC-CT]シルクスクリーンのあるポートに挿入し、配線完了後、ケーブルグランドをしっかり締まっているかを確認してください。
3. CT を系統連系点の AC ラインに設置します。。

※ 1. 仕様は【ケーブル K】のパラメータに参照ください。

※ 2. CT の延長ケーブルはオプションです。



E110ELC0004

8.1.3.10 Ezlink3000 の設置



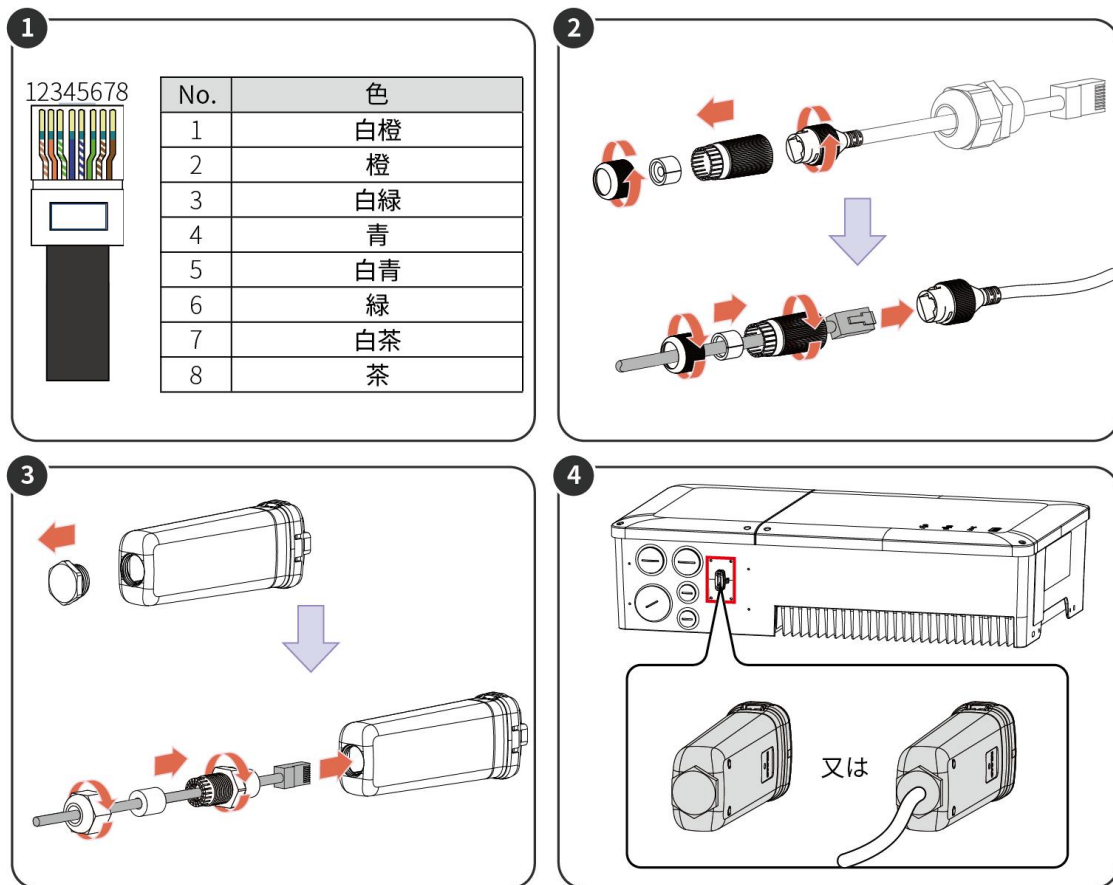
注意

Ezlink3000 を介したパワーコンディショナーパラメータの設定、サーバへの接続によるパワーコンディショナーの動作状態や発電所の動作などの監視を対応可能です。。

Ezlink3000 通信モジュールが LAN ケーブルでルーターに接続してデータを送信する場合のみ、LAN 通信ケーブルを接続する必要があります。

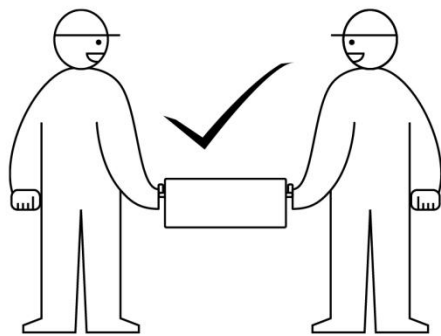
1. LAN 通信ケーブルを取り出します。ケーブルの圧着作業が完了される場合は、そのまま手順2に進みます。圧着されていない場合は、お客様端子圧着工具で圧着作業を先にしてください。※¹
2. 防水パーツを外し、圧着した[LAN 通信ケーブル]を[防水パーツ]に通し、[防水パーツ]を締め付けます。
3. Ezlink3000 の防水プラグを取り外し、[防水パーツ]を Ezlink3000 に取り付けます。
4. パワーコンディショナーに Ezlink3000 を取り付けます。

※ 1. 使用は【ケーブル L】のパラメータに参照ください。

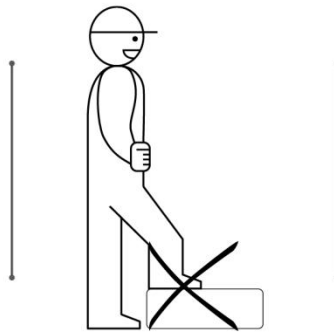


EI10ELC0005

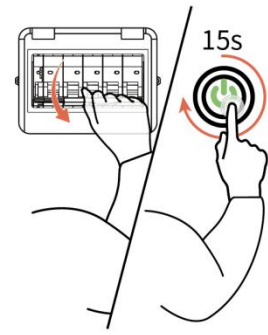
8.2 蓄電池の設置と配線



二人以上で運ぶ



機械を踏まないでください



電源を切る方法 (二つ)

ET10INT0027



警告

- この蓄電池システムは高電圧システムです。システム内の機器を操作する前に、危険を避けるために電源を切り、本書のすべての安全上の注意および機器の安全標識に従ってください。
- 蓄電池システムの操作はプロの人員のみが許可されています。プロの人員は、地域の規制、規格、電気システムに精通しており、専門的なトレーニングを受けており、この製品に関する知識を熟知している必要があります。
- 蓄電池やコントロールボックスに明らかな欠陥、破損、紛失がある場合は使用しないでください。
- 製品メーカーの正式な許可がない限り、蓄電池やコントロールボックスの一部を分解したり、改造したりしないでください。
- 蓄電池が損傷すると、電解液が漏れる可能性があります。電解液が漏れた場合は、漏れた電解液や揮発ガスには触れず、ただちにアフターサービスセンターにご連絡ください。
- 漏洩物に誤って触れた場合は、次の作業を行ってください：
 - 流出した物質を吸入した場合: 汚染された場所から避難し、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 目に入った場合: きれいな水で少なくとも 15 分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合: 患部を石鹼と水でよく洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 飲み込んだ場合: 嘔吐させ、直ちに医師の診察を受けてください。
- 外部蓄電池拡張モジュールを接続するときは、蓄電池システムを移動させないでください。電池の交換や増設が必要な場合は、アフターサービスセンターまでご連絡ください。
- 周囲温度が 150°C を超えると、蓄電池が爆発する可能性があります。
- 高温環境下でのケーブルの使用は、ケーブルと加熱時間や熱源周囲の距離により、絶縁体の劣化

や損傷を引き起こす可能性があります。



- 輸送中の人身傷害や機器の損傷を防ぐため、次の事項に注意してください：
 - 製品重量が人体に耐えられる範囲を超えて人に怪我をさせないように、機器の重量に応じて作業者の人数を配置してください。
 - 怪我を避けるために安全手袋を着用してください
 - 落下を防ぐため、輸送中は製品のバランスを保ってください。
 - 製品を叩いたり、引っ張ったり、引きずったり、踏んだりしないでください。また、蓄電池モジュールのどの部分にも異物を入れないでください。
- 蓄電池の近くに二酸化炭素消火器、Novec1230 または FM-200 消火器があることを確認してください。
- 火事を消火する場合は、推奨類別の消火器を使用してください。水または ABC 粉末消火器は使用しないでください。消防士は防護服と自給式呼吸器を着用する必要があります。
- 高電圧作業を行う場合は、専用の絶縁工具を使用してください。
- 同じ種類のケーブルは収束し、異なる種類のケーブルは 30mm 以上離して配線してください。絡まったり、交差したりすることは禁止されています。
- 設置する前に、地面が平らで傾いていないことを確認してください。
- ベースが垂直で地面とくっついてることを確認してください。
- ベースが壁につけて、ベースの矢印が外側を向くように設置してください。
- 上部の蓄電池を置くときは、上下の穴の位置が合っていることを確認してください。
- 蓄電池の傾き防止金具が壁にくっついてることを確認してください。
- 蓄電池やコントロールボックスの落下に注意してください。

8.2.1 蓄電池の設置

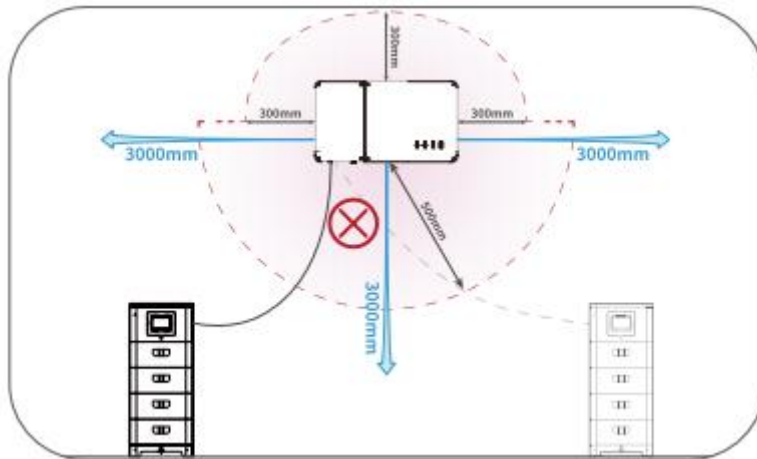
8.2.1.1 蓄電池と同梱品の搬送

設置環境を確認した後、蓄電池とその付属品を適切な場所に移動してください。その後蓄電池、ベース、コントロールボックスを取り外します。

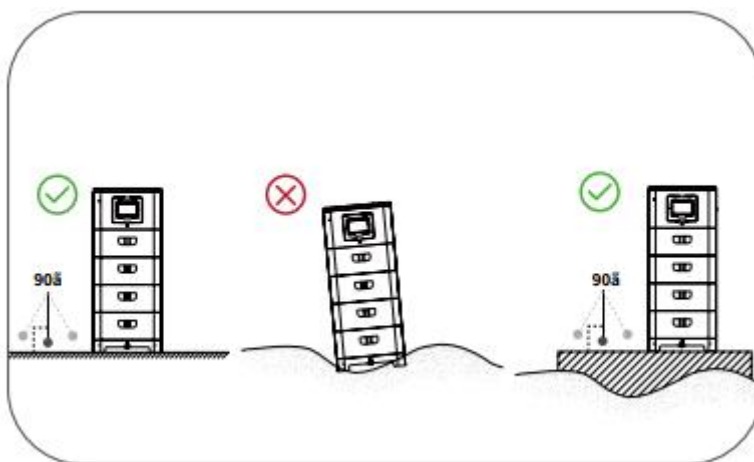
8.2.1.2 設置位置の確認

蓄電池の設置環境に応じて設置場所を確認した後、ベースを壁につけて、地面の穴の位置にマーカースを使用してマークし、ベースを一時的に取り外します。インパクトドリルを使用して穴を開けます。(口径 10mm、深さ 80mm)

- パワーコンディショナーと蓄電池間の距離は 3m 以内とし、通風、放熱、運転のためのスペースの確保にご注意ください。



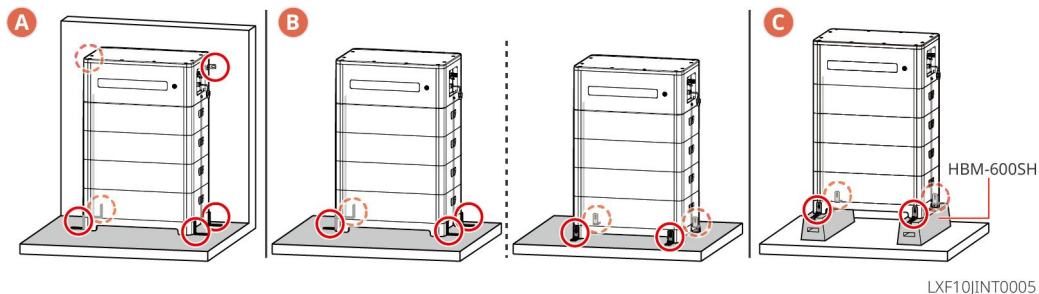
- 十分な耐荷重と平坦度を備えた地面に設置する必要がありますが、そうでない場合は、基礎を構築するか耐荷重の板を追加することでこの要件に満たす必要があります。



8.2.1.3 設置シーンを確認する

シーン	壁設置方式	説明
コンクリート床	壁設置	傾き防止金具をベースの左右側に固定し、コントロールボックスを壁に固定する。
	非壁設置	傾き防止金具をベースの左右側／前後側に固定し、コントロールボックスを壁に固定しない。

コンクリートブロック	非壁設置	傾き防止金具をベースの前後側に固定し、コントロールボックスを壁に固定しない。
------------	------	--



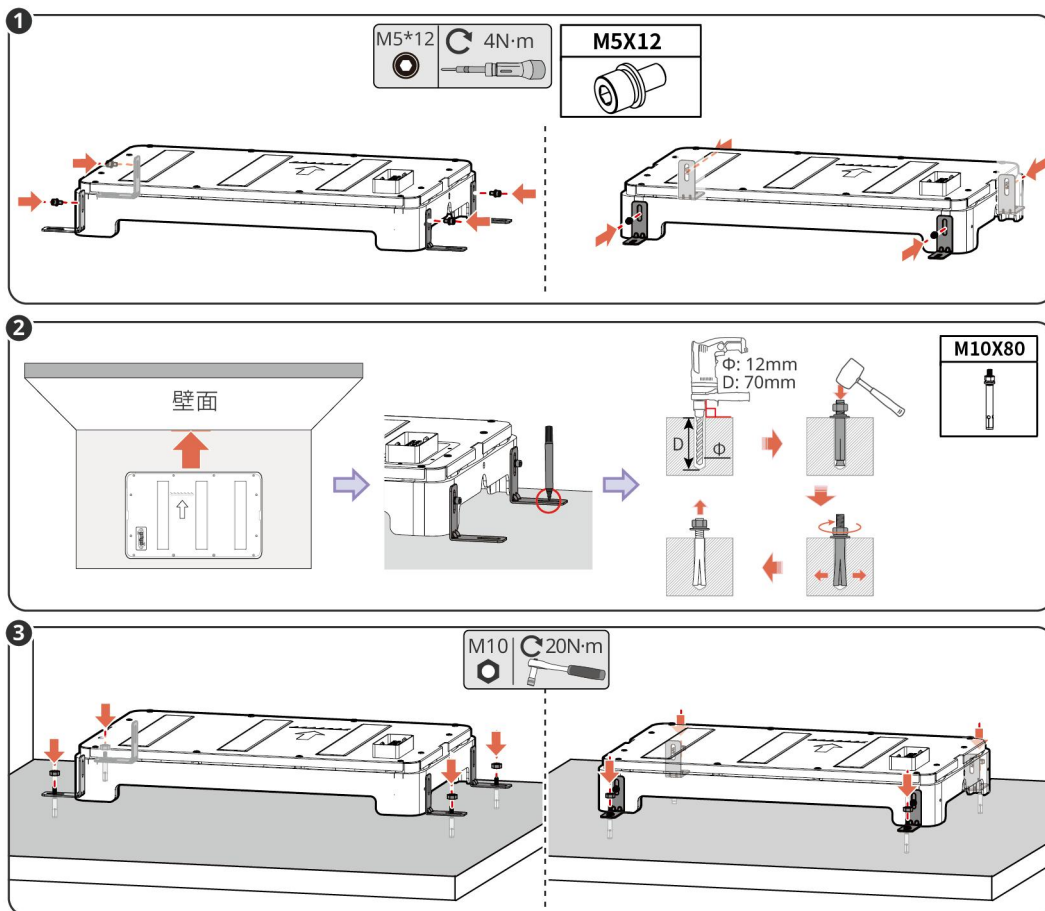
8.2.1.4 ベースを固定する



注意

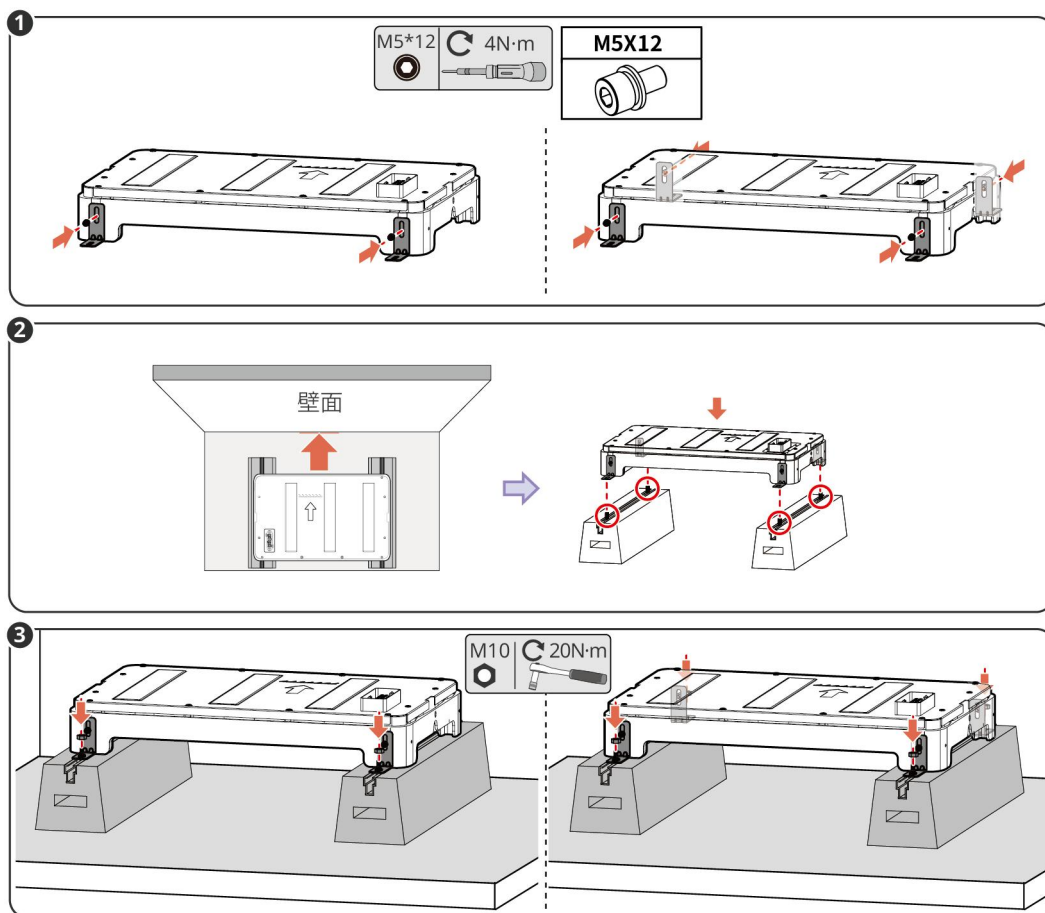
- 実際の設置シーンに応じて、ベースの固定側を選択してください。傾き防止金具は左右側または前後側に固定可能です。
- 蓄電池の設置環境に応じて設置位置を確認した後、ベースを壁設置し、マークペンで地面に穴あけ位置を印付けし、ベースを一時移動します。インパクトドリルで穴を開けます。（穴径：10mm、深さ 80mm）。
- ベースを固定する場合、拡張ボルトを使用してコンクリート床またはコンクリートブロックに固定します。
- コンクリートブロックはお客様ご用意してください。推奨型番：HBM-600SH

コンクリート床：



LXF10JINT0006

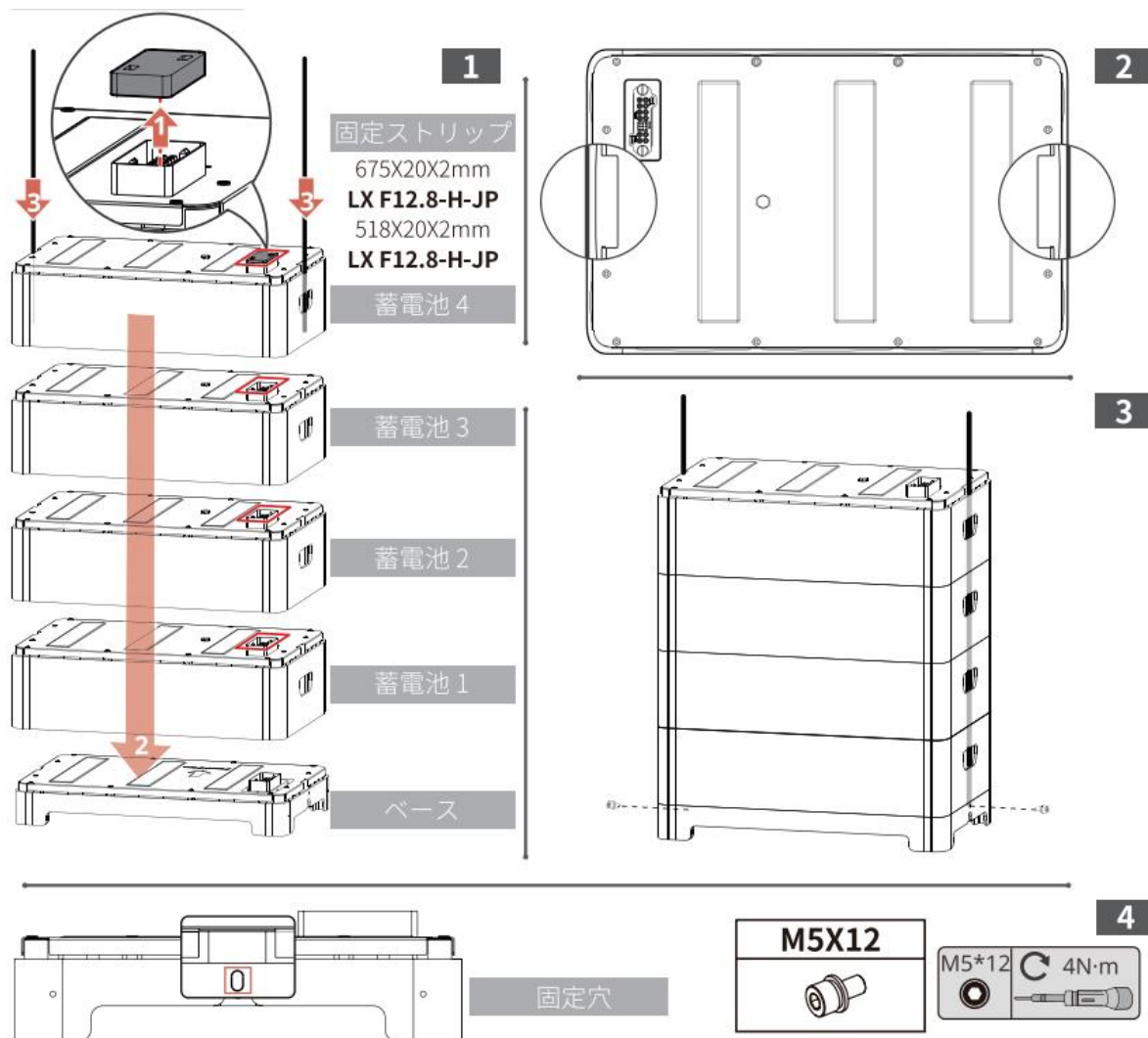
コンクリートブロック:



LXF10JINT0007

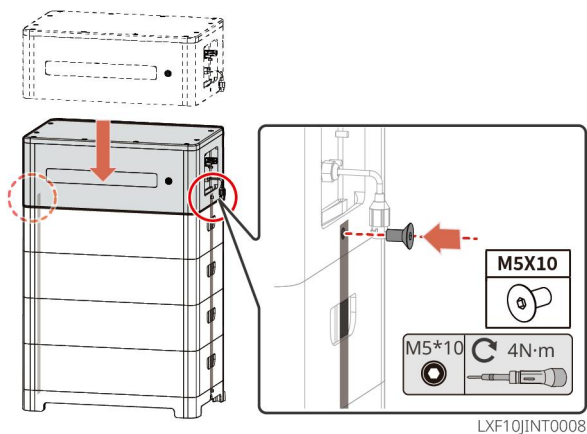
8.2.1.5 蓄電池の設置と固定

1. 蓄電池接続の発泡スポンジを取り外してください。
2. 蓄電池をベース→蓄電池 1、2、3、4（LXF12.8-H-JP を例にします）→コントロールボックスの順番で積み重ねて、向きに注意して取り付けてください。
3. 固定バーを両側の隙間（図を参照）に挿入し、ネジ（M5X12）を使用して固定バーをベースに固定します。



8.2.1.6 コントロールボックスの設置と固定

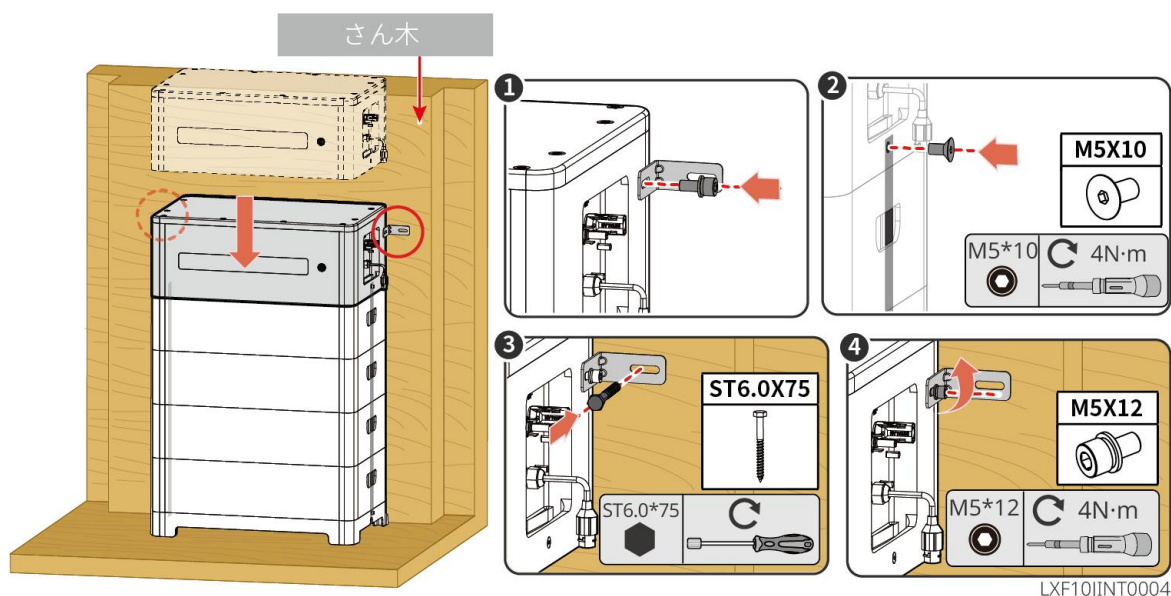
蓄電池を壁非設置する場合、コントロールボックスは傾き防止金具で固定する必要はなく、固定バー（M5X10）をネジ（2）で締めるだけです。



蓄電池を壁設置する場合、コントロールボックスの固定は以下の手順を参照してください。

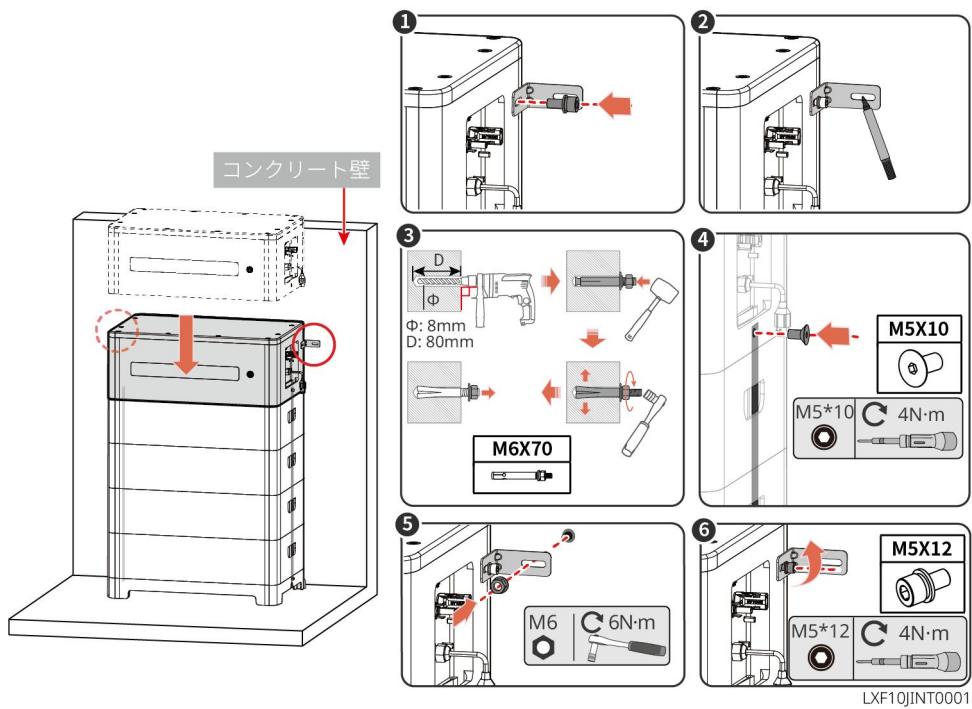
木質壁面

1. コントロールボックスに傾き防止金具を仮締めする (M5×10)
2. ネジ (*2) で固定バーを取り付ける (M5×10)
3. 木ねじ (*2) でコントロールボックスを壁面に固定する
4. コントロールボックス傾き防止金具を本締めする



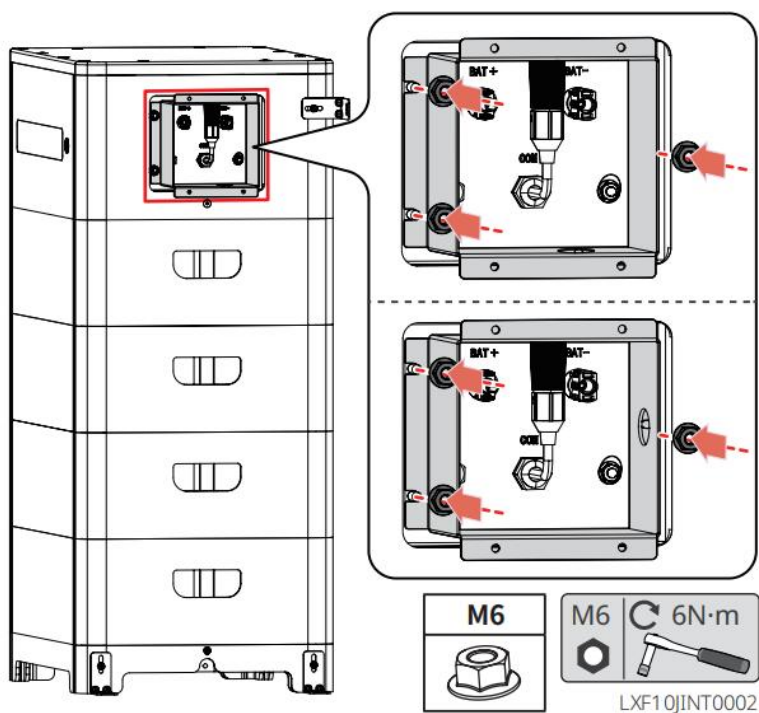
コンクリート壁

1. コントロールボックス (M5X12) の傾き防止金具を事前にロックします。
2. コントロールボックスを蓄電池の上に取り付けます。マーカを使用して壁の穴の位置をマークし、コントロールボックスを一時的に取り外します。
3. インパクトドリルを使用して穴を開けます, ゴムハンマーで膨張ねじ (M6×70) を壁面に打ち込んで固定する。。 (口径 10mm、深さ 80mm)
4. コントロールボックスをバッテリーの上に戻し、固定バー (M5X10) をネジ (*2) で締めます。
5. 拡張ボルト (*2) を使用してコントロールボックスを壁に固定します。
6. コントロールボックスを傾き防止金具より固定します。



8.2.1.7 配線ボックスの取付

配線ボックスを端子接続部に置き、ボルト（M6）*3 でコントロールボックスに固定します。



8.2.2 蓄電池の配線

8.2.2.1 蓄電池の保護接地線の接続



注意

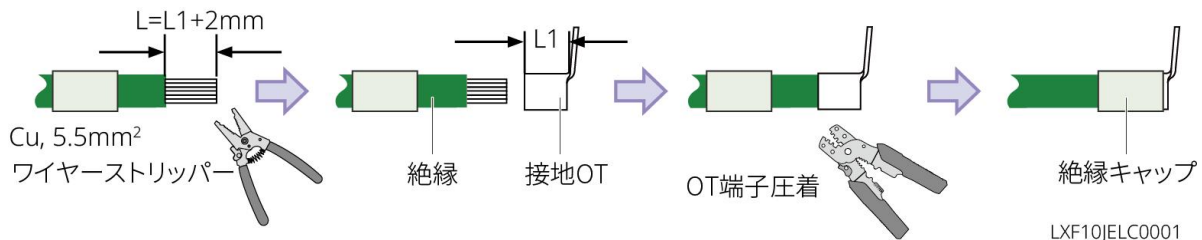
- 製品を取り付ける際は、最初に保護接地線を取り付ける必要があります。製品を取り外す際は、最後に保護接地線を取り外してください。
- 圧着後の引張強度は 400N 以上でなければなりません。
- コントロールボックスとベースのどちらか接地線を接続してください。

配線剥き及び端子圧着

1. 蓄電池保護接地線※1 を取り出し、〈ワイヤストリッパー〉を使用して【接地 OT 端子】の長さより約 2mm 程度長く絶縁体を剥がし、次の[接地 OT 端子]圧着に準備します。
2. 付属品から[接地 OT 端子]を見つけて、絶縁体を剥がした端に取り付けます。
3. 〈端子圧着工具〉を使用してケーブルを圧着します。
4. 絶縁キャップを圧着部分にかぶせます。 ※2

※ 1. 仕様は【ケーブル H】にご参照ください。

※ 2. 絶縁キャップはケーブルに通してから圧着してください。

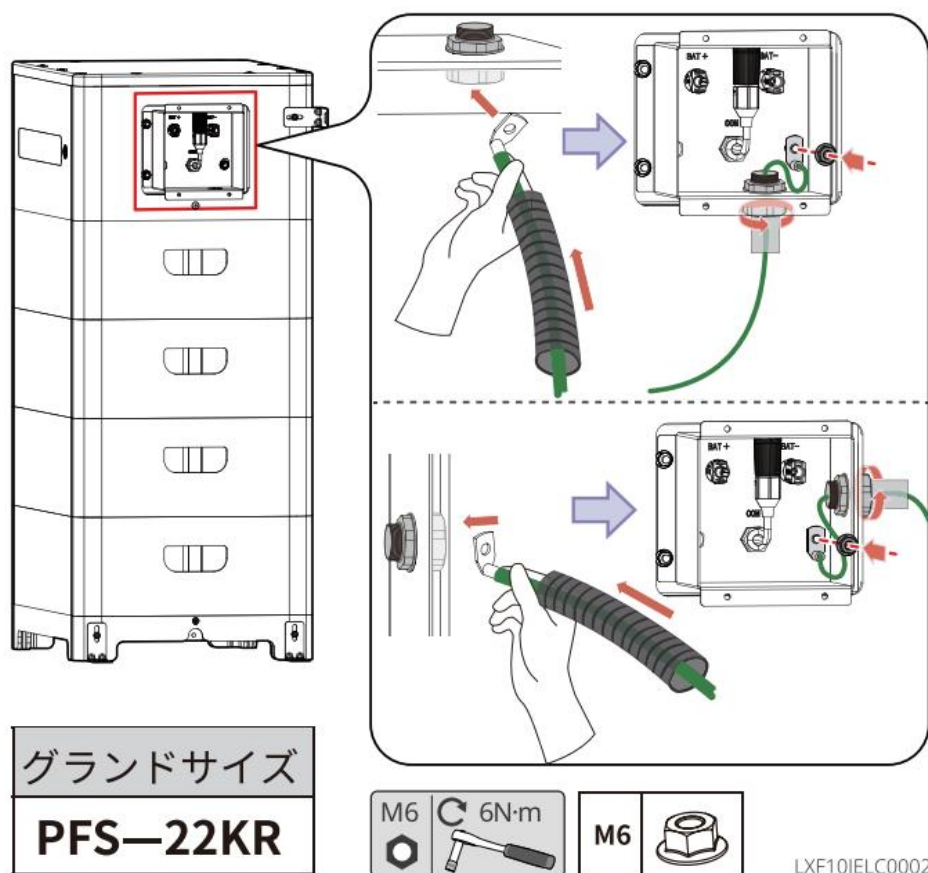


配線

1. 【蓄電池の保護接地線】をコントロールボックスに接続する場合、圧着した【蓄電池の保護接地線】(*1 本)を PF 配管に通し、対応するケーブルグランド※1を選択し、クリスタルヘッドの一端を配線穴 D に挿入します；【蓄電池の保護接地線】をベースに接続する場合は、PF 配管とケーブルグランドが必要なくなります。
2. 蓄電池に $\frac{1}{5}$ のシルクスクリーンを見つかり、ナット (M6) *1 個使用して、下図に示した材料と工具に従って配線を行ってください。
3. 配線が完了したら、ケーブルグランドを締め付け、しっかりと固定されているか確認してください。

※ 2

※ 1. PF 配管に相応するケーブルグランドの寸法は図に示されています。PF 配管の外径は 27mm です。



8.2.2.2 蓄電池とパワーコンディショナー間のパワーケーブル配線



注意

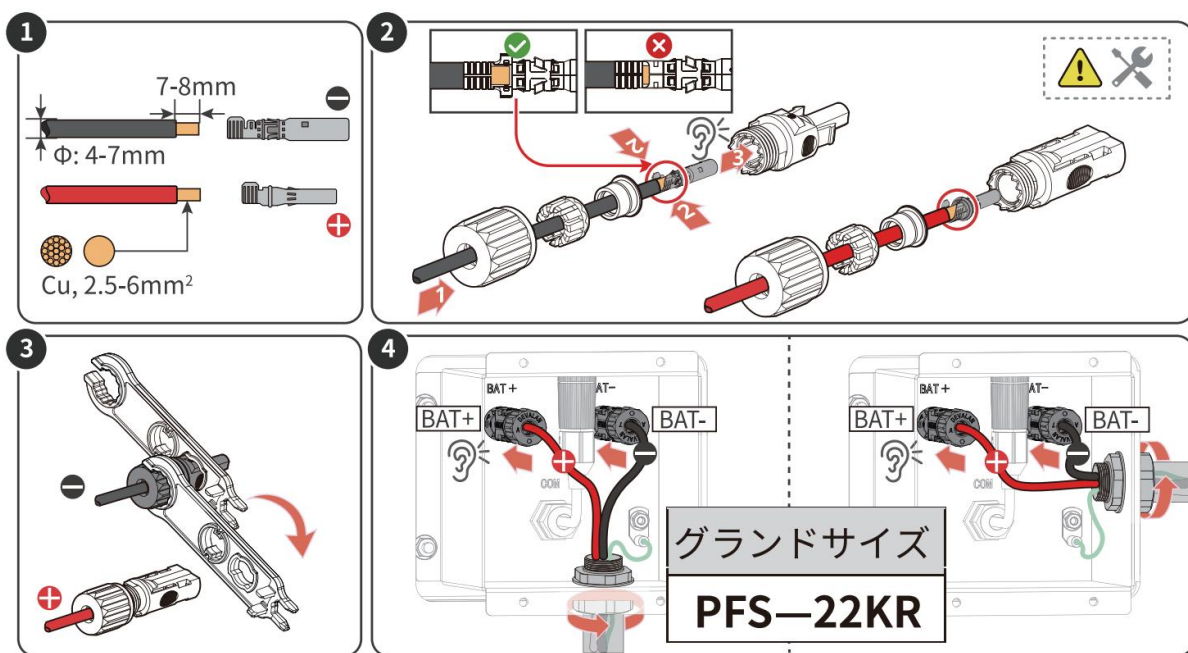
- 蓄電池システムは高圧システムです。危険を避けるため、パワーケーブルを接続する前にまず電源を切ってください。
- DC 入力ケーブルはお客様自分でご用意ください。ケーブルは屋外用の規格に準拠すること。
- バックシェルを締め付けた後、接続部に隙間がないことを確認してください。

配線剥き及び端子圧着

1. 蓄電池パワーケーブル※¹を取り出し、〈ワイヤストリッパー〉を使用してパワーケーブルの絶縁体を約 15mm 剥がし、次の[パワーコネクタ]の圧着に準備します。
2. 付属品から【パワーコネクタ】を見つけて、工具をコネクタのロック部分にはめ込み、ロックを解除させてケーブルを通します。
3. ケーブルの絶縁体が剥がした一端を【パワーコネクタ】に押し込んで、【パワーコネクタ】を再びロックしてケーブルを固定します。

4. 使用使用万用表（量程 $\leq 1100V$ ）测试组装好的【功率连接器】是否能够正常工作。マルチメータ（レンジ $\leq 1100V$ ）で、組み立てた【パワーコネクタ】が正常に動作するかテストする。

※ 1. 仕様は【ケーブル A】のパラメータにご参照ください。



LXF10JELC003

配線

1. 圧着した「蓄電池パワーケーブル」（*2本）を PF 配管に通し、対応するケーブルグランド※¹を選択し、圧着端子の一端を配線穴に差し込みます。
2. 【BAT-】、【BAT+】で書いてる端子台を見つけ、下図の手順に従って配線作業行ってください。。
3. 配線が完了したら、ケーブルグランドを締め付け、しっかりと固定されているか確認してください。

※ 1. F 配管に対応するケーブルグランドの寸法は図に示されています。PF 配管の外径は 27mm です。

8.2.2.3 蓄電池とパワーコンディショナー間の通信ケーブル配線



- 通信ケーブルを接続するときは、設備が正しい配線ポートに接続していることを確認し、信号受信に影響を与えないように、ケーブルの配線経路は干渉源や電力線などを避けてください。

パワーコンディショナー通信ケーブルの接続

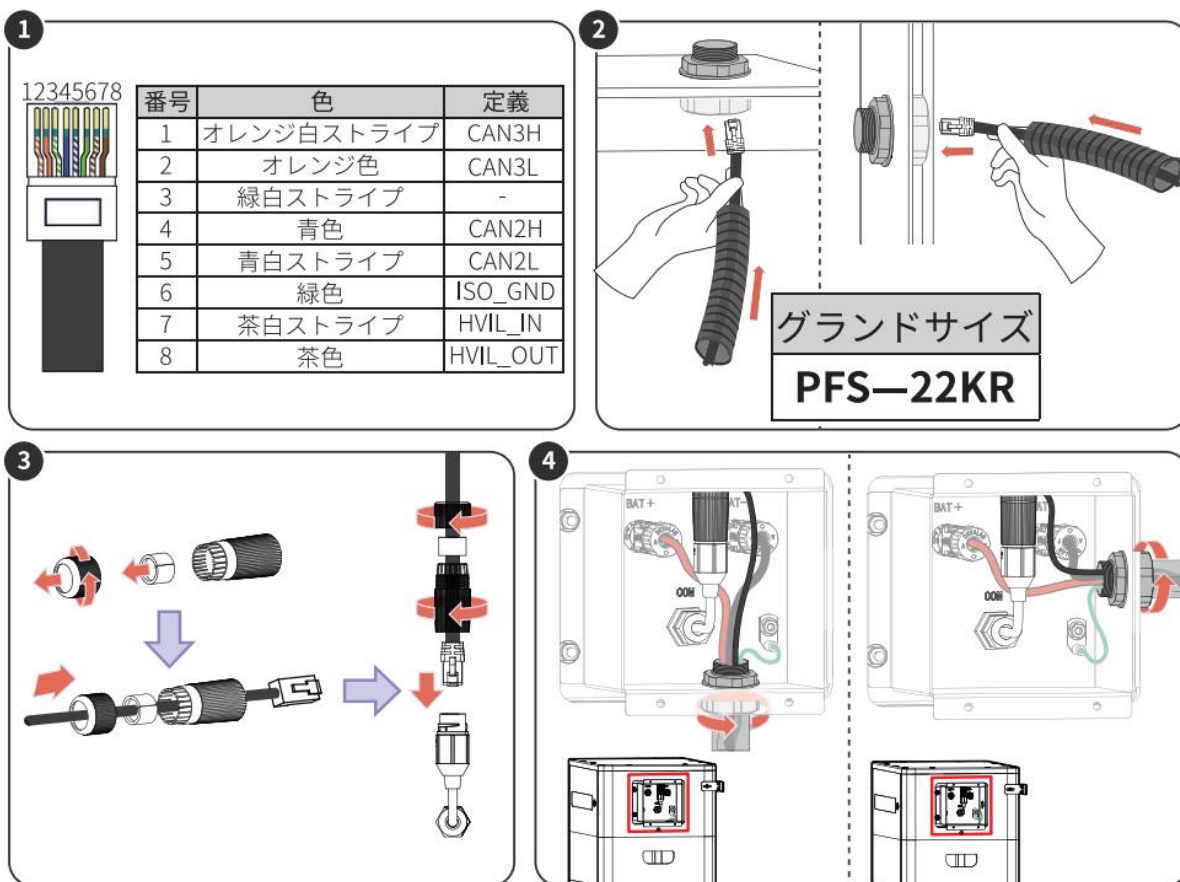
1. パワーコンディショナーの通信ケーブル※¹を取り出し、PF 配管を通してから対応するケーブル

グラウンド※² を選びます。ケーブルの圧着作業が完了されている場合は、直接ステップ 2 に進んでください。圧着されていない場合は、端子圧着工具を使用して圧着ください。

2. 圧着された【通信ケーブル】（*1 本）を、リスタルヘッドのある一端から配線穴に通します。
3. 【通信ケーブル】を【防水パーツ】に通し、防水パーツを締めます。
4. 通信ケーブルを COM で書いてるポートに接続します。接続が完了したら、ケーブルグラウンドを締め付け、しっかりと固定されていることを確認してください。

※ 1. 仕様は【ケーブル④】のパラメータにご参照ください。

※ 2. PF 配管に相応するケーブルグラウンドの寸法は図示に示され、PF 配管の外径は 27mm です。



8.3 設置と配線後の確認

8.3.1 検査項目リスト



注意

本蓄電システムの設置と配線後、システムが壊れないように、以下の項目を必ず確認してください。

No.	検査項目	検査/測定内容	結果
1	設置環境の確認	目視検査： 製品がしっかりと取り付けられていること、設置場所が操作およびメンテナンスに適していること、設置スペースが通風および放熱に適していること、設置環境が清潔で整然としていることを確認します。	
2	設置状態の確認	目視検査： 各製品が指定された方法でしっかりと締め付けられていることを確認します。	
3	各製品外観の確認	目視検査： 腐食や損傷がないことを確認します。	
4	配線・接続状態の確認	目視検査： <ul style="list-style-type: none"> ● 配線接続が正しいことを確認します。 ● 各製品の端子台のネジが緩んでいないことを確認します。 ● ケーブルが正しくコネクタに取り付けられていることを確認します。 ● ケーブルの結束が配線要件に準拠し、合理的に配置されており、損傷がないことを確認します。 ● 未使用の配線孔には防水カバーまたはプラグが取り付けられていることを確認します。 	
5	パワーコンディショナーの対地間抵抗の測定	実測検査： マルチメーターを使用して、パワーコンディショナーの接地抵抗が以下の範囲内にあることを確認します。 Cクラスの接地の許容範囲：10Ω以下	

6	蓄電池入力/出力ポートの電圧測定	<p>実測検査：</p> <p>マルチメーターを使用して、蓄電池入力/出力端子の直流電圧が以下の範囲内にあることを確認します。</p> <p>LX F9.6-H-JP：177V-212.1V</p> <p>LX F12.8-H-JP：236V-282.8V</p>	
7	系統側電圧の測定	<p>実測検査：</p> <p>U -> O：85V-110V</p> <p>W -> O：85V-110V</p>	
8	PV スtring入力電圧の測定	<p>実測検査：</p> <p>マルチメーターを使用して、PV スtring入力端子の直流電圧が以下の範囲内にあることを確認します。</p> <p>60V-450V</p>	

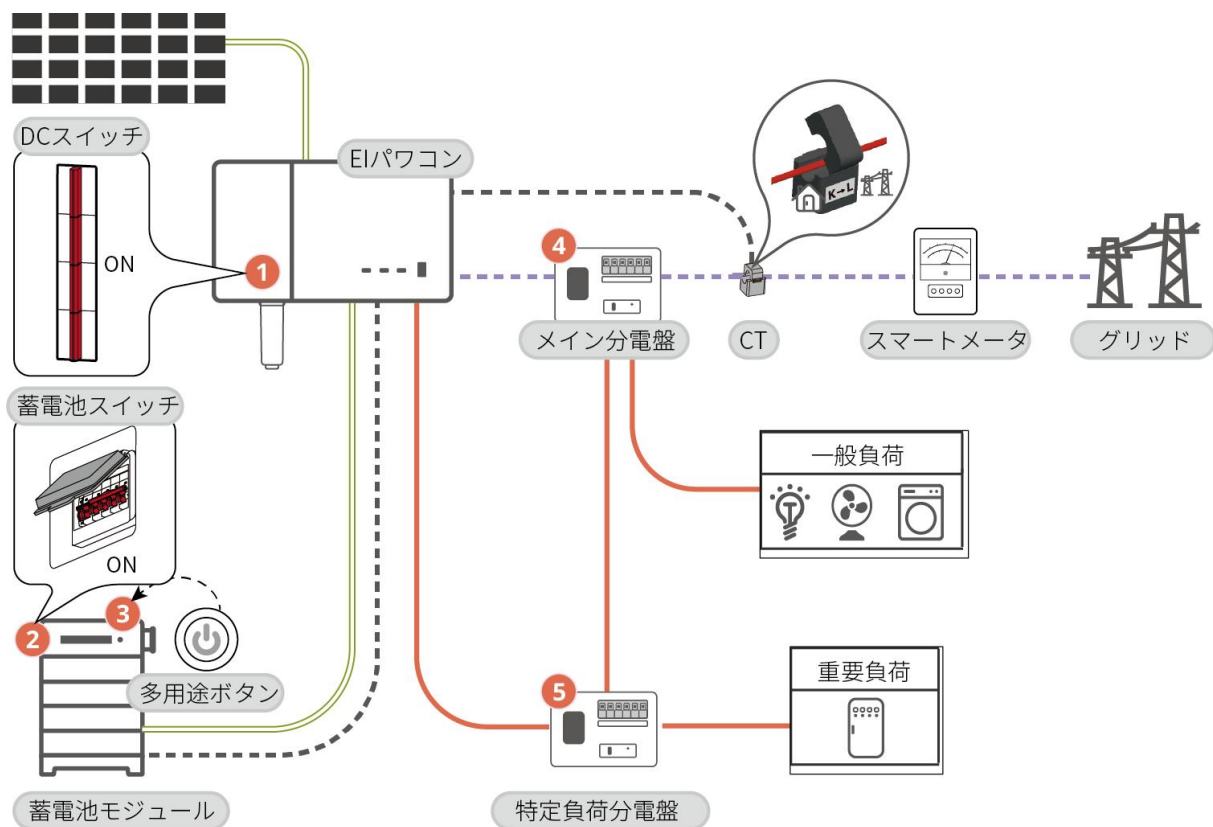
9 設備試運転

電源投入前に、各部品が以下の状態になることを確認してください。

設備	状態
パワーコンディショナーの DC スイッチ	OFF
蓄電池システムのスイッチ	OFF
主分電盤の主幹漏電ブレーカ	OFF
主分電盤の蓄電システムブレーカ主配電盤储能系統断路器	OFF
主分電盤の特定負荷ブレーカ	OFF
特定負荷配電盤手動切替ブレーカ	蓄電システム側

9.1 システムの電源投入

特定負荷配電盤付きのシステム：



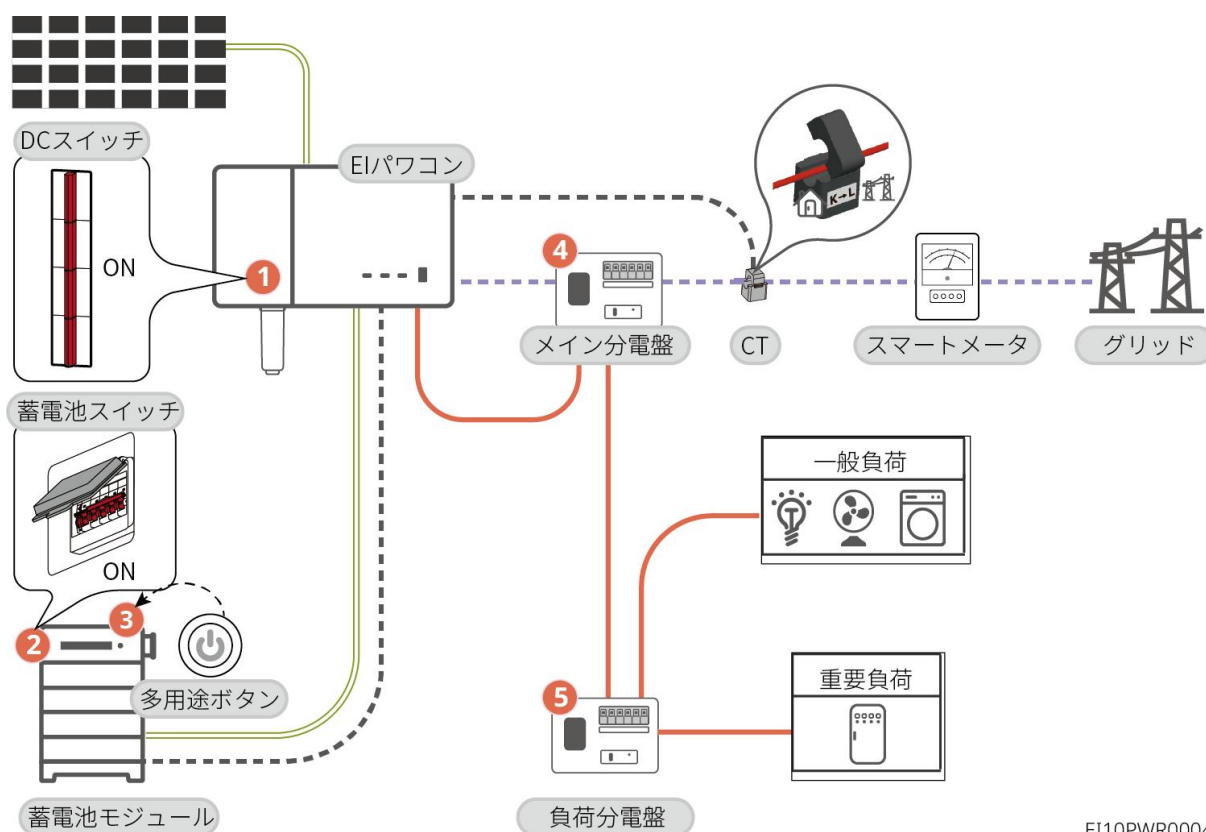
EI10PWR0001

電源投入の手順：

①->②->③->④->⑤の手順で投入してください。

1. パワーコンディショナーの DC スイッチを ON にします①。
2. 蓄電池のブレーカを ON にします②。
3. (オプション) PV 入力電圧がパワーコンディショナーの起動電圧より低い場合、5~10 秒間で蓄電池の起動ボタンを押してください③。
4. 主分電盤の AC スイッチを ON にします④。
5. 特定負荷配電盤の AC スイッチを ON にします⑤。

全負荷配電盤付きのシステム：



EI10PWR0004

電源投入の手順：

①->②->③->④->⑤の手順で投入してください。








1. パワーコンディショナーの DC スイッチを ON にします①。
2. パワーコンディショナーと蓄電池間の DC 入力スイッチを ON にします②。
3. (オプション) PV 入力電圧がパワーコンディショナーの起動電圧より低い場合、5~10 秒間で蓄電池の起動ボタンを押してください③。
4. 主分電盤の AC スイッチを ON にします④。
5. 全負荷配電盤の AC スイッチを ON にします⑤。

9.2 電源投入後のシステム運転状況の確認

- 「5.1.3 表示ランプ説明」、「5.3.2 表示ランプ説明」に基づいて、パワーコンディショナー、蓄電

池、通信モジュールの通電が正常かどうかをそれぞれ確認してください。

- 通電後にシステムが故障状態になった場合は、通電を切り、システムの設置と配線に異常がないか再度確認し、正しいことを確認した後に再度通電してください。
- 関連する検査方法は以下の内容に示されています。

パワーコンディショナー			
表示ランプ	状態	色	説明
		黄色	パワーコンディショナーは既に通電され、待機モードになっています。
		緑色	パワーコンディショナーが起動中のセルフチェックを行っています。
		緑色	パワーコンディショナーが正常に系統連系または自立運転中
		赤	自立運転出力がオーバーロード
		赤	システム故障中
		色なし	パワーコンディショナーが無通電状態になります。

蓄電池			
指示灯	状態	颜色	説明
		緑色	蓄電池が暇の状態になります。
		緑色	蓄電池が待機状態になります。
		緑色	蓄電池が動作しています。

	赤	蓄電池がアラーム中。
	赤	蓄電池が故障になっています。

通信モジュール			
指示灯	状態	颜色	説明
		青	通信モジュールが正常運転中
		色なし	パワーコンディショナーの電源が切られました。

9.3 設備試運転後の対応

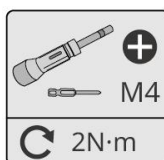
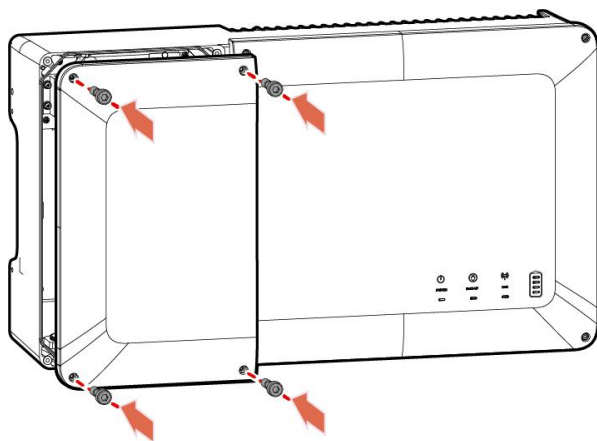


注意

蓄電システムの試運転を確認できたら、パワーコンディショナーの配線カバーと蓄電池の保護カバーを取り付け、スイッチカバーもロックしてください。

9.3.1 パワーコンディショナー配線カバーの取付

パワーコンディショナーが試運転後、配線カバーの取付をください。



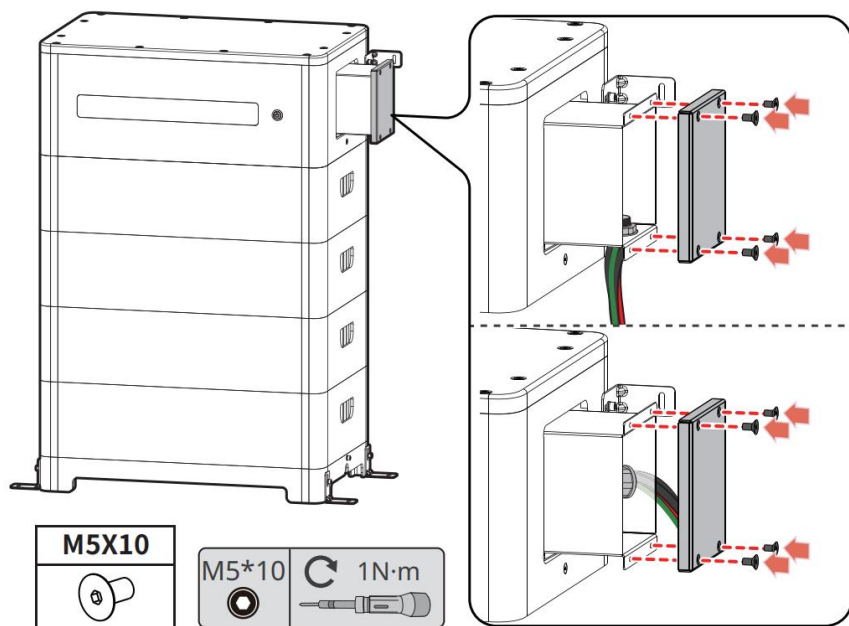
EI10INT0002

9.3.2 蓄電池保護カバーの取付



配線作業が完了後、蓄電池の保護カバーを取り付けてください。

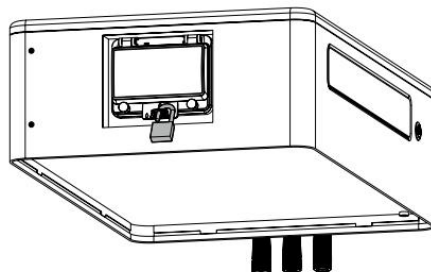
同梱品から【保護カバー】を見つけ、ネジ（M5X10）*4 を使用して【保護カバー】を配線ボックスに固定してください。



LXF10JINT0003

9.3.3 (オプション) 蓄電池のスイッチカバーの固定

(オプション) ロックを使用してスイッチカバーを施錠します。蓄電池のスイッチカバーには直径5mm のロックホールが用意されていますが、固定用ロックはお客様自分でご用意ください。

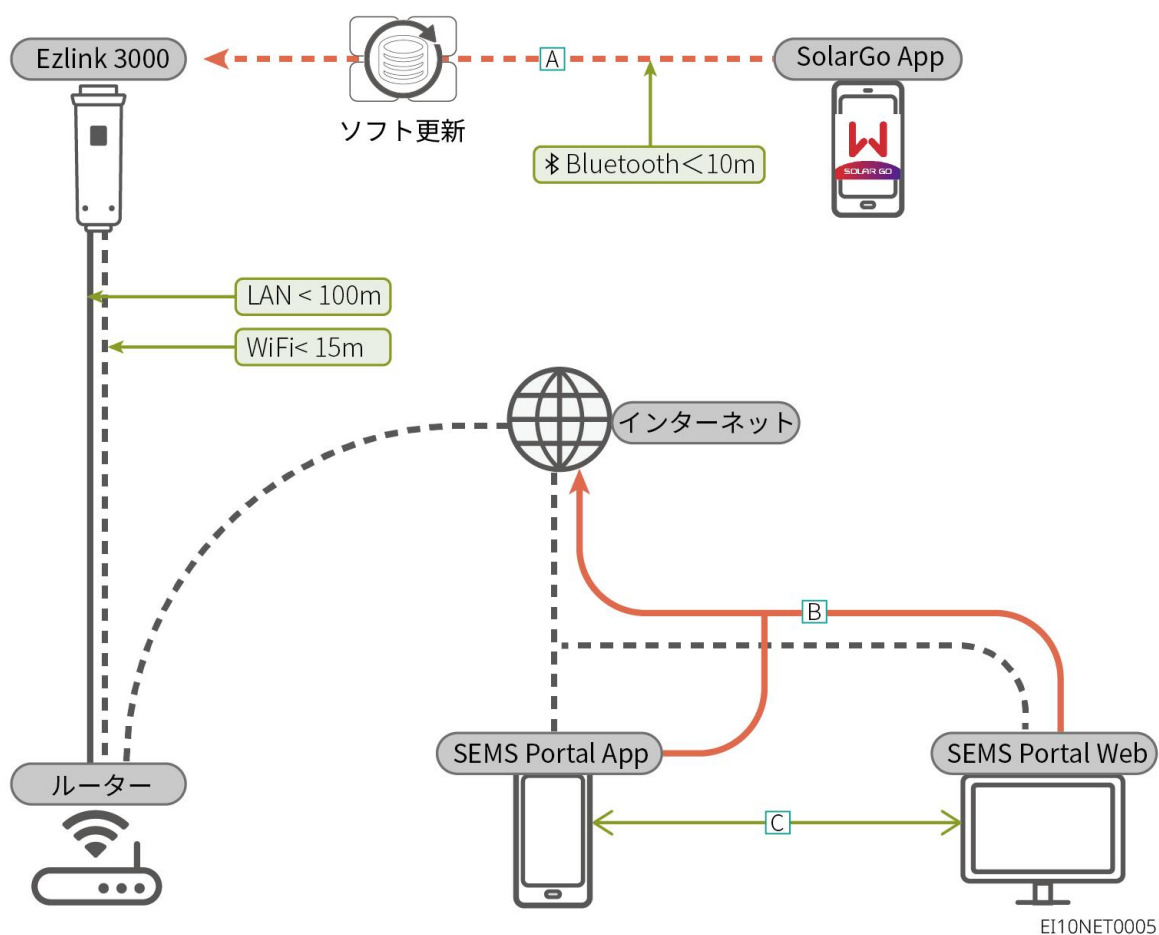


10 蓄電システムの調整とモニタリング

SolarGo アプリは、エンドユーザー、管理者、およびインストーラー向けに設計されたアプリです。ユーザーはアプリ上の操作を通じて、電気製品の基本情報、状態、パラメータをリアルタイムで確認し、電気製品に対して一定の設定や操作を行うことができます。SolarGo アプリは、GOODWE のパワーコンディショナーシリーズに対応しています。

SEMS Portal アプリと Web サイトは、パワーコンディショナー、スマートメーター、データ収集設備、充電スタンドなど、GOODWE ブランドの関連機器のモニタリングと管理に対応しています。

- SolarGo アプリ、SEMS Portal アプリ、および Web 上の操作は、製品が追加されていることを前提としています。
- SolarGo アプリ、SEMS Portal アプリ、および Web の一部の操作はエンドユーザーには公開されません。解決できない障害が発生した場合は、アフターサービスセンターまたは販売代理店に連絡してください。



注記：

A: SolarGo アプリがインストール完了後、今後にアップデートがあれば、自動的にソフトウェア更新を通知します。

B: ネットワークに接続後、システムの運用状況を確認でき、遠隔監視端末から設定を変更することができます。

C: お使いのデバイス（スマートフォンやタブレットなど）。

- ネットワーク接続を使用する際は、使用前に必ずサーバーとの通信状況を確認してください。
SolarGo アプリと Ezlink3000 を操作し、サーバーとの通信状況を確認してください。
- このシステムは、Ezlink3000 がネットワークに接続されている場合に使用できます。
- Ezlink3000 を LAN ケーブルまたは WiFi でルーターに接続し、デバイスをインターネットに接続します。
- SolarGo アプリは自動的に更新を通知します。更新後は最新バージョンで動作します。
- ソフトウェアの更新には一定の時間がかかります。更新が完了するまで、SolarGo アプリ、SEMS Portal Web、および SEMS Portal アプリを使用しないでください。
- 本製品にはルーターは付属していませんので、ユーザー自分でご用意ください。
- ネットワーク通信費およびプロバイダ料金は、ユーザー負担となります。
- Ezlink3000 がルーターのポートに正しく接続されていることを確認してください。異常がある場合は、GoodWe のアフターサービスセンターにご連絡ください。

10.1 SolarGo App、SEMS Portal のダウンロードと SEMS Portal web のログイン

10.1.1 SolarGo App のダウンロードとインストール

SolarGo アプリのインストールが完了した後、バージョンアップがある場合は、自動的にソフトウェア更新を通知します。

携帯の要件：

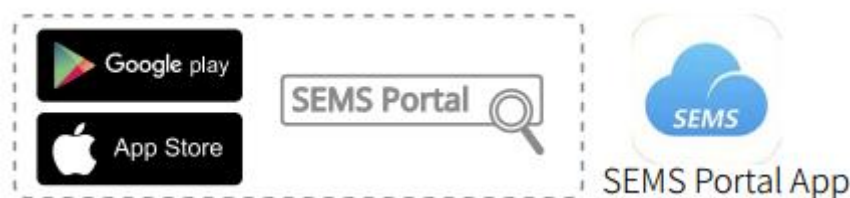
10.1.2 SEMS Portal App のダウンロードとインストール

携帯の要件：

- スマートフォンのオペレーションシステムの要件：Android 4.3 以上、iOS 9.0 以上。
- スマートフォンがネットワークブラウザをサポートし、インターネットに接続できること。
- スマートフォンが WLAN/ブルートゥース機能をサポートしていること。

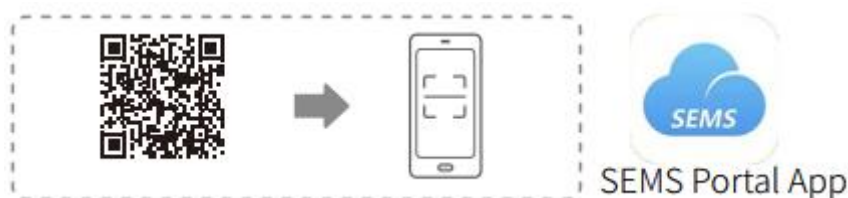
方法 1：

Google Play (Android) 或いは App Store (iOS) で SEMS Portal App を入力し検索して、ダウンロードとインストールください。

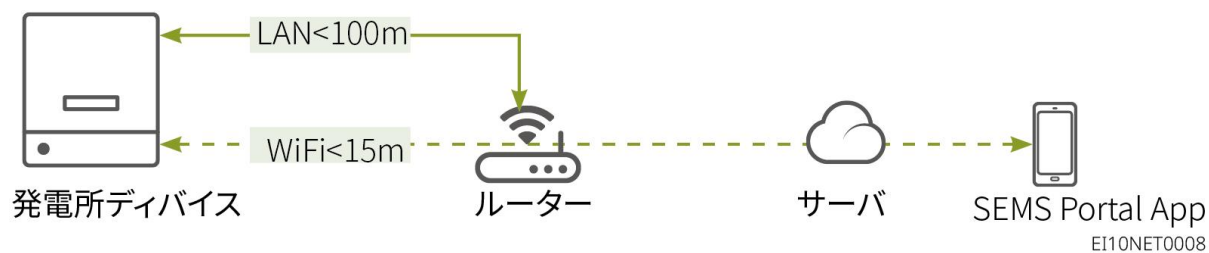


方法 2：

下記の QR コードをスキャンして、ダウンロードとインストールください。



接続方式



10.1.3 SEMS Portal Web のログイン

要件：

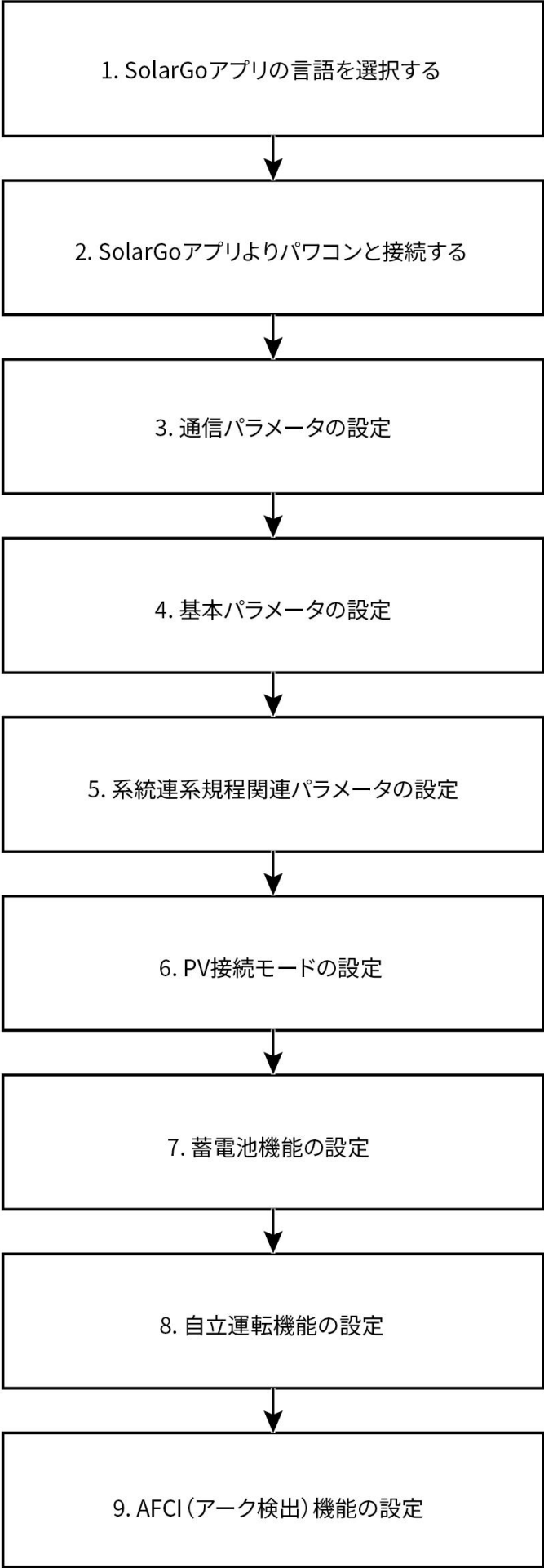
- すでにアカウントとパスワードを取得していること。
- オペレーションシステム：Windows 7 以降のバージョンを推奨。
- ブラウザ：Chrome 57 以降のバージョンを推奨。
- 解像度：1920×1080 ピクセルを推奨。

ログインの手順

- ブラウザに <https://www.semsportal.com> を入力します。
- アカウントとパスワードを入力し、SEMS Portal Web 端にログインします。

10.2 SolarGo App よりシステムパラメータの設定

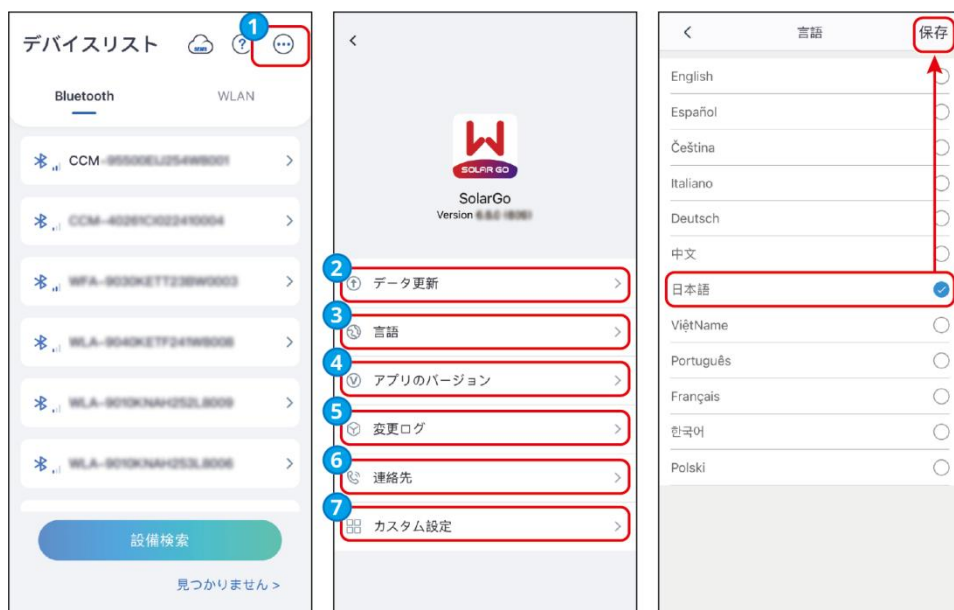
お勧めるシステム調整の手順：



10.2.1 SolarGo App ホームページの操作と接続

10.2.1.1 ホームページの操作

1. ホームページ右上のメニューバーの【その他】をクリックすると、App のバージョン番号、【データ更新】、【言語】、【アプリのバージョン】、【変更ログ】、【連絡先の詳細】、【カスタム設定】などの情報を順次確認できます。
2. 【データ更新】：インターフェースに関連するすべてのデータを再ダウンロードして更新します。
3. 【言語】：言語を切り替えた後、【保存】をクリックします。
4. 【アプリのバージョン】：バージョン更新には 2 つの方法があります：
 - ①【その他】→【バージョン更新】→【アプリストア】から。
 - ②新しいバージョンがある場合、メイン画面に「バージョン更新」の通知が表示されます。【変更ログ】：過去のバージョンの App の変更履歴を確認できます。
【連絡先の詳細】：GOODWE のアフターサービスの連絡先を取得できます。
5. 【カスタム設定】：APP に表示される温度単位を選択できます。



SLG00CON0177

10.2.1.2 パワーコンディショナーとの接続

- SolarGo App は、ネットワークに接続されているか、Bluetooth がオンになっているパワーコンディショナーなどのデバイスを自動的に検出できます。登録は不要で、ホームページで対象デバイスを見つけて変更や調整を行うことができます。対象デバイスが見つからない場合は、手動で検索して追加できます。

-
- SolarGo ホームページに表示されるデバイス名は：CCM-***であります。

Bluetooth よりパワーコンディショナーと接続する

ステップ 1： パワコンがオンにすることを確認し、通信モジュールとパワコンが正常に動作していることを確認します。

ステップ 2： SolarGo アプリのホーム画面で、Bluetooth を選択します。

ステップ 3： デバイスリストを下にスワイプするか、設備検索をタップして更新します。パワコンのシリアル番号を確認し、パワコン番号 CCM-* をタップしてログイン画面に入ります。

ステップ 4： 実際の役割に応じてアプリにログインします。

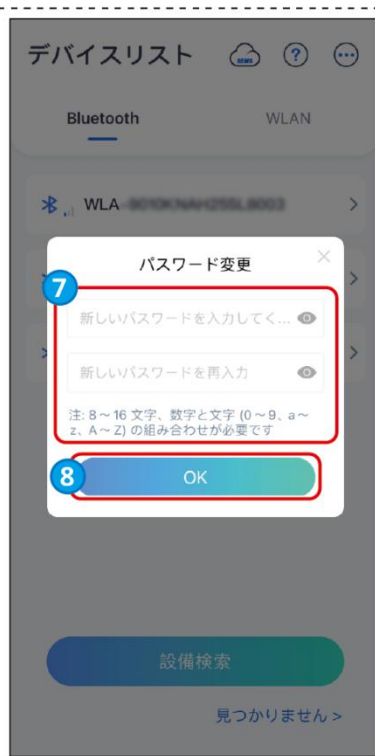
(オプション) Bluetooth で初めて設備に接続する場合は、画面の指示に従いログインパスワードを変更してください。初期ログインパスワード：1234。パスワード変更後は、再度ログインしてデバイス詳細画面に入ります。

パスワードを変更したら必ず記憶してください。忘れた場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。

初回ログイン時に必ずパスワードを変更してください。今後変更が必要な場合は、「[SolarGo ログインパスワードの変更](#)」を参照してください。

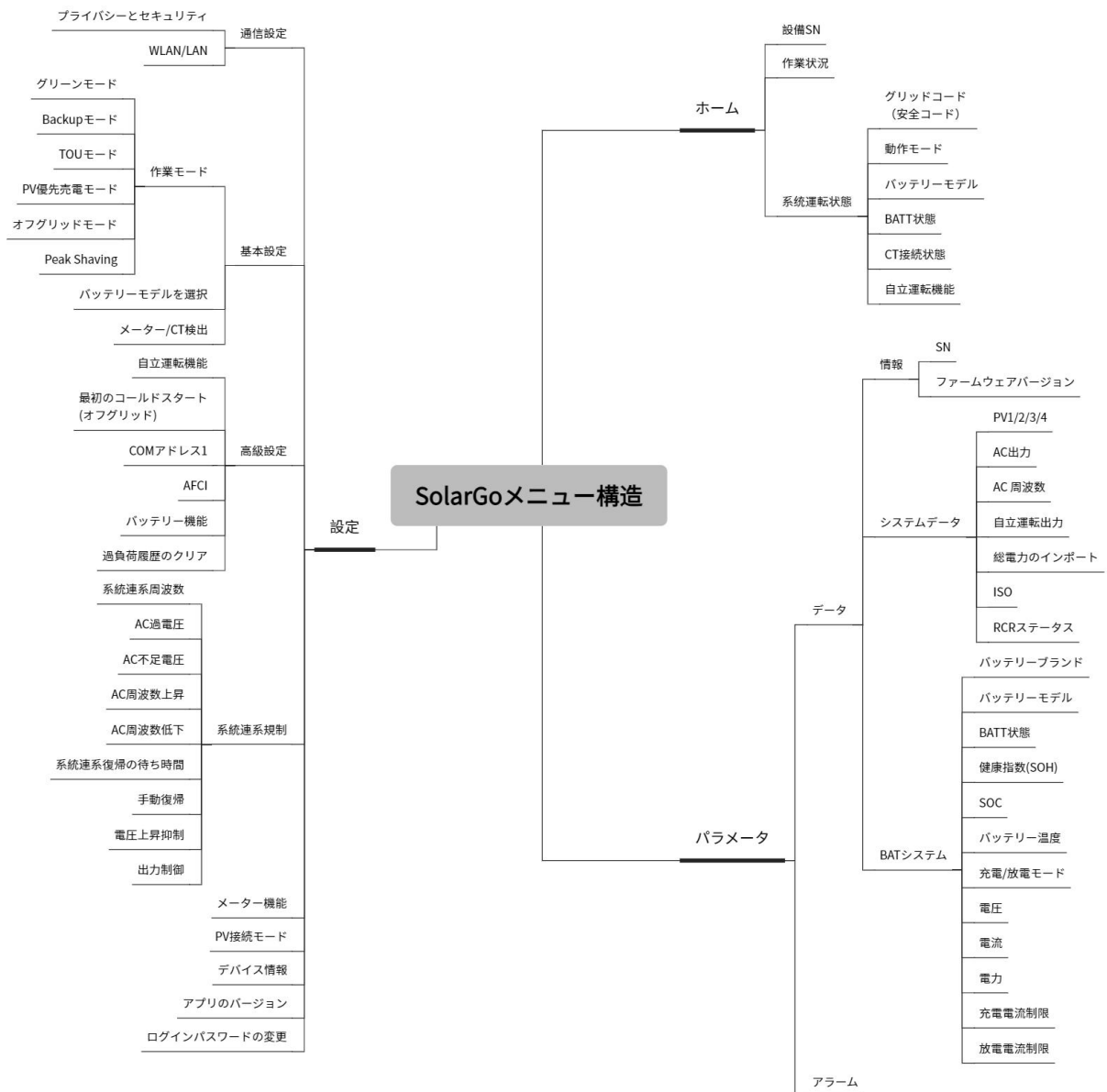
ステップ 5 (オプション)： デバイス詳細画面に入った後、画面の指示に従い Bluetooth を常時オンにしてください。この機能を有効にしない場合、今回の接続終了後に Bluetooth 信号はオフになります。

Bluetooth 常時オンの有効化・無効化については、「[プライバシーとセキュリティ設定](#)」を参照してください。



SLG00CON0160

パワーコンディショナーと接続後の画面構成



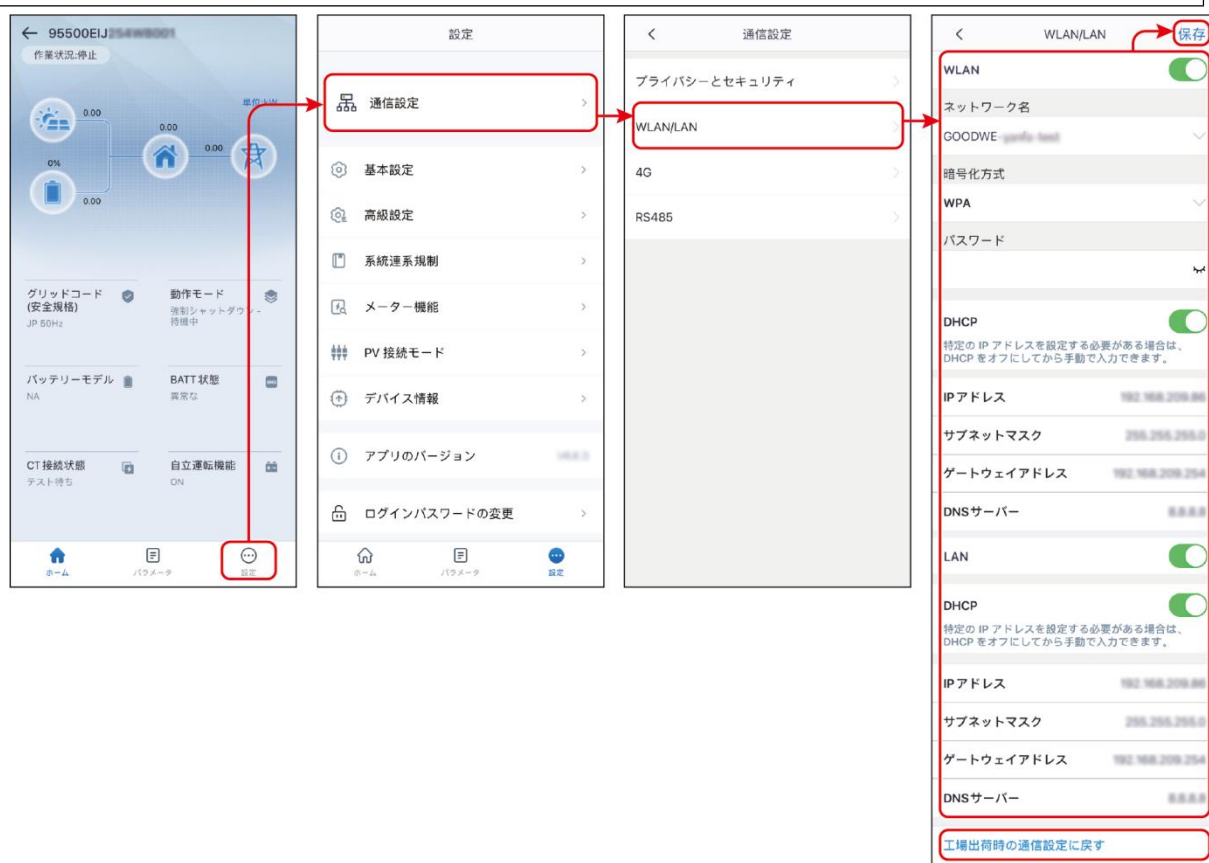
10.2.2 通信設定



注意

- Ezlink3000 は、LAN ケーブルまたは WiFi 信号を介してルーターに接続し、インターネットにアクセスすることができます。
- Ezlink3000 は動的 IP モードをサポートしており、DHCP 対応ルーターに接続すると、自動的に割り当てられた IP アドレスを取得します。購入したルーターが DHCP を対応していない場合、手動で IP を設定することができます。
- ルーターが動的 IP モードを使用している場合にのみ、DHCP 機能が有効になります。ルーターが静的モードの場合やスイッチングハブを使用している場合、DHCP モードは無効になります。

す。



SLG00CON0161

1. ホームページ > 設定 > 通信設定 > WLAN/LAN より、設定画面に入ります。
2. 実際の状況に応じて、WLAN または LAN を選択してください。
 - WIFI 通信を使用する前に、【WLAN】機能を ON にして、関連パラメータを記入してください。
 - LAN 通信を使用する前に、【LAN】機能を ON にして、関連パラメータを記入してください。
 - 【WLAN】と【LAN】両方とも有効の場合、デフォルト設定として【LAN】を優先に採用します。




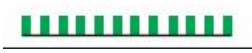

No.	パラメータ	説明
1	ネットワーク名	WLAN に適用されます。実際に選択したネットワークに基づいて、製品をルーターまたはスイッチングハブと通信させてください。
2	パスワード	WLAN に適用されます。実際に選択したネットワークのパスワードを入力して


		ください。
3	DHCP	<ul style="list-style-type: none"> ● ルーターが動的 IP モードを使用している場合は、DHCP 機能を有効にします。 ● ルーターが静的 IP モードを使用している場合やスイッチングハブを使用している場合は、DHCP 機能を無効にします。
4	IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> ● DHCP が有効になっている場合は、このパラメータを設定する必要はありません。 ● DHCP が無効になっている場合は、ルーターまたはスイッチングハブの情報に基づいて、このパラメータを設定してください。
5	サブネットマスク	
6	ゲートウェイアドレス	
7	DNS サーバ	

3. 通信パラメータの設定が完了後、【保存】ボタンをクリックしてください。





4. 通信パラメータの設定が完了後、パワーコンディショナーと Ezlink3000 の表示ランプより通信状況を確認することがかかろうです。

- パワーコンディショナー表示ランプ

表示ランプ	状態	表示ランプの色	説明
		黄色	パワーコンディショナー通信モジュールがリセット中
		黄色	パワーコンディショナーと端末が接続されていません
		緑色	端末がサーバとの通信に失敗しました
		緑色	パワーコンディショナー通信は正常

		色なし	パワーコンディショナー通信モジュールが起動していません
--	---	-----	-----------------------------

● Ezlink3000 表示ランプ

表示ランプ /アイコン	状態	表示ラ ンプの 色	説明
通信ランプ 		緑色	常時点灯 = 通信モジュールがサーバーに接続されています
			二回点滅 = 通信モジュールがルーターに接続されていません。
			四回点滅 = 通信モジュールがルーターに接続されていますが、サーバーに接続されていません。

5. ネットワーク通信を改めて設定する必要がある場合は、「WLAN/LAN」ページで「工場出荷時の通信設定に戻す」を選択してください。

10.2.3 系統連系規定の設定



注意

- 現地の法律や規制を選択し、システム周波数、交流の過電圧/電圧不足、交流の過周波数/周波数不足、系統の再連系、系統の電圧上昇抑制、出力制御などを設定してください。
- 異なるパラメータ設定より、蓄電システムの発電効率が異なりますので、現地の実際の電力使用状況に応じて設定してください。

10.2.3.1 系統連系規定のパラメータ設定

ホームページ > 設定 > 系統連系規制 より、設定画面に入ります。

アフターサービスセンターと連絡してインストーラーパスワードを取得してください。



SLG00CON0162

パラメータ		説明
系統連系周波数		蓄電システムの出力交流電周波数を設定します。。
AC 過電圧	電圧	系統側の電圧が AC 過電圧の設定値を超えた場合、蓄電システムは系統から切り離されます。 初期値 115.0V。
	時間	系統側の電圧が AC 過電圧の設定値を超えた場合、蓄電システムは設定された時間内に系統から切り離される必要があります。 初期値 1.0s。
AC 不足電圧	電圧	系統側の電圧が AC 不足電圧の設定値を下回った場合、蓄電システムは系統から切り離されます。 初期値 80.0V。
	時間	系統側の電圧が AC 不足電圧の設定値を下回った場合、蓄電システムは設定された時間内に系統から切り離される必要があります。 初期値 1.0s。
AC 周波数上昇	周波数	系統側の周波数が AC 周波数上昇の設定値を超えた場合、蓄電システムは系統から切り離されます。 50Hz エリア：初期値 50.10Hz；60Hz エリア：初期値 60.10Hz。
	時間	系統側の周波数が AC 周波数上昇の設定値を超えた場合、蓄電シ

		<p>システムは設定された時間内に系統から切り離される必要があります。</p> <p>默认 1.0s。</p>
AC 周波数低下	周波数	<p>系統側の周波数が AC 周波数低下の設定値を下回った場合、蓄電システムは系統から切り離されます。</p> <p>50Hz エリア：初期値 47.5Hz；60Hz エリア：初期値 57.0Hz。</p>
	時間	<p>系統側の周波数が AC 周波数低下の設定値を下回った場合、蓄電システムは設定された時間内に系統から切り離される必要があります。</p> <p>初期値 2.0s。</p>
系統連系復帰の待ち時間	時間	<p>蓄電システムは系統の回復を検出した後、設定された時間内に自動的に系統に再連系されます。</p> <p>初期値 300s。</p>
	手動リカバリ	<p>有効にすると、系統が復帰したときに、ホームページの「手動復帰」ボタンを使用して蓄電システムを再連系する必要があります。</p>
電圧上昇抑制	進相無効電力制御検出値	<p>系統の電圧が「進相無効電力制御検出値」を超えた場合、蓄電システムは無効電力の出力を増加させ、蓄電システムの系統接続ポートの電圧上昇を抑制します。</p> <p>初期値 107V。</p>
	出力制御検出値	<p>系統の電圧が「出力制御検出値」を超えた場合、蓄電システムは有効電力の出力を減少させ、蓄電システムの系統接続ポートの電圧上昇を抑制します。</p> <p>初期値 109V。</p>
電圧位相跳躍検出閾値		<p>受動的単独運転検出閾値を設定します。</p> <p>初期値 6.0°。</p>
並列時許周波数		<p>储能系统输出频率大于额定频率加并网运行频率时，储能系统不允许并网；已并网运行情况下，不会退出电网。パワコン出力周波数が「並列時許周波数+定格周波数」を超える場合、パワコンは連系できません。すでに連系運転中の場合は、系統から解列されません</p> <p>50Hz エリア：初期値 0.10Hz，許容周波数上限値 0.10Hz+50Hz；</p>

60Hz エリア :初期値 0.10Hz, 許容周波数上限値 0.10Hz+60Hz。

10.2.3.2 出力制御の設定

ホームページ > 設定 > 系統連系規制 > 出力制御より, 設定画面に入ります。

出力制御

出力制御エリア
なし

サーバアドレス

発電所ID
IDをご記入ください

アクセス状態 NA

アクセスタイム 1970-01-01 09:00:00

出力制御時間 5min

太陽電池パネル容量 5500 5500
範囲[0,600000]W

余剰買取

余剰電力の購入を有効にした場合にのみ、制御方式を変更できます

余剰電力購入の制御方式
インバーター出力ポートを制御

系統連系ポートを制御

出力上限 0%

サーバー証明書でアクセスする
 はい いいえ

今の時刻 2025-08-12 16:48:50

サーバーへの接続テスト

SLG00CON0163

No.	パラメータ	説明
1	出力制御	<p>この機能の使用は選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">● この機能を使用する場合は、実際の使用シーンに応じて以下のパラメータを設定してください。● この機能を使用しない場合は、以下のパラメータを設定する必要はありません。

2	出力制御エリア	<p>请根据实际连接区域选择。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● なし ● 九州電力 ● 中部電力 ● 四国電力 ● 中国電力 ● kansai-td 関西電力 ● rikuden 北陸電力 ● tepco 東京電力 ● 東北電力 ● 北海道電力 ● 沖縄
3	サーバアドレス	【出力制御エリア】を選択すると、そのエリアの電力会社の【サーバアドレス】が自動的に入力されます。
4	発電所 ID	電力会社から提供されます。
5	アクセス状態	<p>蓄電システムと電力会社サーバーの最近の接続状態。</p> <p>【サーバーへの接続テスト】ボタンをクリックして、蓄電システムと電力会社サーバーの接続状態をテストできます。</p>
6	アクセスタイム	蓄電システムと電力会社サーバーの接続状態をテストできます
7	出力制御時間	蓄電システムが定格出力から出力停止までかかる時間。
8	太陽光パネルパネル容量	蓄電システムに接続されている全ての PV パネルの出力。
9	余剰買取	本機能を有効にすると、蓄電システムの発電出力が負荷に使用された後、余剰電力を電力網に売電できます。

	インバーター出力 ポートを制御	逆変器輸出最大功率为当前负载值和余电购买的设置值之间取较大值。 パワコンの出力最大電力は、現在負荷電力と余剰買取設定電力のうち大きい方が適用されます。
	系統連系ポートを 制御	余电购买设置值为当前电表连接处（并网口）的最大允许功率。余剰買取電力は、現在の電力計接続部（連系ポイント）の最大許容電力
10	出力上限	蓄電システムの売電量と定格出力の比率。
11	ルーター証明書で アクセスする	<ul style="list-style-type: none"> ● はい：有効にすると、蓄電システムは接続された電力会社サーバーのアドレスが公式の正しいアドレスであるかどうかを検出します。 ● いいえ：無効にします。蓄電システムは接続された電力会社サーバーのアドレスが公式の正しいアドレスであるかどうかを検出しません。
12	今の時刻	蓄電システムの現在の時間を表示します。
13	サーバーへの接続 テスト	このボタンをクリックすると、蓄電システムと電力会社サーバーの接続状態をテストできます。

10.2.4 システムの設定



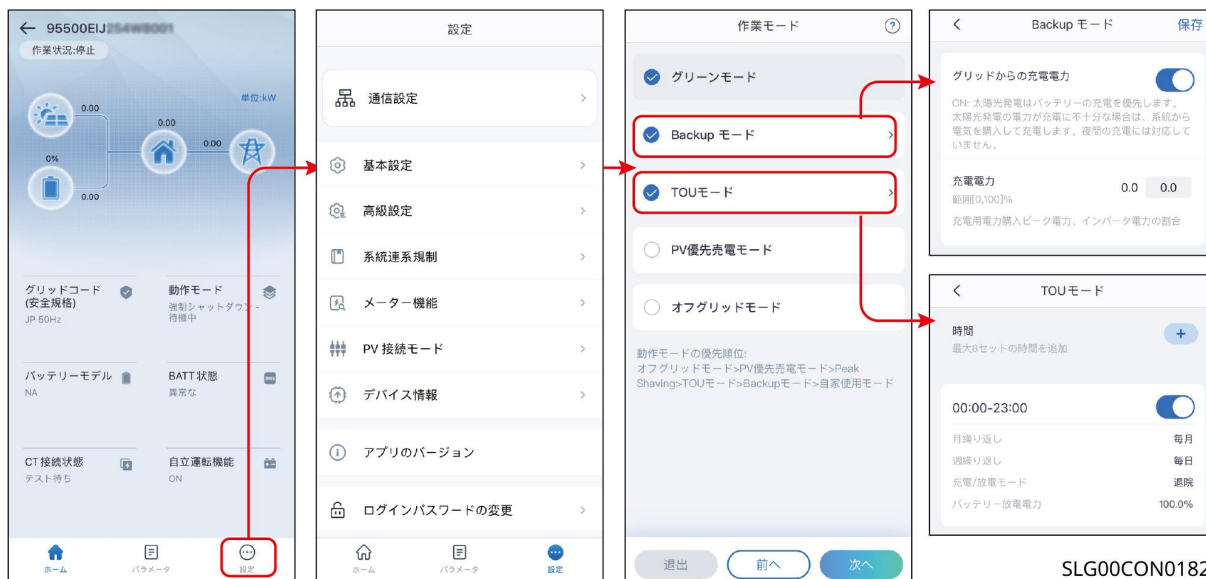
注意

動作モードの違いより、蓄電システムの発電効率が異なります。現地実際の電気消費量より設定してください。

10.2.4.1 運転モードの設定

ホームページ > 設定 > 基本設定 > 作業モード > グリーンモードの順番で設定します。

運転モードを選択し、対応するパラメータ値を設定する。



SLG00CON0182

パラメータ	説明
グリーンモード	グリーンモード : 運転モードがグリーンモードに設定される場合、グリーンモードの基に、安心モード、TOU モード同時に有効することが可能です。パワーコンディショナーが自動的に動作モードを選択します。優先順位は【オフグリッドモード】>【TOU モード】>【Back up モード】>【PV 優先売電モード】>【グリーンモード】。
Backup モード	
グリッドからの充電電力	この機能を有効にすると、電力会社から電気を購入して蓄電池に充電することを許可します。
充電電力	買電時の出力とパワーコンディショナーの定格出力の比。
TOU モード	
時間	蓄電池は設定された充放電モードおよび定格出力に基づいて充電または放電を行います。
充電/放電モード	実際のニーズに応じて、充電または放電に設定します。
充電カットオフ SOC	蓄電池の電量が設定された SOC に達した後、充電を停止します。
定格出力	充電または放電時の出力は、パワーコンディショナーの定格出力に対するパーセンテージです。

PV 優先売電モード：PV 発電が負荷使用を満した後、余剰電力は優先的に系統へ売電されます。

オフグリッドモード：蓄電池システムは自立運転に対応しています。

10.2.4.2 蓄電池の型式の選択

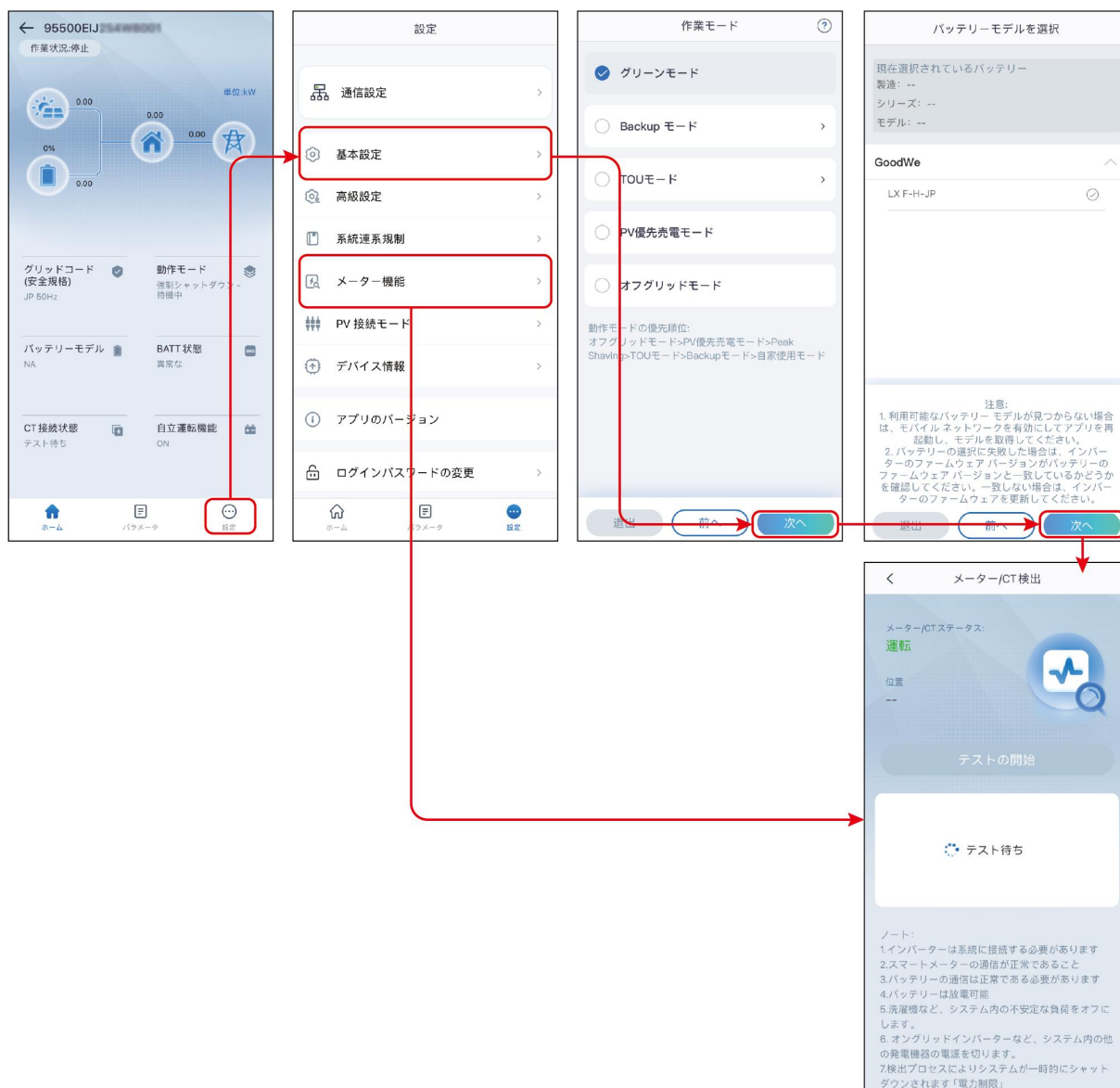
1. ホームページ > 設定 > 基本設定 > 次へより設定してください。
2. 蓄電池の型式を選択します。



SLG00CON0165

10.2.4.3 進行メーター/CT 検出

1. ホームページ > 設定 > 基本設定 > 次へ > 下一步 又は ホームページ > 設定 > メーター/CT 検出より設定してください。
2. 【メーター/CT 検出】を行うかを選択してください。



SLG00CON0166

10.2.5 PV 接続モードの設定

1. ホームページ > 設定 > PV 接続モードより設定してください。
2. 太陽光パネルの実際接続状態に応じてモードを選択してください。



SLG00CON0167

パラメータ	説明
独立接続	PV スtringとパワーコンディショナーの MPPT ポートは一對一で接続されます。
一部並列接続	一つの PV スtringが複数の MPPT ポートと接続し、他のStringも他の MPPT ポートに接続されています。
パラレル接続	PV スtringがパワーコンディショナーの MPPT ポートと接続する時、一つの PV スtringが複数の MPPT ポートと接続します。

10.2.6 蓄電池の機能設定

1. ホームページ > 設定 > 高級設定 > バッテリー機能より設定してください。
2. 実際のニーズに応じて、【SOC 保護】機能の ON/OFF を選択してください。



SLG00CON0168

パラメータ	説明
SOC 保護	機能を ON にすると、蓄電池電量が設定された放電深度より低い場合、蓄電池の保護機能が動作し、蓄電池が放電できなくなります。
放電深度 (オングリッド)	パワーコンディショナーが系統連系或いは自立運転する時、最大放電量と蓄電池容量の比。
放電深度 (オフグリッド)	
即時充電	オン：一度だけ有効です。蓄電池はすぐに買電充電されます。実際のニーズに応じて開始または停止を選択してください。
充電停止 SOC	即時充電有効化をオンにする時、蓄電池 SOC が充電上限 SOC に達すると蓄電池の充電が停止します。
即時充電パワー	即時充電をオンにする時、充電パワーはパワコン定格出力のパーセンテージになります。 例えば、定格出力が 10kW のパワコンの場合、60 に設定すると充電パワーは 6kW になります。
始める	充電を直ちに開始する。

停止

充電を直ちに停止する

10.2.7 自立運転機能の設定

自立運転機能の設定より、停電時に蓄電池が放電して、自立運転ポートと繋がる負荷へ電力を供給することができます。

1. ホームページ > 設定 > 高級設定 > 自立運転機能設定してください。
2. 【自立運転機能】機能が ON にすると、最初のコールドスタート機能の ON/OFF を選択できます。

【最初のコールドスタート】機能は一回のみに使用できます。本機能が有効になると、蓄電池や P V を利用して、自立運転の予備電源として出力できます。



SLG00CON0169

10.2.8 アーク検出機能の設定

1. ホームページ > 設定 > 高級設定 > A F C I より設定してください。
2. 実際のニーズに応じて、A F C I テストを行います。



SLG00CON0170

パラメータ	説明
DC AFCI 検出	実際のニーズに応じて、パワーコンディショナーのAFCI機能をON/OFFにしてください。
AFCI テストのステータス	AFCI テストの状態を表します。 例えば未検出、検出失敗など。
AFCI アラームのクリア	アーク検出アラーム履歴をクリアします。 パワーコンディショナーが24時間以内にアークを5回未満で検出した場合、警告は自動的にクリアされます。24時間以内に5回目のアーク故障が発生した後、パワーコンディショナーが停止されます。パワーコンディショナーを再起動するために手動でAFCI故障警告をクリアする必要があります。
診断	セルフチェックをクリックして、パワーコンディショナーのアーク検出機能が正常に運転できるかを検査することが出来ます。

10.2.9 通信アドレスの設定



- 第三者の設備と接続する場合のみ、パワーコンディショナーの通信アドレスを設定する必要があります。
- 第三者の設備と接続しない場合は、この設定を変更する必要がありません。

1. ホームページ > 設定 > 高級設定 > 通信アドレス 1 より設定画面に入れます。
2. 実際の接続状況に応じて通信アドレスを設定してください。



SLG00CON0171

10.2.10 プライバシーとセキュリティ設定

実際のニーズに応じて、以下の機能を有効にするかどうかを選択してください。

ステップ 1: ホームページ > 設定 > 通信設定 > プライバシーとセキュリティ より設定画面に入ります。

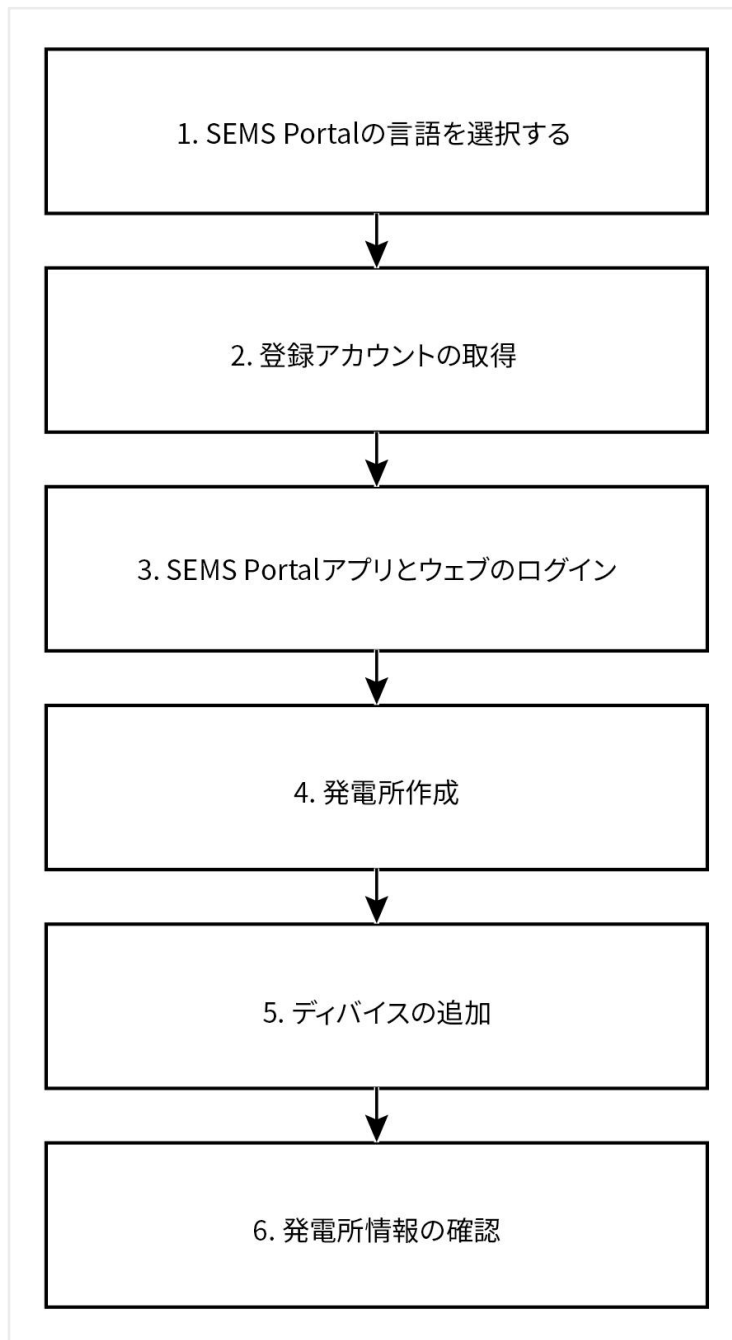
ステップ 2: 実際のニーズに応じて、該当する機能を有効にします。



SLG00CON0186

10.3 SEMS Portal よりの発電所モニタリング

以下の流れで SEMS Portal より発電所をモニタリングすることを勧めます。



10.3.1 SEMS Portal App 言語の選択

SEMS Portal App

SEMS Portal を操作する前に、まず使い慣れた言語を選択してください。

「SEMS ポータルアプリ」で次の順序でタップします。

1. 右上にある言語を変更するボタンを見つけてください。

2. 使い慣れた言語を見つけて、タップして切り替えます。

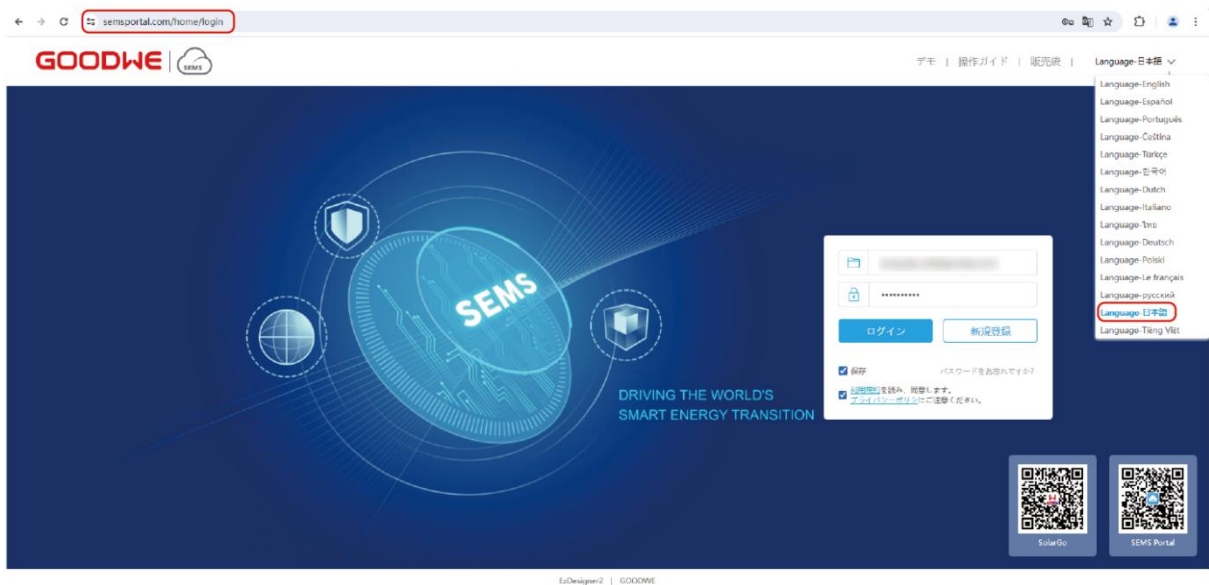


SEMS Portal Web

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

<https://www.semsportal.com>

2. 状況に応じて言語を選択してください。



10.3.2 获取登录账号

SEMS Portal はインストーラーに対して三つのアカウント種類をサポートしており、アカウ

ントの種類ごとに操作権限が異なります。具体的には以下の通りです：

账户类型	权限说明	账号获取方式
ブラウザ	管理者または技術者アカウント下で作成されたすべての発電所の発電情報や機器の状態を閲覧できます。	管理者または技術者アカウントで新規作成できます。
技術者	管理者または技術者アカウント下で作成されたすべての発電所の発電情報や機器の状態を閲覧し、発電所情報の編集や発電所データの閲覧などができます。	管理者アカウントで新規作成できます。
管理者	自分のアカウント下のすべての発電所の発電情報や機器の状態を閲覧し、発電所情報の編集や発電所データの閲覧、組織情報の管理などができます。	SEMS Portal Web 画面の新規登録または GOODWE アフターサービスセンターと連絡し取得してください。

10.3.2.1 管理者アカウント（インストーラーのみ）

方法 1：SEMS Portal Web 新規登録

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

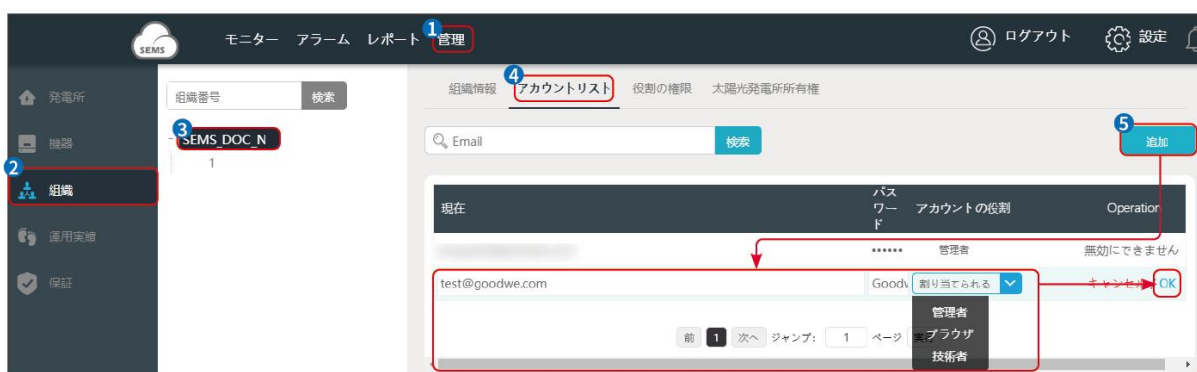
<https://www.semsportal.com>

2. 登録画面で【新規登録】をクリックしてください。
3. 新規登録の画面で【インストーラーアカウントを取得するにはここをクリックしてください】をクリックし、登録アドレス <https://www.semsportal.com/Home/InstallerOpenRegistration> をクリックし、インストーラーの新規登録に入ります。
4. データ保護声明をよくお読みいただき、実際の状況に応じて登録情報を記入し、登録を完了してください。



方法 2：既存アカウントでの管理者追加

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。
<https://www.semsportal.com>
2. 既存の管理者アカウントでログインします。
3. 管理 > 組織 > アカ운드리スト よりアカウントの管理画面に入り、【追加】ボタンをクリックします。
4. 新規アカウントの情報を入力し、【管理者】を選択して【OK】をクリックしてください。



5. 新規アカウントが作成後、その新規アカウントに該当するメールアドレスへ初期パスワードに関するメールを送信し、そこに記入するパスワードで初回登録ができます。その後パスワードの変更を忘れないでください。



方法 3：GOODWE のアフターサービスセンターと連絡して取得する。

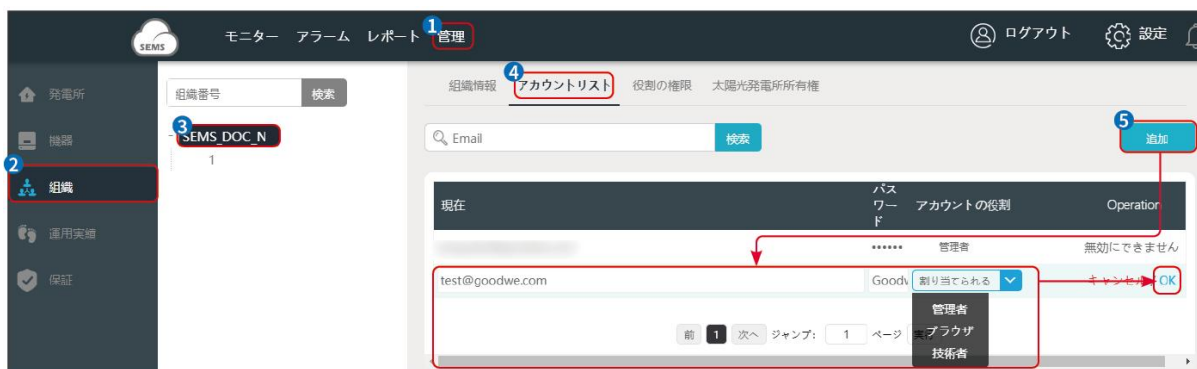
方法1と方法2のどちらもお役に立てない場合は、アフターサービスセンターにお問い合わせいただき、管理者アカウントを取得してください。

10.3.2.2 技術者、ブラウザアカウント（インストーラーのみ）

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

<https://www.semsportal.com>

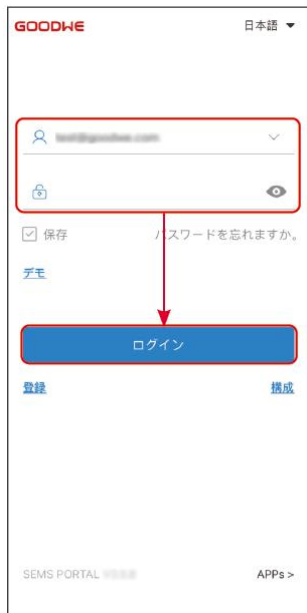
2. 管理者アカウントでログインします。
3. 管理 > 組織 > アカウントリストよりアカウントの管理画面に入ります。
4. 新規アカウントの情報を入力し，【ブラウザ】又は【技術者】を選択して【OK】をクリックしてください。



10.3.3 SEMS Portal のログイン

10.3.3.1 SEMS Portal App のログイン

SEMS Portal App を開けて、アカウントとパスワードを入力してログインします。



10.3.3.2 SEMS Portal Web 登録

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

<https://www.semsportal.com>

2. , アカウントとパスワードを入力し、【利用規約を読み、同意します。プライバシーポリシーにご注意ください。】をよく読んで、同意ボタンをクリックしてください。

3. 【ログイン】をクリックします。

10.3.4 発電所の作成

方法1：SEMS Portal App より発電所作成

1. SEMS Portal App を開けて、管理者又は技術者のアカウントでログインします。
2. 【モニター】のページで左上の【+】または【設定】画面で【新しい発電所】をクリックしてください。
3. 発電所の情報を記入し、一番下の【実行】ボタンをクリックしてください。
4. デバイスを追加してデバイスの種類を選択してください。
5. デバイスのSNコードをスキャンして、【デバイスを追加】をクリックしてください。



方法 2：SEMS Portal Web より発電所作成

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

<https://www.semsportal.com>

2. 発電所所有者、管理者または技術者アカウントでログインします。

3. **管理 > 発電所 > 作成する**の順番でクリックします。

4. 発電所の情報を入力して【登録】をクリックします。

5. 出てきたダイアログボックスに追加ボタンをクリックしデバイスの追加を行います。

6. デバイスの種類を【パワーコンディショナー】に選択してください。

7. 【次】を選択します。
8. デバイスの SN 番号などの情報を記入します。
9. 【デバイスを追加】をクリックします。

SEMS モニター レポート **1** 管理 ログアウト

2 発電所

住所: Global 名前/ SN /メールアドレスを入力して 検索 3 作成できる

名前	分類	発電容量	作成日	操作
データなし				

1 次へ ショップ: 1 ページ 実行

太陽光発電プラントC430

所有権:

Email 操作

訪問者: 追加

Email 操作

「追加」をクリックして、関連事項を追加してください。

発電所情報:

名前: 太陽光発電プラントC430 発電容量: 発電容量 kW

分類: 住宅用 招請番号: 招請番号
販売店コードがわからない場合は空白のままにしてください。

売電単価: 0.22 USD/kWh ソーラーパネル枚数: 0

住所: 住所 詳細な住所: 詳細な住所

プロフィールを有効にする: 有効にする 無効にする 作成日: 06.22.2024

4 登録

注意

発電所が作成されました。発電所に情報を追加してください。

5 キャンセル 追加

6 デバイスの種類を選択

7 次

インバーター マイクロインバーター データ・ロガー

8 新しいインバーター

名前: 機器名を入力してください

SN: S/N番号を入力してください

チェックコード: チェックコードを入力してください

9 キャンセル 実行

10.3.5 発電所情報の確認

10.3.6.1 発電所概要の確認

方法 1 : SEMS Portal App より確認

1. SEMS Portal App を開けて、任意のアカウントでログインします。
2. モニターのページで本アカウントに所属するすべての発電所の運転状況を確認することができます。



No.	説明
1	表示内容は、そのアカウントに所属するすべての発電所の運転状況の概要です。
2	表示内容は、一つの発電所の運転状況です。発電所の名前をクリックすると、発電所の詳細情報（発電所の名前、発電所の位置、発電所の出力、発電所の容量、発電所の本日発電量、発電所の今月発電量、発電所の総発電量）を確認できます。

方法 2 : SEMS Portal Web より確認

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

<https://www.semsportal.com>

2. 任意のアカウントでログインし、該当アカウントに所属するすべての発電所の運転状況を確認できます。



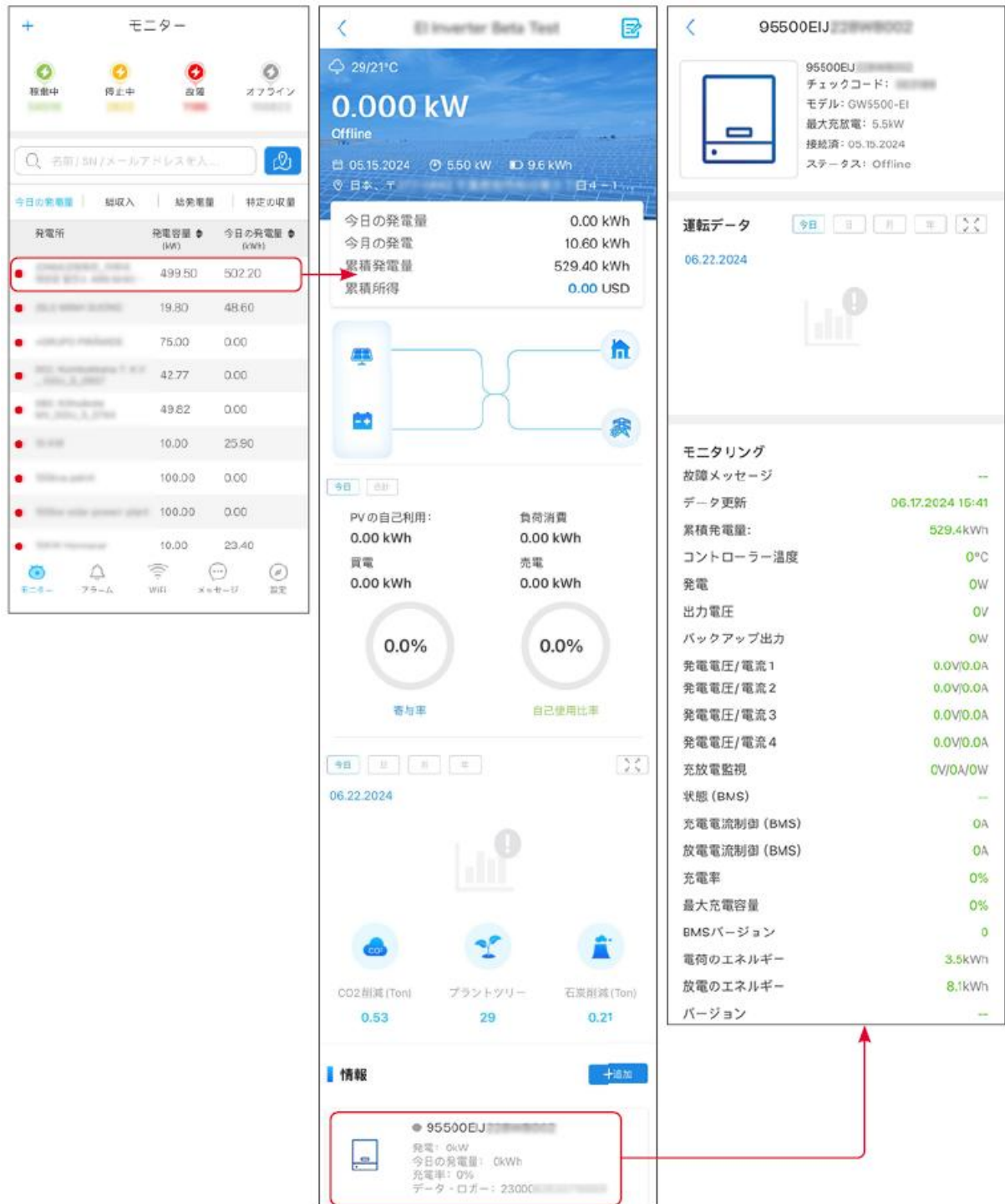
No.	説明
1	表示内容は、アカウント内の全発電所の稼働情報をまとめたものです。例えば今月の新規発電所数と発電量統計、本日の発電量と収益統計、発電所の総発電量と収入の統計。
2	表示内容は発電所単体の稼働情報です。発電所名をクリックすると、発電所名、発電所位置、発電所出力、発電所容量、発電所換算時間、今日の発電量今月の発電量と発電所の総発電量などの発電所の詳細情報を照会できます。

10.3.6.2 発電所詳細情報の確認

方法 1：SEMS Portal App より確認

1. SEMS Portal App を開けて、任意のアカウントでログインします。
2. 【モニター】のページで本アカウントに所属するすべての発電所の運転状況を確認することができます。
3. (オプション) 複数の発電所がある場合は、組織コード、発電所名、パワーコンディショナーの SN 番号、所有者の電子メールなどの情報を検索して発電所をすばやく見つけることができます。また、地図アイコンをクリックして、発電所の位置に基づいて発電所を迅速に見つけることができます。
4. 発電所一覧の発電所名をクリックすると、発電所の詳細情報が表示されます。

*注記: 異なるデバイスの表示内容も異なりますので、実際の画面に準じてください。



方法 2 : SEMS Portal Web より確認

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

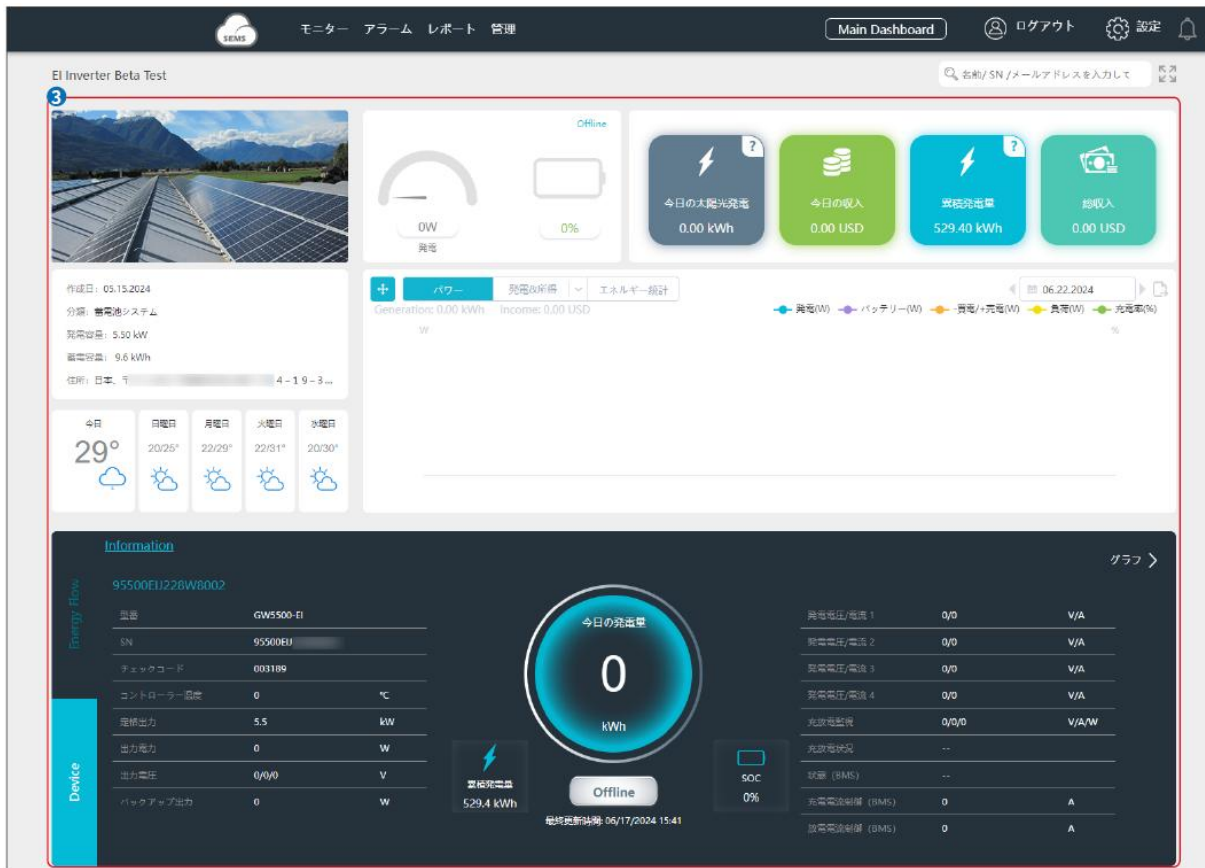
<https://www.semsportal.com>

2. 任意のアカウントでログインし、該当アカウントに所属するすべての発電所の運転状況を確認でき

ます。

3. 複数の発電所がある場合は、組織コード、発電所名、パワーコンディショナーの SN 番号、所有者の電子メールなどの情報を検索して発電所をすばやく見つけることができます。

4. 発電所一覧の発電所名をクリックすると、発電所の詳細情報が表示されます。




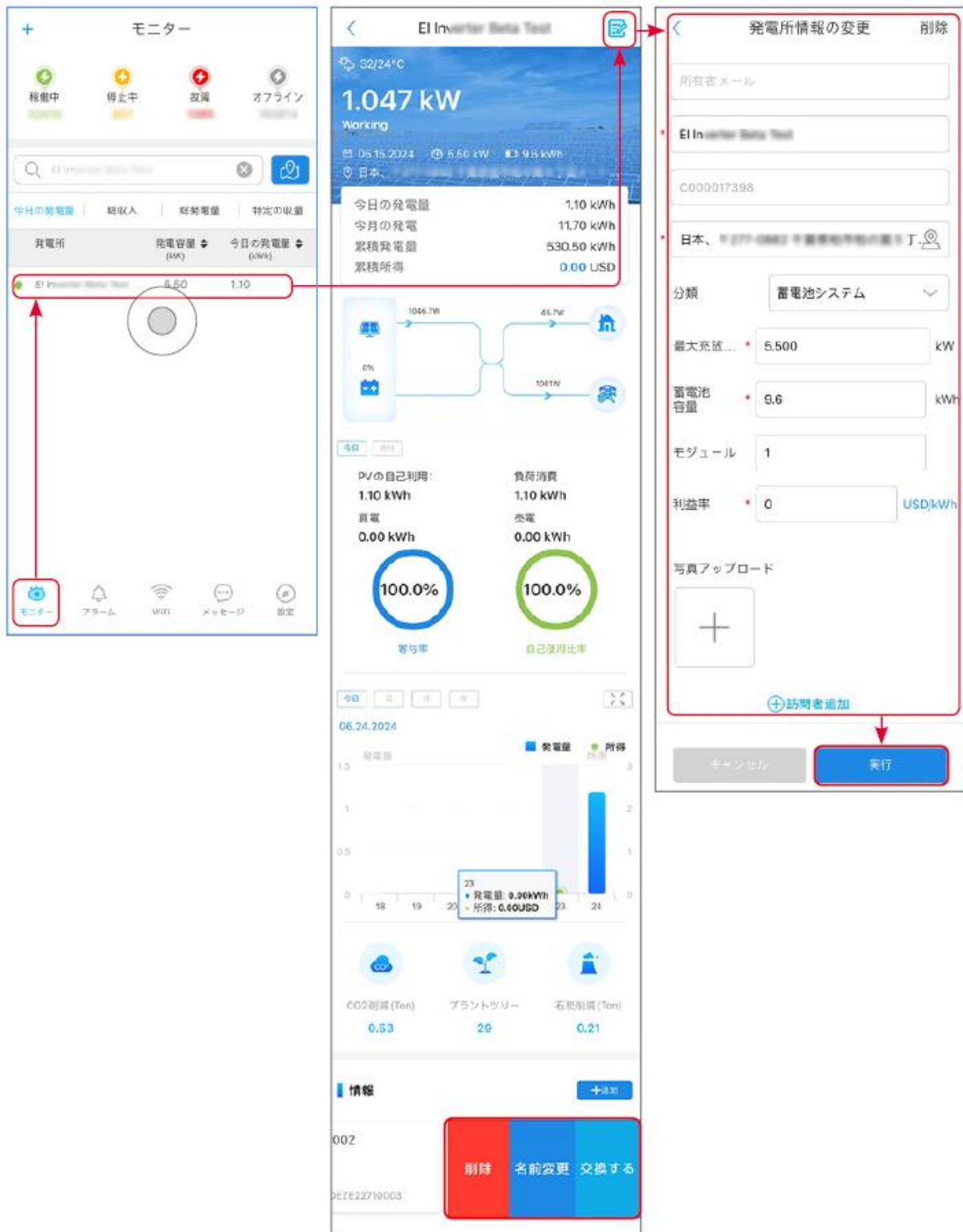
情報の種類	説明
基本データ	建站时间、电站类型、电站容量、地址、天气等。

統計情報	稼働状況、リアルタイムの発電量、本日の発電量、本日の収益、総発電量、総収益など。
統計グラフ	稼働状況、リアルタイムの発電量、本日の発電量、本日の収益、総発電量、総収益など。
デバイス 情報	設備のステータス、設備データ、および単一設備の発電収益曲線。

10.3.6 発電所とデバイスの管理

方法1：SEMS Portal App より管理

1. SEMS Portal App を開けて、管理者又は技術者のアカウントでログインします。
2. 【モニター】のページで管理すべき発電所をクリックし、詳細情報のページに入ります。
3. 詳細情報のページで該当発電所のデバイスを【削除】【名前変更】【交換する】などの操作を行えます。
4. 詳細情報のページで  をクリックし、【発電所情報の変更】のページに入り、実際の状況に合わせて発電所の情報を修正してください。
5. 【実行】をクリックし、変更を有効にします。



方法 2 : SEMS Portal Web 管理

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。 <https://www.semsportal.com>。
2. 発電所の所有者、管理者または技術者のアカウントでログインします。

3. 管理 > 発電所 より発電所の管理画面に入り。
4. 発電所名をクリックし、管理する発電所を選択し、発電所情報の削除や編集などの操作が出来ます。
5. 発電所のデバイスを管理したい場合、左上の【機器管理】をクリックし、出てきた発電所デバイス画面で実際の情報に応じて【追加】、【他のデバイスをスキャンする】、【変更】、【交換】
或いは【削除】などの操作が出来ます。

The image shows two screenshots of the SENS management interface. The top screenshot displays the '発電所' (Power Station) management page. A table lists power stations, with one highlighted in blue. The '操作' (Action) column for this entry includes a '継続管理' (Continue Management) button. Below the table, a form for editing the selected power station is visible, with fields for name, category, capacity, and location. The bottom screenshot shows the '機器管理' (Device Management) page for a specific power station, 'EI Inverter Beta Test'. It features a table of devices with columns for status, name, SN, model, capacity, creation date, and data logger. A '追加' (Add) button is visible in the top right corner of the device management section.

11 システムのメンテナンス

11.1 蓄電システム情報の確認

SolarGo App より、蓄電システムの運転状況、リアルタイムデータ、ソフトバージョンなどを確認することが出来ます。

11.1.1 基本情報の確認

SolarGo アプリにログインし、パワーコンディショナーに正常に接続すると、【ホーム】ページで蓄電システムの動作状態、蓄電池の動作状態、エネルギーフロー図を確認できます。



SLG00CON0179

11.1.2 稼働パラメータの確認

ホーム > パラメータ > データで蓄電システムのリアルタイムの稼働パラメータを確認することができます。



SLG00CON0172

11.1.3 ファームウェア情報の確認

ホーム > 設定 > ファームウェア情報 よりデバイスのファームウェアバージョンを確認することができます。



SLG00CON0173

11.2 システムの電源オフ



危険

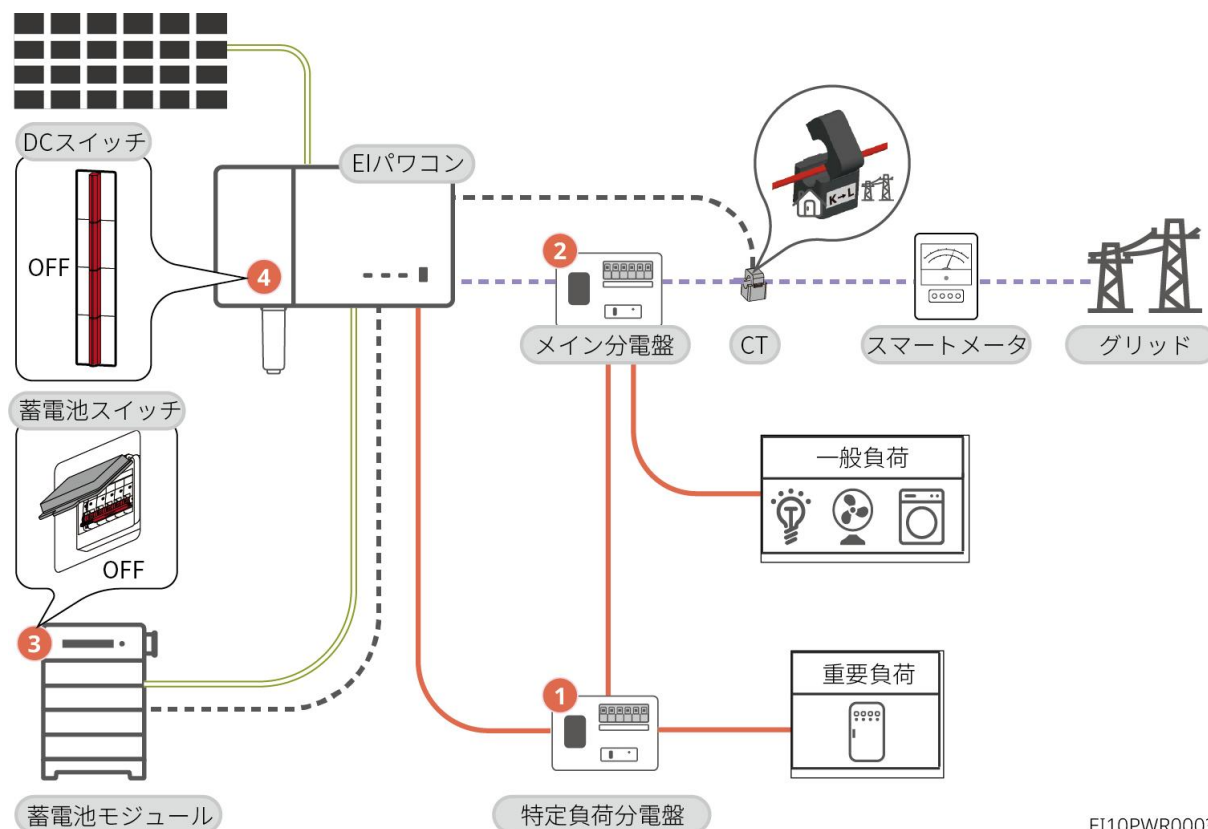
- システムを操作および保守する場合は、システムの電源を切ってください。電源が入ったまま作業を行うと、システムの損傷や感電の危険があります。
- システムの電源がオフになった後、内部コンポーネントが放電するまでに一定の時間がかかります。ラベルの時間要件に従ってパワーコンディショナーが完全に放電されるまでお待ちください。
- 蓄電池を再起動する時、気中開閉器より電源を投入してください。
- 蓄電池システムと閉じるとき、システムを損傷しないように、蓄電池システムの停止要件に従ってください。

注意

- パワーコンディショナーと蓄電池間のブレーカ、および蓄電池システム間のブレーカは、現地の法律および規制に従って設置する必要があります。

- 蓄電池システムを有効的に守るため、蓄電池システムのスイッチカバーは閉じたままにし、カバーが開かれた後は自動的に閉じることができます。蓄電池システムスイッチを長期間操作しない場合は、カバーをネジで締める必要があります。

特定負荷配電盤付きのシステム：



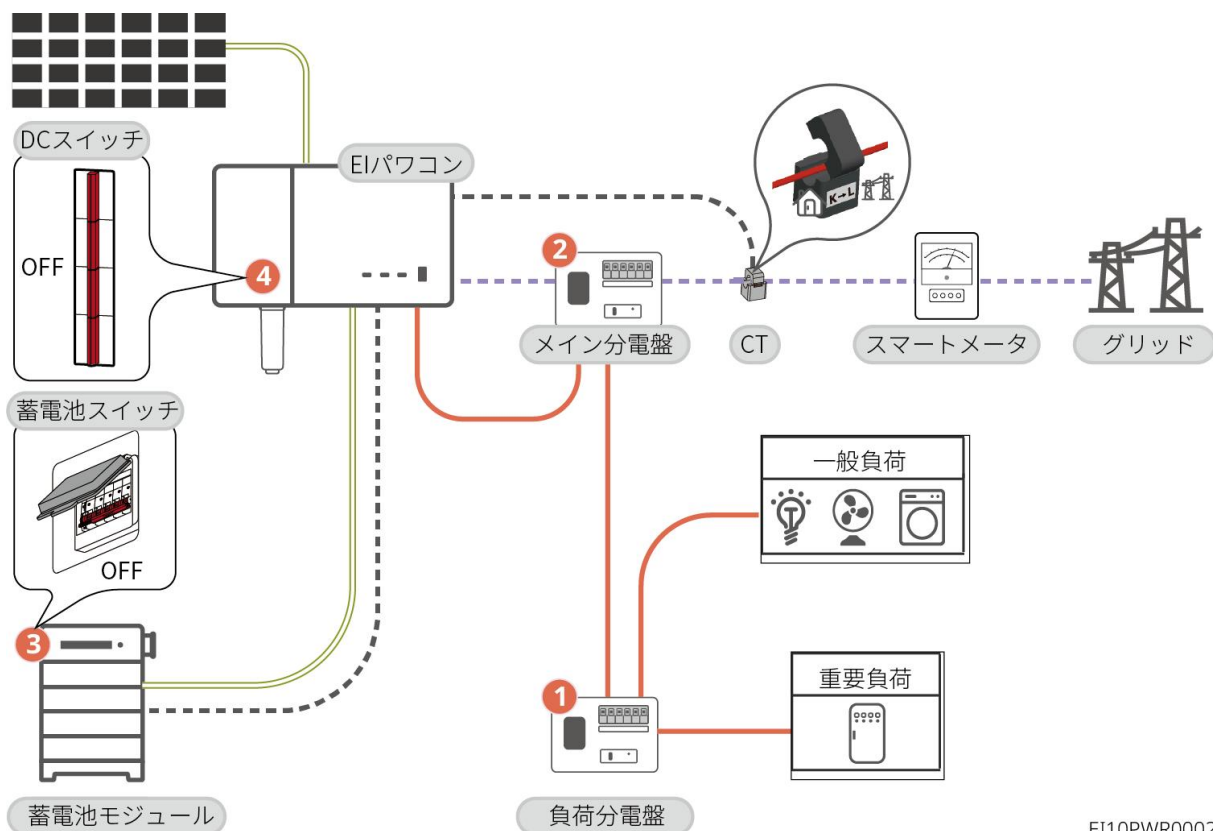
EI10PWR003

電源オフの手順で：

①->②->③->④

1. 特定負荷分電盤の AC スイッチ①をオフにします。
2. 主分電盤の AC スイッチ②をオフにします。
3. 蓄電池システムスイッチ③をオフにします。
4. パワーコンディショナーの DC スイッチ④をオフにします。

全負荷配電盤付きのシステム：



EI10PWR0002

電源オフの手順で：

①->②->③->④

1. 特定負荷分電盤の AC スイッチ①をオフにします。
2. 主分電盤の AC スイッチ②をオフにします。
3. 蓄電池システムスイッチ③をオフにします。
4. パワーコンディショナーの DC スイッチ④をオフにします。

11.2 蓄電池の再起動

蓄電池に損傷を与えない為、次の手順に従って蓄電池を再起動してください。

方法1：

1. コントロールボックスのボタンを 15 秒以上押し、SOC 表示灯とボタン表示ボタンが消灯し、気中開閉器が自動的に OFF になることを確認します。
2. コントロールボックスの気中開閉器を再度 ON にします。

方法 2：

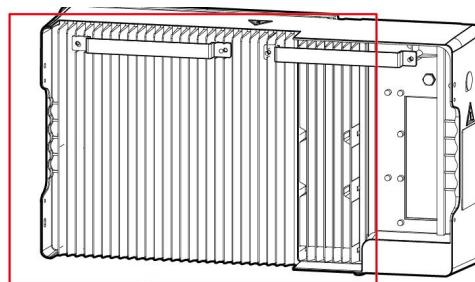
1. コントロールボックスの気中開閉器を OFF にして、SOC 表示灯とボタン表示ボタンの消灯を確認します。
2. コントロールボックスの気中開閉器を再度 ON にします。

11.3 日常保守

11.3.1 パワーコンディショナーの保守

No.	保守内容	保守方法	保守周期
1	システム清掃	ヒートシンクに異物やほこりがないかを確認します。	6 カ月に一度～12 カ月に一度
2	電氣的接続	電氣的接続に緩みがないか、ケーブル外観に破損が見られないか、銅が露出していないかを確認します。	6 カ月に一度～12 カ月に一度
3	密閉性	機器の接続穴の密閉性が要件を見たしているかを確認します。隙間が大きすぎる、または覆われていない場合は、販売店にご連絡ください。	12 カ月に一度

パワーコンディショナー
型式 (GW5500-EI)



ヒートシンク

11.3.2 蓄電池の保守

- 電池またはエネルギー貯蔵パワーコンディショナーシステムに影響を与える可能性のある問題が見つかった場合は、アフターサービスにご連絡ください。勝手に蓄電池を分解することは禁じられています。
- 導線内部の銅線が露出している場合は、高電圧で危険ですので決して触れず、アフターサービス

にご連絡ください。

- その他の緊急事態が発生した場合は、即ちアフターサービスにご連絡し、サービスの指導を受けて操作したり、エンジニアが現場到着まで待ってたりしてください。

No.	保守内容	保守方法	保守周期
1	支持具	傾き防止金具が緩んでいないかを確認し、緩んでいる場合は該当箇所をしっかりと締め付けます。	6 カ月に一度
2	外部損傷	外装に損傷がないかを確認し、損傷している場合は、販売店にご連絡ください。6 カ月に一度露出しているケーブルが摩耗していないかを確認し、問題がある場合は販売店にご連絡ください。	6 カ月に一度
3	放熱性	蓄電池の放熱に影響を与えないように、蓄電池の周囲に破片などがあるかどうかを確認し、ある場合は掃除してください。	6 カ月に一度
4	害虫	水や害虫が蓄電池内に入っていないかを確認します。	6 カ月に一度

11.3.3 Ezlink3000 の保守

Ezlink3000 は水に遠ざけるようにし、正しく接続されていることをご確認ください。

11.3.4 SolarGo ログインパスワードの変更

注意

SolarGo アプリでパワコンに接続する際のログインパスワードは変更可能です。パスワードを変更した後は必ず記憶してください。忘れた場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。

ステップ 1： ホームページ > 設定 > ログインパスワードの変更 より設定画面に入ります。

ステップ 2： 実際の状況に応じてパスワードを変更します。



SLG00CON0187

11.4 システムの解体



危険

- システムの電源が切れたことを確認します。
- システムを取り扱う時、個人防護具を着用してください。

1. システムの電源を切ります。
2. ラベルを使用して、システムに接続されているケーブルの種類をマークします。
3. システム内のパワーコンディショナー、蓄電池、バックアップ負荷の電気接続を外します。
4. パワーコンディショナーを取り付けブラケットから取り外し、ブラケットを取り外します。
5. CT および通信モジュールを取り外します。
6. 将来にまだシステムを使用する可能性がある場合は、システムを適切に保管し、保管条件が要件を満たしていることを確認してください。










11.5 システムの廃棄

システムが使用できず、廃棄処分になる場合は、負荷および電子部品の廃棄物に関する地域の処分ルールに従って廃棄してください。家庭廃棄物として処分しないでください。

12 障害情報と対処方法

- システム操作や機器に問題があり、表示に異常がある場合は、素早いご確認の上、対処してください。
- 蓄電システムの状態は製品の表示ランプで判断でき、詳細なアラームや故障情報はソフトウェアで確認できます。

パワーコンディショナーの表示ランプ

表示ランプ	状態	ランプの色	説明
		赤	BACK-UP オーバーロード
		赤	システム故障
		色なし	パワーコンディショナー電源喪失
		黄色	パワーコンディショナーの通信モジュールがリセット中
		黄色	パワーコンディショナーと通信端末が接続していません
		緑色	通信端末がサーバに接続されていません
		色なし	パワーコンディショナーの通信モジュールは起動していません

12.1 故障・アラームの詳細情報の確認

蓄電システムのすべての障害/アラームの詳細は、【SolarGo App】及び【SEMS Portal App】より反映されます、製品に異常があり、関連する障害が【SolarGo App】及び【SEMS Portal App】に反映されない場合は、アフターサービスセンターまでご連絡ください。

方法1：SolarGo App

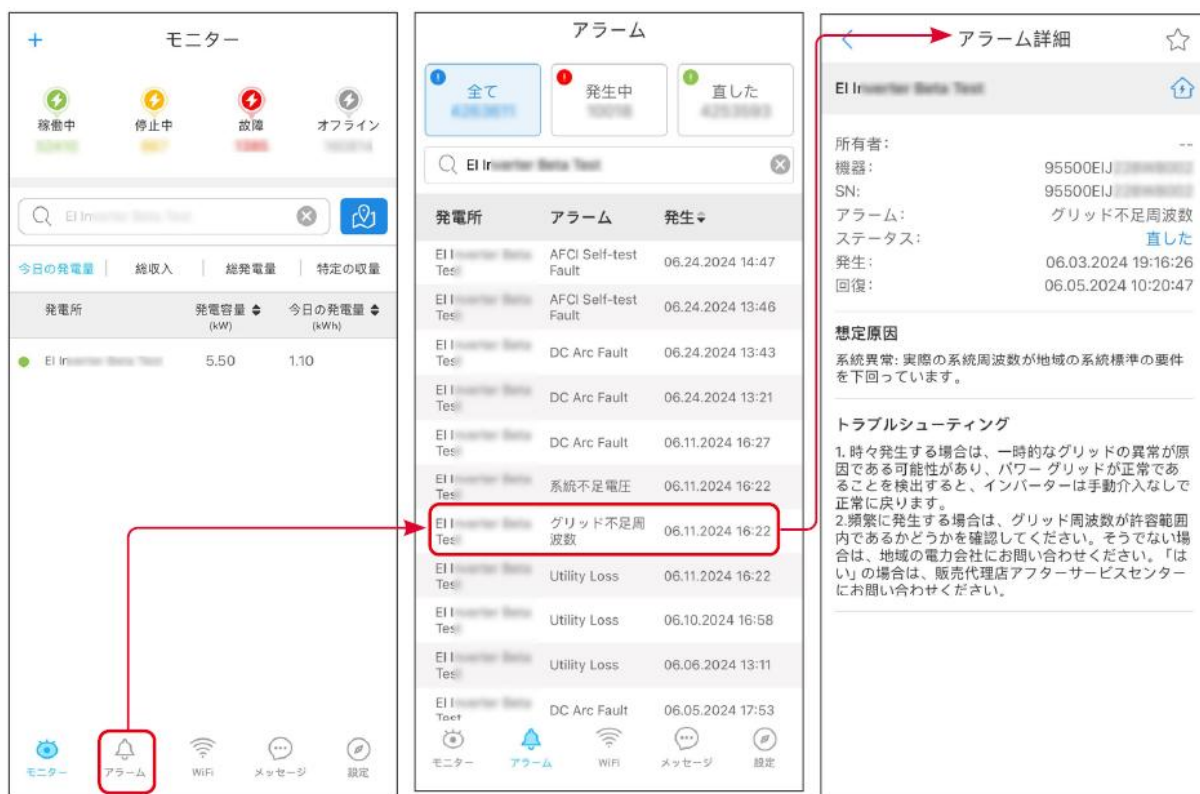
ホーム > パラメータ > アラームでシステムの障害情報を確認します。



SLG00CON0174

方法2：SEMS Portal App

1. SEMS Portal App を開けて、任意のアカウントでログインします。
2. モニター-> アラームですべての発電所の障害情報を確認できます。
3. 障害の名称をクリックすると、【発生時間】、【想定原因】と【トラブルシューティング】障害の詳細な情報を確認することができます。



方法 3：SEMS Portal Web


1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。

<https://www.semsportal.com>

2. 任意のアカウントでログインします。

3. 【アラーム】をクリックし、アラームの詳細ページに入ります。

4. フィルター機能より該当障害を抽出し確認することができます。

5. 障害項目の最後の  をクリックして、【発生時間】、【想定原因】と【トラブルシューティング】障害の詳しい情報を確認することができます。

SEMS Portal のアラーム画面のスクリーンショット。画面上部には「モニター」「アラーム」「レポート」「管理」のメニューがあり、右上には「ログアウト」ボタンがある。検索バーと「ステータス」のフィルターメニューも表示されている。中央にはアラーム一覧のテーブルがあり、右側には選択されたアラームの詳細が表示されている。詳細画面には「発電所」のグラフと「格納原因」の説明、および「トラブルシューティング」のリストが示されている。

発電所	SN	インバーター	アラーム	ステータス	時刻	詳細
El	95500EI	95500EI	AFCI Self-test Fault	言した	06.24.2024 14:47:25	🔍
El	95500EI	95500EI	AFCI Self-test Fault	言した	06.24.2024 13:46:38	🔍
El	95500EI	95500EI	DC Arc Fault	言した	06.24.2024 13:43:38	🔍
El	95500EI	95500EI	DC Arc Fault	言した	06.24.2024 13:21:32	🔍
El	95500EI	95500EI	DC Arc Fault	言した	06.11.2024 16:27:30	🔍
El	95500EI	95500EI	系統不足高圧	言した	06.11.2024 16:22:30	🔍
El	95500EI	95500EI	グリッド不足周波数	言した	06.11.2024 16:22:30	🔍

格納原因:
系統異常: 異常の系統周波数が地域の系統標準の要件を下回っています。

トラブルシューティング:
1. 時々発生する場合は、一時的なグリッドの異常が原因である可能性があります。パワーグリッドが正常であることを検出すると、インバーターは手動介入なしで正常に戻ります。
2. 頻りに発生する場合は、グリッド周波数が設置範囲内であるかどうかを確認してください。そうでない場合は、地域の電力会社にお問い合わせください。 「はい」の場合は、販売代理店アフターサービスセンターにお問い合わせください。

方法4：メール通知

SEMS Portal で電子メールアラーム通知を有効にしている場合は、電子メールにログインして蓄電システムの障害情報を確認することができます。

情報通知の設定については、「13.4.8 蓄電システムの情報通知を設定するにはどうすればよいですか？」を参照してください。

12.3 障害情報と対処方法

アフターサービスセンターにお問い合わせいただく際は、問題を迅速に解決するために次の情報を収集してください。

1. パワーコンディショナー、蓄電池、Ezlink3000 の情報、例えばシリアル番号、ソフトウェアバージョン、機器設置時間、障害発生時間、障害発生頻度など。
2. システムの設置環境（気象条件、太陽光発電の障害物があるか、影があるかなど）。設置環境について以下資料のご提供を勧めております。
3. 電力系統の状況。

本マニュアルに記載されたい問題が発生した場合、または指示に従っても問題や異常が解決できない場合は、ただちにシステムの操作を止めて、販売店にご連絡ください。

12.3.1 パワーコンディショナーのトラブルシューティング

No.	故障の現象	原因	対応方法
1	停電検出	停電若しくは、ACブレーカがトリップしている可能性があります。	復電後にシステムは自動復帰します。 自動復帰しない場合は、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡ください。
2	地絡検出	系統側の地絡を検出しました。	復電後にシステムは自動復帰します。 自動復帰しない場合は、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡ください。
3	N 線喪失	N 線が外れている可能性があります。	PCS の U-O/O-W/U-W 間の電圧が正常な場合は、システムの再起動を行ってください。 再起動して改善されない場合はご販売様へご連絡ください。
4	系統過電圧検出	系統電圧の上昇や停電の可能性あります。	復電後にシステムは自動復帰します。 自動復帰しない場合は、PCS の

			U-O/O-W/U-W 間の電圧をご確認下さい。電圧に問題がない場合は、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡談ください。
5	系統過電圧検出	系統電圧の上昇や停電の可能性がります。	復電後にシステムは自動復帰します。 自動復帰しない場合は、PCS の U-O/O-W/U-W 間の電圧をご確認下さい。電圧に問題がない場合は、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡談ください。
6	系統低電圧検出	系統電圧の低下や停電の可能性がります。	復電後にシステムは自動復帰します。 自動復帰しない場合は、PCS の U-O/O-W/U-W 間の電圧をご確認下さい。電圧に問題がない場合は、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡談ください。
7	系統周波数上昇検出	系統周波数の上昇や停電の可能性がります。	復電後にシステムは自動復帰します。 自動復帰しない場合はシステムの再

			<p>起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡ください。</p>
8	<p>系統周波数低下 検出</p>	<p>系統周波数の低下や停電の可能性が あります。</p>	<p>復電後にシステムは自動復帰します。</p> <p>自動復帰しない場合はシステムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡ください。</p>
9	<p>単独運転検出</p>	<p>停電の可能性が あります。</p>	<p>復電後にシステムは自動復帰します。</p> <p>自動復帰しない場合はシステムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡ください。</p>
10	<p>LVRT 電圧不足 検出</p>	<p>系統異常や停電の可能性 があります。</p>	<p>復電後にシステムは自動復帰します。</p> <p>自動復帰しない場合はシステムの再起動を行ってください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡ください。</p>
11	<p>漏洩電流検出 (30mA)</p>	<p>絶縁抵抗低下の可能性 があります。</p>	<p>事象改善するとシステムは自動復帰します。</p>
12	<p>漏洩電流検出</p>		<p>エラー状態でシステムが復帰しない場合は、運転を停止し、PV 開閉器を全オ</p>

	<60mA)		フした状態でACブレーカをオフ、自立運転モード状態で軽負荷を接続、システムを再起動してください。
13	漏洩電流検出 <150mA)		症状改善した場合は、外的要因（本システム以外）の可能性がありますので、PVストリング、負荷の状態をご確認ください。再起動しても改善されない場合はご販売様へご連絡ください。
14	漏洩電流検出 <30mA)		
15	直流1次成分検出	一時的な系統異常の可能性 があります。	事象改善するとシステムは自動復帰します。
16	直流2次成分検出		エラー状態で復帰しない場合は、システムの再起動をしてください。 再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
17	PV絶縁不具合 検出	PVストリングの絶縁抵抗低下の可能性 があります。	事象改善するとシステムは自動復帰 します。 エラー状態で復帰しない場合は、全 てのPV開閉器をオフし、システム の再起動を行ってください。 再起動しても改善しない場合は、ご 販売店へご連絡ください。 エラーが解消された場合は、PVス トリングの絶縁低下の可能性があり ます。 PVストリングの絶縁抵抗測定をお 勧めします。
18	逆電流防止検出	CTセンサーの外れや、蓄電池の放電により瞬間k	エラー状態で復帰しない場合は、システムの再起動を行ってください。

		的に逆潮流が発生した可能性があります。	再起動しても改善しない場合は、P C Sと接続してるC Tセンサーの線が外れたか、分電盤内のC Tセンサーが外れた可能性があります。ご販売店へご連絡ください。
19	機器内部通信エラー検出	機器内部の一時的な通信エラーの可能性があります。	PCS と蓄電池を接続しているLANケーブルの断線や接触不良をご確認下さい。 LANケーブルに問題がない場合は、システムの再起動を行ってください。 システムを再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
20	ACセンサーの自己診断異常	ACセンサーか回路異常の可能性があります。	ACブレーカをオフした状態でシステムを再起動してください。 システムを再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
21	漏れ電流センサーの自己診断異常	漏れ電流センサーか回路異常の可能性があります。	ACブレーカをオフした状態でシステムを再起動してください。 システムを再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
22	リレーの自己診断異常	リレーか回路異常の可能性あります。	システムを再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。

23	メモリエラー	メモリか回路異常の可能性が あります。	システムを再起動しても改善しない 場合は、ご販売店へご連絡ください。
24	PVアーク回路 異常	PVアーク検出回路異常 の可能性が あります。	システムを再起動しても改善しない 場合は、ご販売店へご連絡ください。
25	PVアーク回路 の自己診断異常	PVアーク検出回路異常 の可能性が あります。	システムを再起動しても改善しない 場合は、ご販売店へご連絡ください。
26	筐体内部温度異 常	筐体内部の温度が高くな っています。	PCSが風通しの悪い場所若しくは、直 射日光に晒されている場所に設置され ている可能性があります。
27	INV回路温度 異常	INV回路の温度が高く なっています。	
28	ブースト回路温 度異常	ブースト回路の温度が高 くなっています。	
29	内部冷却ファン 異常	内部冷却ファンが停止し ている可能性が あります。	システムを再起動しても改善しない 場合は、ご販売店へご連絡ください。
30	バス過電圧異常	バス回路の電圧が高くな っています。	頻繁に同エラーが発生する場合は ご販売店へご連絡ください。
31	PV 過電圧検出	PV入力電圧が高くなっ ています。	PVストリングの開放/動作電圧が PCSの仕様範囲内であることをご 確認ください。 PCSのPV入力仕様の範囲内で同 じエラーが発生する場合はご販売店 へご連絡ください。
32	回路過電流検出	回路電流値が高くなって	システムを再起動しても改善しない

		います。	場合は、ご販売店へご連絡ください。
33	I G B T 短絡検出	I G B T 故障の可能性が あります。	ご販売店へご連絡ください。
34	I G B T オープン検出	I G B T 故障の可能性が あります。	ご販売店へご連絡ください。
35	H C T 回路異常	H C T センサーか回路異常の可能性が あります。	ご販売店へご連絡ください。
36	P V 過電流検出	P V 入力電流値が高くな っています。	P V スtringの入力電流が P C S の仕様範囲内であることをご確認く ださい。 仕様範囲内で同じエラーが発生する 場合はご販売店へご連絡ください。
37	P V スtring 逆接続検出	P V スtringの極性が 誤っている可能性があり ます。	運転を停止し、P C S に接続してい る P V スtringの極性をご確認く ださい。 極性に問題がない場合は、システム を再起動ください。再起動しても改 善しない場合は、ご販売店へご連絡 ください。
38	P V スtring 接触異常	P V スtringと P C S 端子間の接続/接触不良の 可能性が あります。	P C S を停止し、P V スtringの 開閉器をオフしてください。ひとつ の開閉器をオンした状態で運転を行 い、本エラーが表示されるストリン

			<p>グの絞り込みをしてください。</p> <p>エラーが表示されるストリングの絶縁抵抗、電圧等に問題がない場合は、ご販売店へご連絡ください。</p>
39	PV過電力検出 (制御系)		<p>PCSを停止し、PVストリングの開閉器をオフしてください。ひとつの開閉器をオンした状態で運転を行い、本エラーが表示されるかご確認ください。</p>
40	PV過電力検出 (回路系)	PV入力過多により、システム起動ができていない可能性があります。	<p>PCSとのPVストリング接続数によってエラー改善する場合は、PV入力の最大電力計算値がPCSの仕様範囲内であることをご確認ください。</p> <p>システムを再起動し、PCSとPVストリング接続数を1組に変更してもエラーが改善されない場合は、ご販売店へご連絡ください。</p>
41	PV入力電力不足	PV入力電力が不足し、システム起動ができていない可能性があります。	<p>PCSを停止し、PVストリングの電圧値がPCSの起動電圧以上となっているかをご確認ください。</p>
42	PV入力電力不足 (プリチャージ不足)	PV入力電力(プリチャージ)が不足し、システム起動ができていない可能性があります。	<p>PVストリングの電圧値が十分にある状態でもエラー改善しない場合は、システムの再起動を行ってください。</p> <p>再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。</p>
43	PV入力電力不足 (制御)	PV入力電力(制御)が不足し、システム起動ができていない可能性があります。	<p>PCSを停止し、PVストリングの電圧値がPCSの起動電圧以上となっているかをご確認ください。</p> <p>PVストリングの電圧値が十分にあ</p>


			<p>る状態でもエラー改善しない場合は、システムの再起動を行ってください。</p> <p>再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。</p>
44	蓄電池/P C S 間通信異常	蓄電池ユニット内部又は P C Sとの通信ケーブル 異常の可能性あります。	<p>システムを停止し、蓄電池ユニットとP C S間のLANケーブルに問題がないことを確認ください。</p> <p>ケーブルに問題が無い場合は、蓄電池モジュールを入れ替え後にシステムの再起動を行ってください。再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。</p>
45	蓄電池モジュール過電圧検出	蓄電池モジュールの過電圧を検出しました。	<p>電池残量が90%以下で本エラーが表示される場合は、ご販売店へご連絡ください。</p> <p>電池残量が満充電に近い場合は、システムを停止し、蓄電池ユニットのスイッチをオフにしてください。</p> <p>1時間放置した後、システムの再起動を行ってください。外気温が高い場合は再起動しても改善しない場合があります。その場合は涼しい時間帯でのシステムの再起動を行って</p>



			<p>ださい。</p> <p>その上で再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。</p>
46	蓄電池モジュール低電圧検出	蓄電池モジュール低電圧を検出しました。	<p>電池残量が10%以上で本エラーが表示される場合は、ご販売店へご連絡ください。</p> <p>電池残量が放電限界に近い場合は、システムの再起動を行ってください。外気温が低い場合は再起動しても改善しない場合があります。その場合は日射量のある暖かい時間帯でのシステムの再起動を行ってください。</p> <p>その上で再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。</p>
47	蓄電池モジュール過充電検出	蓄電池モジュールの過充電を検出しました。	再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
48	蓄電池モジュール過放電検出	蓄電池モジュールの過放電を検出しました。	接続している機器（負荷）によっては、瞬間的に大きな電流を必要とする場合があります。本エラーが発生する場合があります。システムを再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
49	充電高温異常	蓄電池モジュール内の充	蓄電池ユニットが風通しの悪い場所

		電高温異常を検出しました。	若しくは、直射日光に晒されている場所に設置されている可能性があります。設置環境をご確認頂き、涼しい時間帯になりましたら、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
50	放電高温異常	蓄電池モジュール内の放電高温異常を検出しました。	蓄電池ユニットが風通しの悪い場所若しくは、直射日光に晒されている場所に設置されている可能性があります。設置環境をご確認頂き、涼しい時間帯になりましたら、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
51	充電低温異常	蓄電池モジュール内の充電低温異常を検出しました。	蓄電池ユニットが寒い場所に設置されている可能性があります。設置環境が蓄電池ユニットの仕様範囲内の場合は、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
52	放電低温異常	蓄電池モジュール内の放電低温異常を検出しました。	蓄電池ユニットが寒い場所に設置されている可能性があります。設置環境が蓄電池ユニットの仕様範囲内の

			場合は、システムの再起動を行ってください。再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。
53	高温異常	蓄電池モジュール内の高温異常を検出しました。	蓄電池ユニットが風通しの悪い場所若しくは、直射日光に晒されている場所に設置されている可能性があります。設置環境をご確認頂き、涼しい時間帯になりましたら、システムの再起動を行ってください。 再起動しても改善しない場合は、ご販売店へご連絡ください。

12.3.2 Ezlink3000 の故障排除

No.	故障の現象	解決方法
1	名前が CCM-BLE**の設備が見つかりません	<ol style="list-style-type: none"> 1. EI の電源が入っており、が正常に接続されていることをご確認ください。 2. EI がの通信範囲内にあることをご確認ください。 3. EI または Ezlink3000 を再起動してください。
2	名前が CCM-BLE**CCM-BLE***に接続できません	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の機器が CCM-BLE**に接続されていないことをご確認ください。 2. EI またはを再起動し、CCM-BLE**に再度接続してください。
3	 表示ランプが二回点滅	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルータの電源が入っていることをご確認ください。 2. LAN ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。

4	 表示ランプが四回点滅	<ol style="list-style-type: none"> すべてのケーブルが正しく接続されており、ルータがインターネットに正常にアクセスできることをご確認ください。 問題がまだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
5	 表示ランプが消灯	EI の電源が入っているかをご確認ください。

12.3.3 蓄電池の故障排除

No.	故障現象	故障原因	解決措施
1	蓄電池システムが傾けます	地面が凹凸または変形しています	蓄電池を硬くて平らな床に設置してください
2	稼働中に表示ランプが点滅	配線が短絡しているまたは蓄電池システム内部の故障	<ol style="list-style-type: none"> 外部配線が短絡しているかを確認します 電源オフして、2 時間後に再起動します
3	ボタン表示ランプ赤で点滅、SOC 表示ランプが残電量を表示します	<ul style="list-style-type: none"> 通信回線故障 SolarGo App より設定する時、選択した蓄電池の型式が間違いました 	<ol style="list-style-type: none"> 通信配線が正しいかを確認します パワーコンディショナーの運転が正常かを確認します SolarGo APP より、正確な蓄電池の型式を選択します



ボタン表示ランプが赤になる場合、SOC 表示ランプが表現した残電量に合わせて故障を確認してください。

No.	SOC 表示ランプ	故障名称	解決方法

1		蓄電池過電圧	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
2		蓄電池電圧不足	蓄電池が充電できる場合、蓄電池システムのボタンを 5 秒間押し続けて再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
3		充電過電流	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
4		放電過電流	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
5		温度差異常	電源オフして2時間後再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
6		高温異常	電源オフして2時間後再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
7		低温異常	電源オフして2時間後再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
8		ソフトバージョン異常	アフターサービスセンターにご連絡ください。
9		プリチャージ故障	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
10		リレー故障	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
11		気中開閉器異常	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。

12		絶縁故障	蓄電池を触らないで、アフターサービスセンターにご連絡ください。
13		内部通信異常	電源オフして、通信配線を確認して再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
14		SN 番号なし	アフターサービスセンターにご連絡ください。
15		電圧不均一故障	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
16		スレーブ制御が一致していない	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
17		温度センサーの故障	蓄電池システムを再起動してください。まだ解決できない場合は、アフターサービスセンターにご連絡ください。
18		その他	アフターサービスセンターにご連絡ください。

12.4 故障排除後の処理

蓄電システムでは、一部の障害が処理された後、システムが通常の動作を再開する前に下記の処理を行う必要があります。

12.4.1 AFCI アラームのクリア

【使用ソフト】：SolarGo App

【処理方法】：

1. ホーム > 設定 > 高級設定 > AFCI で AFCI テストのページに入ります。
2. 【AFCI アラームのクリア】のボタンを押してください。



SLG00CON0175

12.4.2 オーバーローアラームのクリア

パワーコンディショナーの BACK-UP ポートに接続された負荷の消費電力が定格出力を超えると、パワーコンディショナーは再起動し、再度消費電力を測定します。すぐ対処しないと、パワーコンディショナーは再起動して負荷検出を複数回実行し、再起動の間隔はどんどん伸びていきます。

BACK-UP ポートの消費電力が定格出力範囲まで下げた後、下記の操作でパワーコンディショナーの再起動間隔をクリアすると、パワーコンディショナーはすぐに再起動します。

【使用ソフト】：SolarGo App

【処理方法】：

1. ホーム > 設定 > 高級設定。
2. 【過負荷履歴のクリア】を押してください。



SLG00CON0176

12.4.3 系統再連系

もし蓄電システムと系統との接続を【手動リカバリ】を選択した場合は、電力系統が復帰後、システムを系統と再連系するために、以下の操作が必要となります。

注記：【手動リカバリ】機能のオン/オフに関わらず、CT 障害発生後は【手動リカバリ】をクリックして電力網に再接続する必要があります。。

【使用ソフト】：SolarGo App

【処理方法】：

1. ホーム > 手動リカバリ。
2. 【手動リカバリ】ボタンを押してください。



SLG00CON0183

13 その他

13.1 製品仕様

13.1.1 パワーコンディショナー仕様

型番	GW5500-EI
蓄電池充放電仕様	
蓄電池セルのタイプ	リチウムイオン電池
公称入力電圧	204.8V
蓄電池入力電圧範囲	80～380V
最大連続充電/放電電流	30A/30A
最大充電/放電電力	6000W/6000W
太陽光入力仕様	
最大入力電力	6000W
起動電圧	60 V
最大入力電圧	450V
MPPT 動作電圧範囲	60～420V
MPPT 定格電力時電圧範囲	100～420V
定格入力電圧	300V
MPPT あたりの最大入力電流	15A
MPPT あたりの最大短絡電流	23.4A
MPPT 数	4
MPPT あたりのストリング数	1
連系運転	
定格出力電力	5500W
最大出力皮相電力	5800VA
系統から最大入力皮相電力	5500VA
定格出力電圧	単相 3 線式 101/202V
定格周波数	50Hz/60Hz

最大出力電流	28.7A
定格出力電流	28.7A (PF=0.95)
力率	0.95 (0.8~1 調整可能)
最大総高周波歪率	<3%
最大出力過電流保護	70A
自立運転	
定格皮相電力	5500VA(各相 2750VA)
最大皮相電力	5800VA
最大出力電流	28.7A
定格出力電圧	単相 3 線式 101V/202V
定格周波数	50Hz/60Hz
最大総高周波歪率	<3%
変換効率	
PV から交流出力への最大効率	97.0%
蓄電池から交流出力への最大効率	97.0%
MPPT 効率	99.9%
保護機能	
PV 絶縁低下検出機能	あり
残留電流監視	あり
PV スtring 逆接続検出機能	あり
バッテリー逆接続検出機能	あり
単独運転防止機能	あり
AC 過電流保護機能	あり
AC 短絡保護機能	あり
AC 過電圧保護機能	あり
AFCI アーク検出遮断機能	あり
DC サージ保護器	タイプ II
AC サージ保護器	タイプ III
一般仕様	
動作温度範囲	-25~+60°C
保管温度範囲	-25~+60°C

動作湿度範囲	0～95%
最大動作高度	2000m
冷却方式	自然空冷
騒音レベル	<40dB
表示	LED, WLAN+APP
BMS 通信方式	CAN
SEMS 通信方式	WiFi/Bluetooth/LAN
質量	25kg
寸法（幅×高さ×奥行）	635mm*360mm*161mm
設置方式	壁掛け（屋外+屋内）
保護等級	IP65
耐腐食クラス	C4
夜間電力消費	<10W
絶縁方式	トランスレス
認証規格	JIS C 4412 ^{※1} , JETGR0002-1, JETGR0004-1, JETR0003-6,
※1 認証は GW5500-El-F9.6P/GW5500-El-F12.8P の蓄電システムで取得されています。	

13.1.2 蓄電池の仕様

型番	LX F9.6-H-JP	LX F12.8-H-JP
公称使用可能容量 ^{※1}	9.6kWh	12.8kWh
初期実効容量 ^{※2※3}	9.0kWh	12.0kWh
蓄電池モジュール	LX F3.2-H-JP: 64V 50Ah 3.2kWh	
蓄電池モジュール数	3	4
蓄電池セルタイプ	LFP (LiFePO ₄)	
公称電圧	192V	256V
動作電圧範囲	177～212.1V	236～282.8V
定格充/放電電流 ^{※4}	30A	

定格放電電力 ^{※4}	5.76kW	7.68kW
通信方式	CAN	
質量	150.5kg	191.5kg
寸法（幅×高さ×奥行）	600mm*765mm*380mm(端子箱 高さ)	600mm*920mm*380mm(端子箱 高さ)
動作温度範囲	充電：2～+50℃ 放電：-18～+50℃	
保管温度範囲	-20～0℃（≤1 ヶ月） 0～35℃（≤1 年）	
動作湿度範囲	0～95%	
最大動作高度	2000m	
保護等級	IP55（屋外+屋内）	
設置方式	地面設置	
サイクル回数 ^{※5}	6000	
認証規格	JIS C 8715-2, JIS C 4412 ^{※3} , ECHONET Lite AIF ^{※3}	
<p>※1：新しい蓄電池、100%放電深度、温度範囲 25±2℃、0.2C の充/放電条件で測定されたデータです。使用可能エネルギーはパワコンにより異なる場合があります。</p> <p>※2：JIS C 4413 によります。</p> <p>※3：認証は GW5500-EI-F9.6P/GW5500-EI-F12.8P の蓄電システムで取得されています。</p> <p>※4：定格充/放電電流および電力は温度および SOC（State of Charge：充電状態）の影響で異なる場合があります。</p>		

13.1.3 Ezlink3000 の仕様

型番	Ezlink3000
一般仕様	
通信ポート	USB
LAN ポート（オプション）	10/100Mbps 自適応、通信距離≤100m
設置方式	プラグアンドプレイ

表示	LED 表示灯
寸法 (幅×高さ×奥行)	49mm*153mm*32mm
質量	130g
保護等級	IP65
消費電力	≤2W (典型値)
動作モード	STA
無線通信仕様	
Bluetooth	Bluetooth5.1
WiFi 通信	802.11 b/g/n (2.412GHz-2.484GHz)
その他	
動作温度範囲	-30~+60°C
保管温度範囲	-30~+70°C
相対湿度	0~100% (結露なし)
最大動作高度	4000m

13.1.4 CT の仕様

No.	パラメータ	仕様	試験条件	備考
1	I_{pn} (N1 一時側定額電流)	90A	-	N1 公称電流有効数値
2	一時側有効電圧	300VAC		
3	I_{out} (N2 出力電流)	90.0mA	@ I_{pn}	-
4	二次側直流抵抗	<100Ω (常温)	-	-
5	ϕ (位相差)	1.50° Max	@ I_{pn} , $R_b=10.0\Omega$	R _b =負荷抵抗
6	F(I) (比誤差)	1.0% Max	@ I_{pn} , $R_b=10.0\Omega$	
7	Hi-Pot (絶縁耐圧)	2.00mA Max	AC 4,000V, 2s	一次側から二次側に対して耐圧試験を行います
8	本製品は RoSH 規制に従います			

13.2 FAQ

13.2.1 製品の品質保証情報をどう確認しますか？

方法1：SEMS Portal App

1. SEMS Portal App を開けて任意のアカウントでログインします。
2. 【設定】のページで【保証】をクリックします。
3. 製品 SN 番号のスキャンまたは手動入力より製品の品質保証情報を確認できます。



方法2：SEMS Portal Web

1. ブラウザを起動し、下記の Web アドレスを入力してください。 <https://www.semsportal.com>。
2. 任意のアカウントでログインします。
3. **管理 > 保証**で品質保証の検査画面に入ります。

4. デバイスの種類を選択して、デバイスの SN 番号を入力し【検索】をクリックして確認します。



固德威技術股份有限公司 (GoodWe Technology Co., Ltd.)



固德威技術股份有限公司 (GoodWe Technology Co., Ltd.)



<https://jp.goodwe.com/>



service@goodwe.com

GoodWe Japan 株式会社



東京都中央区日本橋小舟町8 - 6 H¹O 日本橋小舟町6F